

大学等名	聖心女子大学
プログラム名	AI・データサイエンス(応用基礎)プログラム
適用モデルカリキュラム	改定前モデルカリキュラム(2021年3月29日制定)

応用基礎レベルのプログラムを構成する授業科目について

① 申請単位 ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件

プログラムは、全学必修科目の「AI・データサイエンス基礎」2単位の履修をベースに、「情報処理入門Ⅰ」2単位および「情報処理入門Ⅱ」2単位の計6単位を必修科目とし、加えて下記に示す必修選択科目(その他項目)60科目から2単位以上を修得、合計8単位以上の修得を修了要件とする。
修了証としてデジタル証明(オープンバッジ)を授与する。

【必修選択科目(その他項目)】
2単位:「英語基礎研究7-2」、「4年英米文学演習3-1/3-2」、「4年英語学演習1-1/1-2」、「4年英語学演習2-1/2-2」、「4年英語学演習3-1/3-2」、「4年メディア・コミュニケーション演習2-1/2-2」、「4年メディア・コミュニケーション演習3-1/3-2」、「日本語学研究1」、「博物館情報・メディア論」、「社会統計学」、「データ分析の基礎」、「多変量解析法」、「社会心理学特講2」、「社会調査の技法」、「社会調査実習1(1)/1(2)」、「社会心理学論文演習(1)/(2)」、「社会調査実習2(1)/2(2)」、「情報活用の社会的実践」、「社会心理学演習Ⅰ-1(1)/Ⅰ-1(2)/Ⅰ-2(1)/Ⅰ-2(2)/Ⅰ-3(1)/Ⅰ-3(2)/Ⅱ-1(1)/Ⅱ-1(2)/Ⅱ-2(1)/Ⅱ-2(2)」、「社会心理学演習Ⅱ-3(1)/Ⅱ-3(2)(2025年度から開講)」、「ICT社会論」、「哲学基礎演習」、「メディア教材開発(奇数年度に隔年開講)」、「心理学統計法」、「基礎情報処理技法」、「心理学データ解析実習1/2」、「発達・認知心理学特講5」、「グローバル共生総合演習」、「グローバル共生基礎Ⅰ/Ⅱ」、「地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト」、「地球規模課題を探究する」、「地域づくり演習1/2」
1単位:「研究法実習5(1)/5(2)/6(1)/6(2)/7(1)/7(2)」

必要最低科目数・単位数 科目 単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
AI・データサイエンス基礎	2	○	○										
情報処理入門Ⅰ	2	○	○	○	○								
情報処理入門Ⅱ	2	○		○		○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
AI・データサイエンス基礎	2	○	○	○		○		○													
情報処理入門Ⅰ	2	○	○	○																	
情報処理入門Ⅱ	2	○	○		○	○	○	○	○	○											

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
情報処理入門Ⅱ	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
(別紙の通り)			

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・集合、ベン図「情報処理入門Ⅰ」(5回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「AI・データサイエンス基礎」(6回目) ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「情報処理入門Ⅰ」(2回目, 3回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「AI・データサイエンス基礎」(10回目) ・相関係数、相関関係と因果関係「情報処理入門Ⅰ」(4回目) ・仮説検定(帰無仮説と対立仮説、第1種の過誤、第2種の過誤、p値、有意水準)「情報処理入門Ⅱ」(1回目) ・ベクトルと行列「情報処理入門Ⅱ」(5回目)
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの表現(フローチャート)「情報処理入門Ⅱ」(7回目) ・並び替え(ソート)、探索(サーチ)「情報処理入門Ⅰ」(6回目, 7回目)
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「情報処理入門Ⅰ」(6回目) ・情報量の単位(ビット、バイト)、二進数、文字コード「情報処理入門Ⅰ」(5回目) ・画像の符号化、画素(ピクセル)、色の3要素(RGB)「情報処理入門Ⅰ」(7回目)
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「情報処理入門Ⅱ」(8回目) ・変数、代入、四則演算、論理演算「情報処理入門Ⅱ」(8回目, 9回目) ・関数、引数、戻り値「情報処理入門Ⅱ」(10回目) ・順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報処理入門Ⅱ」(11回目)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明)「情報処理入門Ⅱ」(1回目) ・データ駆動型社会、Society5.0「AI・データサイエンス基礎」(2回目) ・データ駆動型社会、Society5.0「情報処理入門Ⅰ」(1回目)
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル「情報処理入門Ⅰ」(1回目) ・様々な分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「情報処理入門Ⅰ」(4回目, 7回目, 8回目, 9回目) ・データの収集、加工、分割/統合「情報処理入門Ⅰ」(7回目) ・標本調査、標本誤差「AI・データサイエンス基礎」(10回目)
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ「情報処理入門Ⅱ」(2回目) ・ビッグデータ活用事例「情報処理入門Ⅱ」(2回目) ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「情報処理入門Ⅱ」(2回目)
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの歴史、推論、探索「AI・データサイエンス基礎」(4回目) ・AIの歴史、推論、探索「情報処理入門Ⅱ」(3回目) ・汎用AI/特化型AI、フレーム問題「情報処理入門Ⅱ」(3回目) ・人間の知的活動とAI技術「情報処理入門Ⅱ」(3回目) ・AI技術の活用領域の広がり「情報処理入門Ⅱ」(3回目)
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理、AIの社会的受容性「情報処理入門Ⅱ」(4回目) ・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「情報処理入門Ⅱ」(4回目)
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む機械学習の応用と発展「AI・データサイエンス基礎」(4回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「AI・データサイエンス基礎」(5回目) ・機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習「情報処理入門Ⅱ」(5回目)
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新「情報処理入門Ⅱ」(6回目) ・ニューラルネットワークの原理「情報処理入門Ⅱ」(6回目) ・ディープニューラルネットワーク(DNN)「情報処理入門Ⅱ」(6回目) ・敵対的生成ネットワーク(GAN)「情報処理入門Ⅱ」(6回目)
3-9 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習と推論、評価、再学習「情報処理入門Ⅱ」(5回目, 14回) ・AIの開発環境と実行環境「情報処理入門Ⅱ」(5回目, 14回) ・複数のAI技術を活用したシステム「情報処理入門Ⅱ」(3回目) 	

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	1-6 代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「情報処理入門Ⅰ」(2回目, 3回目) 1-6 相関係数、相関関係と因果関係「情報処理入門Ⅰ」(4回目) 2-7 順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成「情報処理入門Ⅱ」(11回目)
	II	1-2 様々な分析手法(回帰、分類、クラスタリングなど)「情報処理入門Ⅰ」(4回目, 7回目, 8回目, 9回目) 1-2 データの収集、加工、分割/統合「情報処理入門Ⅰ」(7回目) 3-9 AIの学習と推論、評価、再学習「情報処理入門Ⅱ」(5回目, 14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術を体系的に理解するとともに、目的に応じて適切にデータを収集・抽出・分析し、これらを活用して課題を解決できる実践的な能力を身につける。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容

「数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)における、コア学修項目「3-5 生成AIの基礎と展望」の内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)について、令和7年度以降の実施・検討状況などを記載してください。(教育プログラムに含む・含める科目に限り記載し、構想を含む講義内容が記載出来る場合は記載してください)

※本項目は令和7年度先行認定より改訂版モデルカリキュラムを完全適用することを踏まえ、各大学等の実施・検討状況を参考に伺うものであり、認定要件とはなりません。

実施・検討状況
モデルカリキュラムの改訂に伴い、当該プログラムにおける必須授業の一つである「AI・データサイエンス基礎」の授業教材であるeラーニングシステムに「生成AIの概要」に関する動画や資料が追加提供されたため、令和7年度前期の当該授業の補足講義に組み入れる予定。

聖心AI・データサイエンス（応用基礎）プログラム選択科目一覧

（以下の科目から2単位以上を修得すること）

開講所属	科目コード	授業科目名	選択項目	備考
英文	MP14	英語基礎研究7-2	その他	
英文	MD61	4年英米文学演習3-1	その他	
英文	MD62	4年英米文学演習3-2	その他	
英文	MD51	4年英語学演習1-1	その他	
英文	MD52	4年英語学演習1-2	その他	
英文	MD53	4年英語学演習2-1	その他	
英文	MD54	4年英語学演習2-2	その他	
英文	MD55	4年英語学演習3-1	その他	
英文	MD56	4年英語学演習3-2	その他	
英文	MD75	4年メディア・コミュニケーション演習2-1	その他	
英文	MD76	4年メディア・コミュニケーション演習2-2	その他	
英文	MD77	4年メディア・コミュニケーション演習3-1	その他	
英文	MD78	4年メディア・コミュニケーション演習3-2	その他	
日文	CD58	日本語学研究 1	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE33	研究法実習 5 (1)	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE34	研究法実習 5 (2)	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE35	研究法実習 6 (1)	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE36	研究法実習 6 (2)	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE37	研究法実習 7 (1)	データエンジニアリング応用基礎	
日文	CE38	研究法実習 7 (2)	データエンジニアリング応用基礎	
史学	DJ26	博物館情報・メディア論	データエンジニアリング応用基礎	
人関	EH30	社会統計学	その他	
人関	EH31	データ分析の基礎	データサイエンス応用基礎	
人関	EH32	多変量解析法	データサイエンス応用基礎	
人関	EB02	社会心理学特講 2	データサイエンス応用基礎	
人関	EH24	社会調査の技法	データサイエンス応用基礎	
人関	EH04	社会調査実習 1 (1)	データサイエンス応用基礎	
人関	EH05	社会調査実習 1 (2)	データサイエンス応用基礎	
人関	EH10	社会心理学論文演習(1)	データサイエンス応用基礎	
人関	EH12	社会心理学論文演習(2)	データサイエンス応用基礎	
人関	EH06	社会調査実習 2 (1)	データサイエンス応用基礎	
人関	EH07	社会調査実習 2 (2)	データサイエンス応用基礎	
人関	EB93	情報活用の社会的実践	データサイエンス応用基礎	
人関	ER33	社会心理学演習Ⅰ-1(1)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER34	社会心理学演習Ⅰ-1(2)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER35	社会心理学演習Ⅰ-2(1)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER36	社会心理学演習Ⅰ-2(2)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER37	社会心理学演習Ⅰ-3(1)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER38	社会心理学演習Ⅰ-3(2)	データサイエンス応用基礎	
人関	ER39	社会心理学演習Ⅱ-1(1)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
人関	ER40	社会心理学演習Ⅱ-1(2)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
人関	ER41	社会心理学演習Ⅱ-2(1)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
人関	ER42	社会心理学演習Ⅱ-2(2)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
人関	ER43	社会心理学演習Ⅱ-3(1)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
人関	ER44	社会心理学演習Ⅱ-3(2)	データサイエンス応用基礎	2025年度から開講
国際	GD32	ICT社会論	データサイエンス応用基礎	
哲学	HA14	哲学基礎演習	その他	
教育	JE13	メディア教材開発	AI応用基礎	隔年開講（奇数年度開講）
心理	LK33	心理学統計法	その他	
心理	LK11	基礎情報処理技法	その他	
心理	LC16	心理学データ解析実習 1	その他	
心理	LC17	心理学データ解析実習 2	その他	
心理	LN15	発達・認知心理学特講 5	その他	
総現	AS86	グローバル共生総合演習	その他	
総現	AS69	グローバル共生基礎Ⅰ	その他	
総現	AS70	グローバル共生基礎Ⅱ	その他	
総現	AU06	地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト	その他	
総現	AU11	地球規模課題を探究する	その他	
総現	AS84	地域づくり演習 1	その他	
総現	AS85	地域づくり演習 2	その他	

応用基礎レベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和6 年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数 男性 0人 女性 2339人 (合計 2339人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数												
基礎課程	550	490	490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
英語文化コミュニケーション学科	280		278	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0%
日本語日本文学科	186		153	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
史学科	174		171	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1%
人間関係学科	211		186	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
国際交流学科	264		211	83	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	39%
哲学科	157		132	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
教育学科	290		237	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1%
心理学科	227		192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合計	2,339	490	2,050	91	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	4%

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

- ① 全学の教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人
- ② プログラムの授業を教えている教員数 人
- ③ プログラムの運営責任者
 (責任者名) (役職名)
- ④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

 (責任者名) (役職名)
- ⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

⑥ 体制の目的

＜教務委員会＞
 聖心女子大学教授会に基づく委員会規程に基づき「教務委員会」を設定している。教務委員会では教育課程(カリキュラム)の編成及び履修に関する事項、教育課程実施の年間計画に関する事項、授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項、成績評価及び単位認定に関する事項、教員の配置に関する事項などを所管している。AI・データサイエンスプログラムについても、カリキュラム編成、普及促進、情報リテラシー教育の質保証に向けた検討を行っている。

＜「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会＞
 AI・データサイエンス基礎プログラム および「AI・データサイエンス 応用基礎プログラム」のカリキュラム、教育内容、教育方法、評価の整備について検討し、自己点検・評価報告書を作成、プログラムの発展・充実を図るために設置している。検討に際しては、学外の専門家にも協力を依頼し、助言を得ている。

⑦ 具体的な構成員

＜教務委員会＞
【委員長】副学長(学務・大学院担当) 教授 長野美香
【委員】英語文化コミュニケーション学科 准教授 杉本淳子
 日本語日本文学科 准教授 青島麻子
 史学科 専任講師 芹口真結子
 人間関係学科 教授 小城英子
 国際交流学科 准教授 Steve Corbeil(スティーブ コルベイユ)
 哲学科 教授 伊豆藏好美
 教育学科 教授 澤野由紀子
 心理学科 准教授 神前裕子
 事務局長 桑田悟
 学務部長 道正伸久
 学務部教務課長 北村早紀子、森脇美穂

＜「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会＞
【委員長】副学長(学務・大学院担当) 教授 長野美香
【委員】メディア学習支援センター長 永井 淳一(心理学科 教授)
 人間関係学科 教授 薊理律子
 学務部長 道正伸久
 学務部教務課長 北村早紀子、森脇美穂
 管理部次長(兼)情報企画推進課長 鈴木広司

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	4%	令和7年度予定	7%	令和8年度予定	10%
令和9年度予定	13%	令和10年度予定	15%	収容定員(名)	2,050
具体的な計画					
<p>数理・データサイエンス・AIの知識を様々な専門分野へ応用・活用し、現実の課題解決、価値創造を担うスキルを身につけるために全学必修として2023年度に設置した「AI・データサイエンス基礎プログラム」の学びを補完的・発展的に深めるため、2024年度から「AI・データサイエンス応用基礎プログラム」を設置した。</p> <p>学生に対しては、数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術を体系的に理解するとともに、目的に応じて適切にデータを収集・抽出・分析し、これらを活用して課題を解決できる実践的な能力を身につけることを周知して、特定の学科ではなく、すべての学科からの履修を推奨した。</p>					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

<p>必修科目でもある「AIデータサイエンス基礎」については、リテラシーレベルのプログラム科目として1年次前期に履修・修得するようガイダンスでも呼びかけており、前期に修得できなかった学生は、後期に再度履修し修得を図ることとしている。</p> <p>同じく必修科目の「情報処理入門」は、全学科の学生が履修できるよう開講クラスを増やし、履修者が特定の学科生に偏ることのないように工夫した。</p> <p>選択科目については、学生の所属学科の科目を受講することでプログラムの修了要件を満たせるように全8学科の開講科目を用意している。</p>

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

<p>本教育プログラムの趣旨・目的をはじめ、当該プログラムの履修に関する情報を学生へ配付している「履修要覧」(特別プログラムのページ)に掲載するとともに、学内教学支援システムを利用した配信により全学生へ向け周知徹底を図っている。</p>
--

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

前年度までの「AIデータサイエンス基礎」科目履修者アンケートを参考にして、履修者へのサポート体制を検討し、以下の諸点に留意している。

- ① Googleクラスルームを活用した双方向サポートの充実を図る
- ② 学内のメディア学習支援センターでの、操作方法等支援を実施し、双方向性を確保する
- ③ 参考書等の学習教材を揃え、学習支援を強化する
- ④ 実践的、発展的な内容を扱うセミナーを開催し、学習の更なる深化を図る。

また、可能な限り授業内で課題を行う時間を確保しているため、課題に取り組みながら、授業で分からなかった箇所について授業中に質問させるようにしている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

授業で学修した内容を定着させるために、課題については、授業で扱った資料を参照しながら、自力で取り組める内容にしており、授業時間中に終わらなかった学生に対しては、分からない内容を授業中に質問してから自宅に取り組めるように促している。

また、本学では情報教育の推進、情報メディアを活用した学習の支援、情報ネットワークシステム活用のための学習環境の向上を図ることを目的として「メディア学習支援センター」を設置し、PCを使った実習や作品制作ができる演習室を備えており、機器操作方法等の支援を実施し、双方向性を確保、参考書等の学習教材を揃え、学習支援の強化を図っている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会

(責任者名) 長野 美香

(役職名) 副学長(学務・大学院担当)

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本プログラムの必修科目として、リテラシーレベルで必修とした「AI・データサイエンス基礎」の発展的内容を学ぶ「情報処理入門1、I」「情報処理入門2、II」が2年生以上の全学科生向けに開講され、それぞれ53名、30名が修得した。これら必修科目修得者のうち20名が、本プログラムが選択科目として提供した計60科目(全8学科及び総合現代教養科目)の中から少なくとも1科目を履修し修得することにより、2024年度AI・データサイエンスプログラム(応用基礎)の修了者となった。
学修成果	必修の「情報処理入門」では、毎回の授業で課題を出し、その日の学習成果を随時把握し、その結果を元に次の授業の冒頭で復習を行った。実習の時間では授業中に学生からの積極的な質問を促して、個別的な指導を心掛けた。選択科目では、課題解決のための実践的な能力を修得させるため、ゲスト講師によるソリューションの開発プロセスに関する講義や、言語に関する大規模な電子データの取扱いを通じて、人文社会分野における社会貢献のイメージを具体的に掴むことに繋がった。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	必修の「情報処理入門」の受講生に対するアンケートでは、Excelを使った統計解析では92.6%学生が身に付いたと回答しており、前期、後期共に受講することでデータ分析のスキルが身に付いたと感じていることが分かる。また、初めて行うプログラミングにおいても、81.5%の学生がプログラミングの基礎が身に付いたと回答している。このことから、学生の理解度は高かったといえる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	「情報処理入門」の受講生の満足度を問うアンケートでは、77.8%の学生が満足と回答と回答し、70.4%の学生が後輩や他の学生へも本講義の受講を勧めたいと回答した。勧めたくないと回答した学生はいなかったことから、授業内容に満足している学生が多かったことが伺える。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	今期より、後期開講の「情報処理入門2、II」は前期開講の「情報処理入門1、I」を受講していることを条件にした。これにより、前期の授業を受講しなかった学生や、後期のみ受講希望の学生が「情報処理入門2、II」を履修できなかった為、受講者数が前年度より減ってしまった。 今後、前期・後期セットで取得することをより明確に周知し、履修者数の増加を目指す。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>当該授業は令和6(2024)年度より、2年次生以上の全学科生に向けたプログラムとしての運用を開始した。そのため、現時点では卒業生が生じていない。当該プログラムを修得した学生の進路・就職状況等に変化(特徴)が見られる可能性があり、本学キャリアセンターと連携しつつ当該プログラム修了者の進路等に注視し、自己点検・評価に生かしていく予定である。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>現在の文部科学省が提唱する数理・データサイエンス・AI応用基礎レベルでは、課題解決を目的とした実践的な能力を問われているが、これに完全準拠するためにはデータ活用における実践的な教育プログラムを運用する体制を整えた上で、それを改善していくスキームが必要になってくるため、多くの大学にとってかなり高いハードルとなっている。応用基礎レベルのプログラムとして必修科目にもなっている「情報処理入門Ⅰ」と「情報処理入門Ⅱ」を総括すると、受講生にとっては専攻に関係するテーマを踏まえて課題解決を目的とした実践演習を組むことで、＜専攻分野×データ活用＞の観点で知識の活用イメージの具体化と学びを深めていくことにつながっているのではないかと思う。ビジネスや社会の諸問題の本質的な理解と解決策の提案という方向で、且つ、データサイエンス、AI技術を活用していくという意味で貴学のリベラル・アーツ教育という強みと、実践的なデータ活用教育との相性は非常に良いと感じている。 (株式会社日立システムズ 板井光輝様)</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りでAIがどのように活用されているか、現実の社会の実例を紹介しながら説明した。また、Pythonのプログラミングの授業では、AIを用いた画像認識処理を実際に体験し、学ぶことの楽しさを感じてもらえるよう工夫した。(必修科目「情報処理入門」) ・AIやICTが社会に導入される中で、どのような開発可能性があるのかという希望的学びと同時に、どのような問題が発生し得るのかという課題にも考察が及ぶよう、講義、情報提供、ディスカッションなどでバランスの良い内容を組み立てるよう心がけた。授業の課題のひとつである動画制作の中で、履修者自らAIを部分的に活用することで、実践的にリテラシー精度が上がる工夫も行った。(選択科目「ICT社会論」) ・実際に使用された日本語のデータを見ると、自分の直観や内省とぴったり合うこともあれば、今まで全く気付かなかった点に気づくこともある。受講生は母語である日本語について考える際に、直観と内省だけで判断するのではなく、実際のデータを見て判断することの重要性と、データから思いもよらぬ特徴を見つけることの面白さを学べたのではないかと思う。(選択科目：日本語学研究Ⅰ)
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前のアンケートで在学中に身に付けたいITスキルについて質問をし、学生の興味・関心があるテーマを把握することで学生が満足できる授業内容を検討している。実習時間に積極的に質問することを促すことで苦手意識を持たずに学習意欲が低下しないよう努めている。毎回授業では、独自に作成した教材を配布しており、学生はそのファイルを利用して何度も復習することで、より理解することができる。(必修科目「情報処理入門」) ・AIやICTの開発スピードが非常に速く、社会環境も急速に変化している現段階のため、履修者が向き合うべき最も重要なテーマや課題は何なのか、履修生の反応なども確認しつつ、授業内容の根本的見直しを毎年度行いつつ、最良のメニュー(授業構成)を提供するように努めていきたい。(選択科目「ICT社会論」) ・履修生にはPC操作の得意・不得意の差、日本語の基礎的な仕組みに関する知識の差があるため、教員は履修者の作業進度や理解度を確認しながら進める必要がある。例えば、グループでわからない点を教え合うようにしたり、ミニ課題でつまづいた箇所を丁寧にフィードバックしたりして、よりわかりやすい授業になるように努める。(選択科目「日本語学研究Ⅰ」)

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	A I ・データサイエンス基礎 A / Foundations of Artificial Intelligence and Data Science
コード / Registration Code	BA01-01
ナンバリングコード / Numbering Code	100BA01
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	他 1
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#オンライン(オンデマンド型)
担当者 / Instructor	永井 淳一
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	nagai@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-6 / 2023年度以降入学者：全学6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	現代社会におけるAI（人工知能）やデータサイエンスの役割、および、その基本的な仕組みや活用方法を学ぶとともに、実際の活用事例にも触れます。受講者は、現代社会を生きるためのリテラシー（いわゆる「読み書きそろばん」の能力、すなわち、誰もが持つべき当然の素養）として、AI技術やデータの利活用に関する基礎的な知識や留意事項を学び、それらを今後の学業や実生活に生かせるようになります。積極的に参加し、最先端のさまざまな紹介事例から現代社会の大きな変化を感じ取ってください。
授業概要 / Course description	この授業はeラーニングシステムと Google Classroom を使用し、オンライン（オンデマンド型）形式により実施されます。各回の教材（PDFと映像）と課題（確認テストと振り返り課題）はeラーニングシステム上に配信され、学期中、受講者はすべての教材を繰り返し閲覧・視聴することができます。担当者からは、毎週の一定曜日に Google Classroom でその週の課題をお知らせします（課題は週ごとにeラーニングシステム上に追加する形で配信されます）。受講者の皆さんは、毎週、複数の映像教材を順を追って視聴した上で、期限までに課

	<p>題に回答し、学習を進めてください。課題のうち、確認テストには何度でも回答できますので、できるだけ高得点となるように繰り返し取り組み、理解の定着をはかることが期待されます。</p>	
<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>特に指定しません。 メディア学習支援センター（ランゲージラボ）に関連図書を用意しています。</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	
	<p>その他 /Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	実施しない(No)
	<p>内容 /Content</p>	
<p>授業時間外の学習（準備学習・復習等） /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	配信資料の教材PDFに目を通し、映像教材のラインアップや大まかなテーマを把握してください。
	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	50分×14回
	<p>事後学習の内容 /Review</p>	教材（PDFと映像）を振り返り、テストと課題に取り組み、理解の定着をはかってください。
	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	150分×14回
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>2023年度以降（編入学生の場合は2024年度以降）の入学者の必修科目です。前期に修得できなかった学生は、後期に再度履修し、修得を目指すこととなります。履修初年度に修得できなかった学生は、翌年度以降、履修する年度ごとにeラーニングシステム延長利用費として5,000円（税別）の実費を納入しなければなりません。毎週の課題に着実に取り組み、初年度の修得を目指してください。</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	0%
	小テスト (%) /Quizzes	30% (各回の確認テスト)
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	30% (各回の振り返り課題)
	平常点 (%) /Participation	30% (各回の参加・取り組みの状況)
	その他 (%) /Other	10% (事前アンケート/事後アンケート)
学生へのフィードバック /Feedback	確認テストに回答すると点数が表示され、満点になるまで繰り返し取り組むことができます。(確認テストに再回答する場合は、複数ある問題の順序がランダムに入れ替わります。)	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/自動登録科目 (新1年次生 (再入学生含む)、教務課が指定した学生)	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-1,8	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス/データサイエンスとは～背景とキーワード	永井淳一
2	社会で起きている変化～日本の現状・Society5.0に向けて	永井淳一
3	社会で活用されているデータ～具体例と分類・オープンデータとは	永井淳一
4	データ・AIの活用領域～AIの定義・歴史的背景と現状	永井淳一
5	データ・AI利活用のための技術～データ認識技術・AI技術・課題と展望	永井淳一
6	データ活用とは～データの定義・活用のモデルとアプローチ・活用の領域	永井淳一
7	データ・AI利活用の現場～実社会における利活用の事例と今後の課題	永井淳一
8	データ・AI利活用の最新動向～新しいビジネス・関連する新技術	永井淳一

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
9	データを読む（１）～データの種類・代表値・ばらつき・チェックの方法	永井淳一
10	データを読む（２）～相関と因果・母集団と抽出・統計情報の正しい理解	永井淳一
11	データを説明する～グラフの活用・データの比較／データを扱う～演習問題	永井淳一
12	データ・AIを扱う上での留意事項（１）～エルシー（倫理的・法的・社会的な課題）・行ってはいけない不正行為（ねつ造・改ざん・盗用）・個人情報の保護と現状	永井淳一
13	データ・AIを扱う上での留意事項（２）～データ・AI活用において生じる様々なバイアス（ゆがみ・偏り）・AIの正しい活用に向けて	永井淳一
14	データを守る上での留意事項まとめ～情報セキュリティについて・データサイエンスの重要性	永井淳一

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	A I ・データサイエンス基礎 B / Foundations of Artificial Intelligence and Data Science
コード / Registration Code	BA01-02
ナンバリングコード / Numbering Code	100BA01
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	他 1
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#オンライン(オンデマンド型)
担当者 / Instructor	永井 淳一
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	nagai@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-6 / 2023年度以降入学者：全学6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	現代社会におけるAI（人工知能）やデータサイエンスの役割、および、その基本的な仕組みや活用方法を学ぶとともに、実際の活用事例にも触れます。受講者は、現代社会を生きるためのリテラシー（いわゆる「読み書きそろばん」の能力、すなわち、誰もが持つべき当然の素養）として、AI技術やデータの利活用に関する基礎的な知識や留意事項を学び、それらを今後の学業や実生活に生かせるようになります。積極的に参加し、最先端のさまざまな紹介事例から現代社会の大きな変化を感じ取ってください。
授業概要 / Course description	この授業はeラーニングシステムと Google Classroom を使用し、オンライン（オンデマンド型）形式により実施されます。各回の教材（PDFと映像）と課題（確認テストと振り返り課題）はeラーニングシステム上に配信され、学期中、受講者はすべての教材を繰り返し閲覧・視聴することができます。担当者からは、毎週の一定曜日に Google Classroom でその週の課題をお知らせします（課題は週ごとにeラーニングシステム上に追加する形で配信されます）。受講者の皆さんは、毎週、複数の映像教材を順を追って視聴した上で、期限までに課

	<p>題に回答し、学習を進めてください。課題のうち、確認テストには何度でも回答できますので、できるだけ高得点となるように繰り返し取り組み、理解の定着をはかることが期待されます。</p>	
<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>特に指定しません。 メディア学習支援センター（ランゲージラボ）に関連図書を用意しています。</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	
	<p>その他 /Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	実施しない(No)
	<p>内容 /Content</p>	
<p>授業時間外の学習（準備学習・復習等） /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	配信資料の教材PDFに目を通し、映像教材のラインアップや大まかなテーマを把握してください。
	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	50分×14回
	<p>事後学習の内容 /Review</p>	教材（PDFと映像）を振り返り、テストと課題に取り組み、理解の定着をはかってください。
	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	150分×14回
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>2023年度以降（編入学生の場合は2024年度以降）の入学者の必修科目です。前期に修得できなかった学生は、後期に再度履修し、修得を目指すこととなります。履修初年度に修得できなかった学生は、翌年度以降、履修する年度ごとにeラーニングシステム延長利用費として5,000円（税別）の実費を納入しなければなりません。毎週の課題に着実に取り組み、初年度の修得を目指してください。</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	0%
	小テスト (%) /Quizzes	30% (各回の確認テスト)
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	30% (各回の振り返り課題)
	平常点 (%) /Participation	30% (各回の参加・取り組みの状況)
	その他 (%) /Other	10% (事前アンケート/事後アンケート)
学生へのフィードバック /Feedback	確認テストに回答すると点数が表示され、満点になるまで繰り返し取り組むことができます。(確認テストに再回答する場合は、複数ある問題の順序がランダムに入れ替わります。)	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/自動登録科目 (新1年次生 (再入学生含む)、教務課が指定した学生)	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-1,8	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス/データサイエンスとは~背景とキーワード	永井淳一
2	社会で起きている変化~日本の現状・Society5.0に向けて	永井淳一
3	社会で活用されているデータ~具体例と分類・オープンデータとは	永井淳一
4	データ・AIの活用領域~AIの定義・歴史的背景と現状	永井淳一
5	データ・AI利活用のための技術~データ認識技術・AI技術・課題と展望	永井淳一
6	データ活用とは~データの定義・活用のモデルとアプローチ・活用の領域	永井淳一
7	データ・AI利活用の現場~実社会における利活用の事例と今後の課題	永井淳一
8	データ・AI利活用の最新動向~新しいビジネス・関連する新技術	永井淳一

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
9	データを読む（１）～データの種類・代表値・ばらつき・チェックの方法	永井淳一
10	データを読む（２）～相関と因果・母集団と抽出・統計情報の正しい理解	永井淳一
11	データを説明する～グラフの活用・データの比較／データを扱う～演習問題	永井淳一
12	データ・AIを扱う上での留意事項（１）～エルシー（倫理的・法的・社会的な課題）・行ってはいけない不正行為（ねつ造・改ざん・盗用）・個人情報の保護と現状	永井淳一
13	データ・AIを扱う上での留意事項（２）～データ・AI活用において生じる様々なバイアス（ゆがみ・偏り）・AIの正しい活用に向けて	永井淳一
14	データを守る上での留意事項まとめ～情報セキュリティについて・データサイエンスの重要性	永井淳一

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	情報処理入門I A / Introduction to Data Processing I
コード / Registration Code	GL21-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200GL21
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 国際交流学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	渡邊 ゆり
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yuri.watanabe@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：(対象外) / 2023年度以降入学者：国際(グ)-1、国際(異)-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>情報処理の基礎知識，数理，データサイエンスに関する技術を体系的に理解するとともに，目的に応じて適切にデータを分析，活用して課題を解決できる能力を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し，データ分析・統計の基礎を習得する。 ・学習・研究のための情報収集と調査にインターネットを正しく活用できる。 ・文書作成ソフトウェア（Word），表計算ソフトウェア（Excel）を活用して，レポートの作成ができる。 ・プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使って，プレゼン資料を作り，発表ができる。
授業概要 / Course description	<p>毎回，講義だけでなく，パソコンを用いた実習を組み合わせ，授業を進める。</p> <p>※各自，ノートパソコンを持参してください。</p> <p>講義では，データサイエンスとして統計学をはじめ様々なデータ処理に関する知識を習得する。</p> <p>実習では，論文作成方法，データ分析，プレゼンテーション作成等について初歩的な操作から便利な活用法までを習得する。</p>

テキスト・参考文献
/Textbooks

【参考書】
 ・杉本くみ子, 大澤栄子『30時間アカデミック Office2019』, 実教出版
 ・北川 源四郎 他, 応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践 (データサイエンス入門シリーズ), 講談社
 ・羽山 博&できるシリーズ編集部, 「できる. やさしく学ぶ Excel統計入門」, インプレス

講義・実習で使う資料は, 毎回用意します。参考書は必要に応じて, 各自準備するようにしてください。詳細は適宜授業内で指示いたします。参考書は授業初回までに準備する必要はありません。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
/Use of Active Learning Methods

活用される授業手法
/Teaching Methods

プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)

その他
/Other

ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction with ICT

実施の有無
/Does this apply to your course?

実施する(Yes)

内容
/Content

Google Classroomを使用してデータの共有, 課題提出を行う。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等)
/Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので, それも考慮しながら学修計画をたて, 無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time

事前学習の内容
/Preparation

前回の授業の復習をしてください。

事前学習時間
/Preparation (time)

100分×14回

事後学習の内容
/Review

講義中に出题される課題に取り組んでください。

事後学習時間
/Review (time)

100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
/To be noted

評価方法
/Evaluation

評価方法
/Evaluation

試験 (%)
/Exam

試験 (0%)

レポート (%)
/Final paper

20

レポート・課題 (40%)

小テスト (%) /Quizzes	小テスト (40%)
リアクションペーパー (%) /Response sheet	リアクションペーパー (0%)
平常点 (%) /Participation	平常点 (20%)
その他 (%) /Other	その他 (0%)

学生へのフィードバック /Feedback	必要に応じて課題の解説を行う。
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/2023年度以降入学者対象;《情報処理入門1》と同一科目
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	国際-1,3,4,5,6
副専攻 /Minor 教務課入力欄	国際交流副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	講義: ガイダンス, データ駆動型社会, データ分析の進め方, 仮説検証サイクル 実習: Wordの文書作成 (論文作成に用いる便利な機能)	
2	講義: データの記述 (基本統計量) 実習: Excelによる基本操作, 統計解析: 代表値 (平均値, 中央値, 最頻値), 分散, 標準偏差	
3	講義: データの記述 (データの可視化) 実習: Excelのグラフ, 数式, 基本関数, ヒストグラム	
4	講義: データの記述 (相関係数, 相関係数と因果関係) 実習: Excelによる統計解析: 相関係数, 相関関係と因果関係	
5	講義: 数学基礎 (集合, ベン図), ベクトルと行列, 逆行列 実習: Excel: IF関数, 論理関数	
6	講義: アルゴリズムの表現, 並び替え, 探索 実習: Excel: 表の検索に便利な関数	
7	講義: データベース, データ加工 実習: Excel: データベースとピボットテーブル	
8	講義: データ表現: コンピュータで扱うデータ (数値, 文章, 画像, 音声, 動画など) 実習: Excel: 集計処理, 四則演算処理, ソート処理, クレンジング処理	
9	講義: データ表現: 情報量の単位, 2進数, 文字コード 実習: Excelによる統計解析: 回帰分析	21

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
10	講義：データ収集：IoT 実習：Excelによる統計解析：重回帰分析と最小二乗法	
11	総合演習：データベースの選択と分析	
12	総合演習：データベース分析とレポート作成	
13	総合演習：分析プレゼンテーション資料作成	
14	発表会	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	情報処理入門I B / Introduction to Data Processing I
コード / Registration Code	GL21-02
ナンバリングコード / Numbering Code	200GL21
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 国際交流学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	渡邊 ゆり
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yuri.watanabe@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：(対象外) / 2023年度以降入学者：国際(グ)-1、国際(異)-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/03/14
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>情報処理の基礎知識，数理，データサイエンスに関する技術を体系的に理解するとともに，目的に応じて適切にデータを分析，活用して課題を解決できる能力を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し，データ分析・統計の基礎を習得する。 ・学習・研究のための情報収集と調査にインターネットを正しく活用できる。 ・文書作成ソフトウェア（Word），表計算ソフトウェア（Excel）を活用して，レポートの作成ができる。 ・プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使って，プレゼン資料を作り，発表ができる。
授業概要 / Course description	<p>毎回，講義だけでなく，パソコンを用いた実習を組み合わせ，授業を進める。</p> <p>※各自，ノートパソコンを持参してください。</p> <p>講義では，データサイエンスとして統計学をはじめ様々なデータ処理に関する知識を習得する。</p> <p>実習では，論文作成方法，データ分析，プレゼンテーション作成等について初歩的な操作から便利な活用法までを習得する。</p>

テキスト・参考文献
/Textbooks

【参考書】
・杉本くみ子, 大澤栄子『30時間アカデミック Office2019』, 実教出版
・北川 源四郎 他, 応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践 (データサイエンス入門シリーズ), 講談社
・羽山 博&できるシリーズ編集部, 「できる. やさしく学ぶ Excel統計入門」, インプレス

講義・実習で使う資料は, 毎回用意します。参考書は必要に応じて, 各自準備するようにしてください。詳細は適宜授業内で指示いたします。参考書は授業初回までに準備する必要はありません。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
/Use of Active Learning Methods

活用される授業手法
/Teaching Methods

プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)

その他
/Other

ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction with ICT

実施の有無
/Does this apply to your course?

実施する(Yes)

内容
/Content

Google Classroomを使用してデータの共有, 課題提出を行う。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等)
/Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので, それも考慮しながら学修計画をたて, 無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time

事前学習の内容
/Preparation

前回の授業の復習をしてください。

事前学習時間
/Preparation (time)

100分×14回

事後学習の内容
/Review

講義中に出题される課題に取り組んでください。

事後学習時間
/Review (time)

100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
/To be noted

評価方法
/Evaluation

評価方法
/Evaluation

試験 (%)
/Exam

試験 (0%)

レポート (%)
/Final paper

24

レポート・課題 (40%)

小テスト (%) /Quizzes	小テスト (40%)
リアクションペーパー (%) /Response sheet	リアクションペーパー (0%)
平常点 (%) /Participation	平常点 (20%)
その他 (%) /Other	その他 (0%)

学生へのフィードバック /Feedback	必要に応じて課題の解説を行う。
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/2023年度以降入学者対象;《情報処理入門1》と同一科目
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	国際-1,3,4,5,6
副専攻 /Minor 教務課入力欄	国際交流副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	講義: ガイダンス, データ駆動型社会, データ分析の進め方, 仮説検証サイクル 実習: Wordの文書作成 (論文作成に用いる便利な機能)	
2	講義: データの記述 (基本統計量) 実習: Excelによる基本操作, 統計解析: 代表値 (平均値, 中央値, 最頻値)、分散、標準偏差	
3	講義: データの記述 (データの可視化) 実習: Excelのグラフ, 数式, 基本関数, ヒストグラム	
4	講義: データの記述 (相関係数, 相関係数と因果関係) 実習: Excelによる統計解析: 相関係数, 相関関係と因果関係	
5	講義: 数学基礎 (集合, ベン図), ベクトルと行列, 逆行列 実習: Excel: IF関数, 論理関数	
6	講義: アルゴリズムの表現, 並び替え, 探索 実習: Excel: 表の検索に便利な関数	
7	講義: データベース, データ加工 実習: Excel: データベースとピボットテーブル	
8	講義: データ表現: コンピュータで扱うデータ (数値, 文章, 画像, 音声, 動画など) 実習: Excel: 集計処理, 四則演算処理, ソート処理, クレンジング処理	
9	講義: データ表現: 情報量の単位, 2進数, 文字コード 実習: Excelによる統計解析: 回帰分析	25

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
10	講義：データ収集：IoT 実習：Excelによる統計解析：重回帰分析と最小二乗法	
11	総合演習：データベースの選択と分析	
12	総合演習：データベース分析とレポート作成	
13	総合演習：分析プレゼンテーション資料作成	
14	発表会	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	情報処理入門II A / Introduction to Data Processing II
コード / Registration Code	GL22-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300GL22
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 国際交流学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	渡邊 ゆり
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yuri.watanabe@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：(対象外) / 2023年度以降入学者：国際(グ)-1、国際(異)-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>情報処理の基礎知識，数理，データサイエンス, AIに関する技術を体系的に理解するとともに，目的に応じて適切にデータを分析，活用して課題を解決できる能力を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し，データ分析・統計の基礎を習得する。 ・Pythonを用いた基礎的なプログラミングを習得する。 ・AIの歴史からAIを活用するための基礎知識を取得し，実際にAIを活用する際の一連の流れを身に付ける。

授業概要 /Course description	<p>毎回、講義だけでなく、パソコンを用いた実習を組み合わせ、授業を進める。</p> <p>※授業ではパソコンを使用しますので、ノートパソコンを持参すること。</p> <p>実習では、講義で習ったことを元に、ExcelやPythonを用いてデータ分析、プログラミングを行う。</p>	
テキスト・参考文献 /Textbooks	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉本くみ子, 大澤栄子『30時間アカデミック Office2019』, 実教出版 ・北川 源四郎 他, 応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践 (データサイエンス入門シリーズ), 講談社 ・羽山 博&できるシリーズ編集部, 「できる. やさしく学ぶ Excel統計入門」, インプレス <p>講義・実習で使う資料は、毎回用意します。参考書は必要に応じて、各自準備するようにしてください。詳細は適宜授業内で指示いたします。参考書は授業初回までに準備する必要はありません。</p>	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Google Classroomを使用してデータの共有、課題提出を行う。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time	<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>	
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	前回の授業の復習をしてください。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	講義中に出題される課題に取り組んでください。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted		

評価方法 /Evaluation													
評価方法 /Evaluation	<table border="1"> <tr> <td>試験 (%) /Exam</td> <td>試験 (0%)</td> </tr> <tr> <td>レポート (%) /Final paper</td> <td>レポート・課題 (40%)</td> </tr> <tr> <td>小テスト (%) /Quizzes</td> <td>小テスト (40%)</td> </tr> <tr> <td>リアクションペーパー (%) /Response sheet</td> <td>リアクションペーパー (0%)</td> </tr> <tr> <td>平常点 (%) /Participation</td> <td>平常点 (20%)</td> </tr> <tr> <td>その他 (%) /Other</td> <td>その他 (0%)</td> </tr> </table>	試験 (%) /Exam	試験 (0%)	レポート (%) /Final paper	レポート・課題 (40%)	小テスト (%) /Quizzes	小テスト (40%)	リアクションペーパー (%) /Response sheet	リアクションペーパー (0%)	平常点 (%) /Participation	平常点 (20%)	その他 (%) /Other	その他 (0%)
試験 (%) /Exam	試験 (0%)												
レポート (%) /Final paper	レポート・課題 (40%)												
小テスト (%) /Quizzes	小テスト (40%)												
リアクションペーパー (%) /Response sheet	リアクションペーパー (0%)												
平常点 (%) /Participation	平常点 (20%)												
その他 (%) /Other	その他 (0%)												
学生へのフィードバック /Feedback	必要に応じて課題の解説を行う。												
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/前提(履修):GL21「情報処理入門I」												
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	国際-1,3,4,5,6												
副専攻 /Minor 教務課入力欄	国際交流副専攻												

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	講義：標本調査、標本誤差 実習：Excelによる統計解析：t検定（帰無仮説と対立仮説，片側検定，両側検定など）	
2	講義：ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ，IoT 実習：Excelによる統計解析：クロス集計とカイ2乗検定	
3	講義：AIの歴史と応用分野 実習：Excelによる統計解析：分散分析	
4	講義：AIと社会 実習：データベースの選択と分析	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
5	講義：機械学習の基礎と展望，AIの構築・運用 実習：分析結果レポート作成	
6	分析結果プレゼンテーション資料作成	
7	発表会	
8	Pythonプログラム入門①アルゴリズムの表現（フローチャート），文字型、整数型、浮動小数点型	
9	Pythonプログラミング入門②変数、代入、四則演算、論理演算	
10	Pythonプログラミング入門③関数、引数、戻り値	
11	Pythonプログラミング入門④順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成	
12	Pythonプログラミング入門⑤グラフ描画	
13	Pythonプログラミング入門⑥画像処理	
14	Pythonプログラミング入門⑦機械学習体験	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	情報処理入門II B / Introduction to Data Processing II
コード / Registration Code	GL22-02
ナンバリングコード / Numbering Code	300GL22
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 国際交流学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	木 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	渡邊 ゆり
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yuri.watanabe@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：(対象外) / 2023年度以降入学者：国際(グ)-1、国際(異)-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/03/14
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>情報処理の基礎知識，数理，データサイエンス, AIに関する技術を体系的に理解するとともに，目的に応じて適切にデータを分析，活用して課題を解決できる能力を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し，データ分析・統計の基礎を習得する。 ・Pythonを用いた基礎的なプログラミングを習得する。 ・AIの歴史からAIを活用するための基礎知識を取得し，実際にAIを活用する際の一連の流れを身に付ける。

授業概要 /Course description	<p>毎回、講義だけでなく、パソコンを用いた実習を組み合わせ、授業を進める。</p> <p>※授業ではパソコンを使用しますので、ノートパソコンを持参すること。</p> <p>実習では、講義で習ったことを元に、ExcelやPythonを用いてデータ分析、プログラミングを行う。</p>	
テキスト・参考文献 /Textbooks	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉本くみ子, 大澤栄子『30時間アカデミック Office2019』, 実教出版 ・北川 源四郎 他, 応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践 (データサイエンス入門シリーズ), 講談社 ・羽山 博&できるシリーズ編集部, 「できる. やさしく学ぶ Excel統計入門」, インプレス <p>講義・実習で使う資料は、毎回用意します。参考書は必要に応じて、各自準備するようにしてください。詳細は適宜授業内で指示いたします。参考書は授業初回までに準備する必要はありません。</p>	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Google Classroomを使用してデータの共有、課題提出を行う。
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time	<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>	
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	前回の授業の復習をしてください。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	講義中に出題される課題に取り組んでください。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted		

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	試験 (0%)
	レポート (%) /Final paper	レポート・課題 (40%)
	小テスト (%) /Quizzes	小テスト (40%)
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	リアクションペーパー (0%)
	平常点 (%) /Participation	平常点 (20%)
	その他 (%) /Other	その他 (0%)
学生へのフィードバック /Feedback	必要に応じて課題の解説を行う。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/前提(履修):GL21「情報処理入門I」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	国際-1,3,4,5,6	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	国際交流副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	講義：標本調査、標本誤差 実習：Excelによる統計解析：t検定（帰無仮説と対立仮説，片側検定，両側検定など）	
2	講義：ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ，IoT 実習：Excelによる統計解析：クロス集計とカイ2乗検定	
3	講義：AIの歴史と応用分野 実習：Excelによる統計解析：分散分析	
4	講義：AIと社会 実習：データベースの選択と分析	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
5	講義：機械学習の基礎と展望, AIの構築・運用 実習：分析結果レポート作成	
6	分析結果プレゼンテーション資料作成	
7	発表会	
8	Pythonプログラム入門①アルゴリズムの表現（フローチャート）, 文字型、整数型、浮動小数点型	
9	Pythonプログラミング入門②変数、代入、四則演算、論理演算	
10	Pythonプログラミング入門③関数、引数、戻り値	
11	Pythonプログラミング入門④順次、分岐、反復の構造を持つプログラムの作成	
12	Pythonプログラミング入門⑤グラフ描画	
13	Pythonプログラミング入門⑥画像処理	
14	Pythonプログラミング入門⑦機械学習体験	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	英語基礎研究 7 - 2 / Basic English Studies 7-2
コード / Registration Code	MP14-01
ナンバリングコード / Numbering Code	201MP14
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 5
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	扶瀬 幹生
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	fuse@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-1 / 2023年度以降入学者：英文-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/12		
副題 / Subtitle	Creating a horror game on Roblox		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	Following a game developer's video tutorial on <i>YouTube</i>, we create a horror game while learning a number of basic & advanced game programming skills.		
授業概要 / Course description	By creating a horror game, we learn how to design a 3D game map, and how to use scripts to make various events happen in the game. Course listing on the curriculum map: 英文 - 1		
テキスト・参考文献 / Textbooks	Pluto, "How To Make A REALISTIC Roblox Horror Game" (<i>YouTube</i>)		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table border="1"> <tr> <td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td> <td>プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベ</td> </tr> </table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベ
活用される授業手法 / Teaching Methods	プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベ		

／Use of Active Learning Methods		ー卜(Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	Watching the assigned video tutorial to see how far you can achieve by yourself
	事前学習時間 ／Preparation (time)	2hrs/wk
	事後学習の内容 ／Review	Making corrections and improvements on your game
	事後学習時間 ／Review (time)	2hrs/wk
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	Every deadline must be met. IMPORTANT REMINDER: This course is NOT suitable for students who cannot attend REGULARLY and ON TIME.	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	30
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	20

	平常点 (%) /Participation	50 (Weekly achievement of assigned tasks)
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	Suggestions to be given either orally or by written comments	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選/2015年度以降入学者対象; 排他: MC27「2年英文演習8-2」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文-1.2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻 (メディアと社会分野)	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Game Map	
2	Lighting & Shadows	
3	Teleport Players	
4	Door Physics	
5	Background Music & Footstep Sounds	
6	How to Animate	
7	Enemy NPC	
8	Import Images	
9	Viewmodel	
10	Main Menu	
11	Jumpscare & Crosshair	
12	Change FOV	
13	Health Bar	
14	Round-up	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英米文学演習3 - 1 / Senior Seminar: English and American Literature 3-1
コード / Registration Code	MD61-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD61
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	扶瀬 幹生
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	fuse@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/12
副題 / Subtitle	Graduation Game Production Projects 1
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	The course supervises and assists the progress of your graduation game production project.
授業概要 / Course description	<p>It is your responsibility to achieve the following tasks by the end of the term:</p> <ol style="list-style-type: none">1) To create in the game the basic scenes, backdrops and props, and scripts that cause events in the scenes2) To declare in your thesis the theme and objectives of your game and explain the backgrounds of your choice of the theme and objectives (Introduction), describe what the player is to experience in each scene (Chapter 1) and explain the mechanics of some featured programming skills you have used (Chapter 2).

	Course listing on the curriculum map: 英文 – 2	
テキスト・参考文献 /Textbooks	To be found by yourself	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	Game production & thesis writing
	事前学習時間 /Preparation (time)	5hrs/wk
	事後学習の内容 /Review	Corrections & improvements on the game & thesis
	事後学習時間 /Review (time)	5hrs/wk
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	Every deadline must be met.	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0

	レポート (%) /Final paper	50
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 (Progress in the game & the thesis)
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	Suggestions to be given either orally or by pen markings	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文 - 1.2.3	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻（英米文学分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Stating the theme and objectives of your game	
2	Describing the backgrounds of your choice of the theme and objectives	
3	Planning the scenes and events of the game	
4	Creating the scenes	
5	Creating the backdrops and props 1	
6	Creating the backdrops and props 2	
7	Coding the basic framework	
8	Coding the events 1	
9	Coding the events 2	
10	Coding the events 3	
11	Points and data storage systems	
12	Describing the player experience by scenes	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	Explaining the coding features 1	
14	Explaining the coding features 2	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英米文学演習3 - 2 / Senior Seminar: English and American Literature 3-2
コード / Registration Code	MD62-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD62
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	扶瀬 幹生
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	fuse@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/12
副題 / Subtitle	Graduation Game Production Projects 2
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>The course continues to supervise and assist the progress of your graduation game production project.</p> <p>After submitting your graduation paper, you prepare the poster presentation that orally explains your individual game production project.</p>

<p align="center">授業概要 /Course description</p>	<p>It is your responsibility to achieve the following tasks by the end of the term:</p> <p>1) To further refine your game and bring it to completion. 2) To refine the first three sections of your graduation paper and add the final section (Section 4) that assesses the achievements of your project 3) To give an oral poster presentation about your game production project</p> <p>Course listing on the curriculum map: 英文 – 2</p>	
<p align="center">テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>To be found by yourself</p>	
<p align="center">アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p align="center">活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	<p>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート (Discussion&comma;Debate)</p>
<p align="center">ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p align="center">実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	<p>実施しない(No)</p>
<p align="center">授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p align="center">授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p align="center">事前学習の内容 /Preparation</p>	<p>Game production & thesis writing</p>
	<p align="center">事前学習時間 /Preparation (time)</p>	<p>5hrs/wk</p>
	<p align="center">事後学習の内容 /Review</p>	<p>Corrections & improvements on the game & the thesis</p>
	<p align="center">事後学習時間 /Review (time)</p>	<p>5hrs/wk</p>
<p align="center">その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>Every deadline must be met.</p>	

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	50
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 (Progress in the game & the thesis)
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	Suggestions to be given either orally or by pen markings	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	英文－1.2.3	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	英語文化コミュニケーション副専攻（英米文学分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Reviewing the game and the first three sections of the thesis	
2	Evaluation and improvement of the game	
3	Enhancing visual and sound effects	
4	Creating the game icon and thumbnails	
5	Peer reviews	
6	Summing up the game project	
7	Creating a gameplay video	
8	Final refinement of the game	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
9	Final refinement of the thesis	
10	Poster presentation: outlines	
11	Poster presentation: speech script	
12	Poster presentation: poster design	
13	Poster presentation: interaction with the audience	
14	Round-up	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習 1 - 1 / Senior Seminar: English Linguistics 1-1
コード / Registration Code	MD51-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD51
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	火 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	林 龍次郎
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	hayashi@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/05
副題 / Subtitle	Negation in English
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	The goal is to acquire basic skills of linguistic research through close examination of English syntactic phenomena. This term's main topic is negation. Students are expected to learn how to discover problems in linguistics and solve them by themselves.
授業概要 / Course description	Study of negation in English from various viewpoints. Intensive reading of texts in linguistics. Logical analysis of topics often discussed in syntax and semantics, including the scope of negation, negative polarity items, multiple negation, etc. Course listing on the curriculum map: 英文 - 2
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 Handouts 【参考文献】 Huddleston, R. and G. Pullum (2002) <i>The Cambridge

	Grammar of the English Language</i>. Cambridge Univ. Press. Quirk, R., et al. (1985) <i>A Comprehensive Grammar of the English Language</i>. Longman. 中島平三（編）（2001）『英語構文事典』大修館	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	Read the text intensively before class and prepare questions to ask.
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100 min. × 14
	事後学習の内容 ／Review	Review the class to become able to explain orally what you learned in English.
	事後学習時間 ／Review (time)	100 min. × 14
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	Active participation in class is essential. Each student should prepare handouts and make sufficient preparations for the presentation.	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	40
	レポート (%) ／Final paper	30

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>0</p>
	<p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>0</p>
	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>0</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>30 (Presentation)</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>Comments on presentations, Thesis guidance</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>英文-1.2.3</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）</p>

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	An overview of negation types	
2	Scope and focus of negation	
3	Verbal negation	
4	Secondary verbal negation	
5	Non-verbal negation	
6	Negative polarity items	
7	Positive polarity items	
8	Non-affirmative contexts	
9	Increased specificity of negation	
10	Multiple negation	
11	Answers to polar questions	
12	Anaphoric so and not	
13	Presentaion(1)	
14	Presentaion(2)	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習 1 - 2 / Senior Seminar: English Linguistics 1-2
コード / Registration Code	MD52-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD52
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	火 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	林 龍次郎
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	hayashi@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/08
副題 / Subtitle	Research in Linguistics
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the end of the term students should be able to read technical work in linguistics, express their own ideas, and make a presentation on a specific topic. They should also be able to write their papers in clear, logical English.
授業概要 / Course description	In-depth study of English linguistics. Topics may include syntax, morphology, semantics, pragmatics, phonology, contrastive linguistics, etc. Each student is expected to give one or two presentations of the theme she has chosen. Course listing on the curriculum map: 英文 - 2
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 Handouts 【参考文献】 Huddleston, R. and G. Pullum (2002) <i>The Cambridge Grammar of the English Language</i>. Cambridge Univ. Press.

	McCawley, J. D. (1998) <i>The Syntactic Phenomena of English</i>. Chicago Univ. Press. 中島平三（編）(2001)『英語構文事典』大修館	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	Read the text intensively before class and prepare questions to ask.
	事前学習時間 /Preparation (time)	100 min. × 14
	事後学習の内容 /Review	Review the class to become able to explain orally what you learned in English.
	事後学習時間 /Review (time)	100 min. × 14
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	Each student should prepare handouts and make sufficient preparations for the presentation. She should also look into some other students' research theme.	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	40
	レポート (%) /Final paper	30

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>0</p>
	<p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>0</p>
	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>0</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>30 (Presentation)</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>Comments on presentations, Thesis guidance</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>英文-1.2.3</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）</p>

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Overview	
2	Review of English negation	
3	Review of negation in language	
4	Understanding fundamental concepts in morphology	
5	Understanding fundamental concepts in syntax	
6	Understanding fundamental concepts in semantics and pragmatics	
7	Choosing topics	
8	Reading previous studies	
9	Evaluating previous analyses	
10	Building up a hypothesis	
11	Testing the hypothesis	
12	Suggesting a solution to the problem	
13	Presentation(1)	

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
14	Presentation(2)	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習2 - 1 / Senior Seminar: English Linguistics 2-1
コード / Registration Code	MD53-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD53
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉本 淳子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugimoto@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/26
副題 / Subtitle	Thesis Research: Phonetics and Phonology
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the completion of the course, students will be able to: (1) Create outlines for their theses. (2) Write literature reviews of their selected topics. (3) Design surveys/experiments/research projects. (4) Collect linguistic and phonetic data for their surveys/experiments/research projects.
授業概要 / Course description	This course is designed for students who will write their theses on various topics from the area of phonetics and phonology. We will read a number of articles related to topics that students have selected. All students are required to critically review the articles and actively participate in class discussions. Throughout the course, students will be instructed on how to create outlines, write effective literature reviews, and collect data for academic papers. Course listing on the curriculum map: 英文-2

<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>【テキスト】 Reading materials will be distributed in class. 【参考文献】 (1) Collins, B., Mees, I., & Carley, P. 2019. Practical Phonetics and Phonology. 4th ed. Routledge. (2) Cruttenden, A. 2014. Gimson's Pronunciation of English. 8th ed. Routledge. (3) Vance, T. 2009. The Sounds of Japanese. Cambridge UP. (4) Celce-Murcia, M. et al. 2010. Teaching Pronunciation. 2nd ed. Cambridge UP.</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	<p>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート (Discussion&comma;Debate)</p>
<p>I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	<p>実施しない(No)</p>
<p>授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>	<p>内容 /Content</p>	
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	<p>Prepare for presentations.</p>
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	<p>100 minutes × 14 weeks</p>
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事後学習の内容 /Review</p>	<p>Critically read academic articles. Write and revise thesis drafts.</p>
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	<p>200 minutes × 14 weeks</p>
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>Attendance is crucial. Students must meet the deadlines of thesis drafts and follow the schedule that will be explained in the first class.</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		
<p>評価方法 /Evaluation</p>	<p>試験 (%) /Exam</p>	<p>0</p>

	レポート (%) /Final paper	35%
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	30% (Active participation and completion of assignments)
	その他 (%) /Other	35% (Presentations)
学生へのフィードバック /Feedback	Thesis drafts will be returned with feedback.	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし（自動登録科目）／自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文－1.2.3	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
1	Introduction	
2	Creating outlines	
3	Learning how to take effective notes	
4	Using dictionaries and giving definitions	
5	Paraphrasing and summarizing	
6	Writing literature reviews	
7	Research ethics	
8	Designing research projects: content analysis	
9	Designing research projects: surveys and experiments	
10	Presentation of Chapter 1 (Teaching and learning pronunciation)	
11	Presentation of Chapter 1 (English accents and intelligibility)	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
12	Presentation of Chapter 1 (Gender and stylistic differences)	
13	Revising drafts and checking citations	
14	Conducting pilot studies	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習2 - 2 / Senior Seminar: English Linguistics 2-2
コード / Registration Code	MD54-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD54
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉本 淳子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugimoto@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/26
副題 / Subtitle	Thesis Research: Phonetics and Phonology
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the completion of the course, students will be able to: (1) Accurately transcribe English and Japanese by using phonetic symbols. (2) Analyze collected linguistic and phonetic data. (3) Describe and discuss their research/survey/experiment findings. (4) Summarize and present their theses.
授業概要 / Course description	This course is a continuation of 4年英語学演習2-1. Throughout the course, students will be introduced to techniques for analyzing linguistic and phonetic data and detail their findings in academic papers. All students are encouraged to critically evaluate the findings presented by others and are required to actively participate in class discussions. Course listing on the curriculum map: 英文-2
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 Reading materials will be distributed in class. 【参考文献】 Same as 4年英語学演習2-1

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	Prepare for presentations.
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100 minutes × 14 weeks
	事後学習の内容 ／Review	Write and revise thesis drafts.
	事後学習時間 ／Review (time)	200 minutes × 14 weeks
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	Attendance is crucial. Students must meet the deadlines of thesis drafts and follow the schedule that will be explained in the first class.	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	35%
	小テスト (%) ／Quizzes	0

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	30% (Active participation and completion of assignments)
	その他 (%) /Other	35% (Presentations)
学生へのフィードバック /Feedback	Thesis drafts will be returned with feedback.	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文－1.2.3	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Introduction	
2	Setting research questions	
3	Transcribing English and Japanese using phonetic symbols	
4	Analyzing data	
5	Creating tables and figures	
6	Report on findings (Teaching and learning pronunciation)	
7	Report on findings (English accents and intelligibility)	
8	Report on findings (Gender and stylistic differences)	
9	Discussing limitations	
10	Revising drafts	
11	Writing Introduction and Conclusion	
12	Editing and proofreading	
13	Peer review	
14	Poster presentations and reflections	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習3 - 1 / Senior Seminar: English Linguistics 3-1
コード / Registration Code	MD55-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD55
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	金澤 洋子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	y.kanazawa@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/09
副題 / Subtitle	Second Language Learning: Research Methods
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the end of this course students will be able to 1. plan and collect data for their selected topics 2. analyze data for their research projects
授業概要 / Course description	This course is designed for students who will write a research paper in the area of second language learning and teaching. Students will work independently towards completion of their own projects. Students will also participate actively and give each other feedback on each aspect of the process. Classes are conducted face to face. However, depending on the situation we may also go online. Course listing on the curriculum map: 英文-2
テキスト・参考文献 / Textbooks	Provided by the instructor 【参考文献】

	Bitchener, J. (2010). <i>Writing an applied linguistics thesis or dissertation.</i> Palgrave. Paltridge, B. and Starfield, S.<i> Thesis and Dissertation Writing in a Second Language: A Handbook for students and their Supervisors.</i> Routledge.	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	Students will work independently outside of class to complete their research projects .
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100min x 14 classes
	事後学習の内容 ／Review	reviewing texts, revising assignments
	事後学習時間 ／Review (time)	100min X 14 classes
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	Attendance is crucial. Any absence without advance notice will result in severe penalties. Effort towards timely completion of the assignments is also essential. Details are subject to change according to class size.	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	final exam (20%)

	レポート (%) /Final paper	Final paper (20%)
	小テスト (%) /Quizzes	quizzes (10%)
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	In-class work(10%)
	平常点 (%) /Participation	Class contribution (20%)
	その他 (%) /Other	presentations (20%)
学生へのフィードバック /Feedback	Feedback will be given for assignments and quizzes.	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	英文－1.2.3	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Introduction: Planning empirical studies	
2	Research questions and methodology (1)	
3	Research questions and methodology (2)	
4	Research materials (1)	
5	Research materials (2)	
6	Data analysis (1): Organizing data	
7	Data analysis (2): Coding data	
8	Data analysis (3): Interpreting data	
9	Reporting findings	
10	Graphs and figures	
11	Discussion of findings	
12	Peer review	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	Preparation for the presentations	
14	Presentations of findings	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年英語学演習3 - 2 / Senior Seminar: English Linguistics 3-2
コード / Registration Code	MD56-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD56
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	金澤 洋子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	y.kanazawa@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/09
副題 / Subtitle	Second Language Learning: Research Methods
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the end of the course, students 1. will be able to describe and discuss the findings from their original research 2. make connections between their data and theory and to the real world 3. take an active role in revising and editing their writing
授業概要 / Course description	This course is a continuation of 4年英語学演習3-1 The course will guide students through the steps necessary to finish a written report (3500 words minimum) and oral presentation of their research study. Students will report on their progress and give each other feedback in guided peer review sessions. Course listing on the curriculum map: 英文-2
テキスト・参考文献 / Textbooks	【参考文献】 Bitchener, J. (2010). <i>Writing an applied linguistics thesis or dissertation.</i> Palgrave.

	Patrodge, B. and Starfield,S. (2020). <i> Thesis and Dissertation Writing in a Second Language: A Handbook for Students and their Supervisors. Second edition.</i> Routledge.	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 /Other	
I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time <small>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</small>		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	preparation for presentations or discussions
	事前学習時間 /Preparation (time)	100min x 14 classes
	事後学習の内容 /Review	reviewing texts, revising assignments
	事後学習時間 /Review (time)	100min X 14 classes
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	Attendance is crucial. Any absence without advance notice will result in severe penalties. Effort towards timely completion of the assignments is also essential. Details are subject to change according to class size.	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	final exam (10%)
	レポート (%) /Final paper	Final paper (40%)

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>quizzes (10%)</p>
	<p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>In-class work(10%)</p>
	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>Class contribution (20%)</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>presentations (10%)</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	Feedback will be given for assignments and quizzes.
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	英文－1.2.3
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	英語文化コミュニケーション副専攻（英語学・英語教育学分野）

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	The writing process: Revising, editing, and dictionary use	
2	The literature review (1): Organization	
3	The literature review (2): Citations	
4	The literature review (3): Sentence structure & grammar	
5	The methodology	
6	Reporting results: language use	
7	Reporting results: sentence structure & grammar	
8	Reporting results: Incorporating graphs & figures	
9	Discussion of the results	
10	Introduction, conclusion and limitations	
11	Editing 1	
12	Peer Editing	
13	Presentations of thesis research 1	

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
14	Presentations of thesis research 2	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年メディア・コミュニケーション演習2 - 1 / Senior Seminar: Media and Communication 2-1
コード / Registration Code	MD75-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD75
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	濱口 壽子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	hamaguci@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/21
副題 / Subtitle	Discourse in Social Contexts
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	Students will be able to competently apply discourse analytic approaches to language in various institutional, media, and everyday contexts and present their findings in class and in their research paper.
授業概要 / Course description	Through studying practical applications of discourse analysis to real-life situations, this course aims at understanding how language plays a crucial role in various aspects of society. We will focus particularly on language and law, but subjects may change according to students' interests. Students will be expected to present the key concepts we deal with both in class and in their research paper, and conduct their own data analysis using the methodologies discussed in class. It is also expected that they share and discuss their research progress in and outside of class using online collaboration tools and discussion boards (e.g. Google Slides/Docs, Google Classroom).

	Course listing on the curriculum map: 英文-2	
テキスト・参考文献 /Textbooks	【テキスト】 A reading packet will be distributed via Google Classroom. 【参考文献】 Will be introduced in class.	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Collaborative document editing using Google tools and Wivia (wireless projection tool)
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	Students are expected to read all the assigned materials and prepare for class discussions and presentations prior to class.
	事前学習時間 /Preparation (time)	100 minutes
	事後学習の内容 /Review	Students are expected to review the terms and concepts they have learned in class as well as their own work, and enhance their understanding by researching further studies and related news stories.
	事後学習時間 /Review (time)	100 minutes
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	In addition to thorough preparation for and review of the class materials, students are expected to actively participate in class discussions. Regular attendance is strictly required.	
評価方法 /Evaluation		

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	30%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% (class participation&performance, presentations)
	その他 (%) /Other	20% (periodical progress report on their research paper/project)
学生へのフィードバック /Feedback	Feedback on assignments will be given in class and/or Google Classroom.	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	英文 - 1.2.3	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	英語文化コミュニケーション副専攻（メディアと社会分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Introduction to discourse analysis	
2	Methodology and data collection	
3	Analysis and implications	
4	Sample analysis: Discourse of law	
5	Students research presentation (1)	
6	Students research presentation (2)	
7	Discussion: Implications for further research	
8	Forensic linguistics and its application to everyday life	
9	Understanding participants in legal context: Professional and lay people	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
10	Debate: Professional and lay people in jury trials	
11	Discussion on guilty verdict: Is it reasonable or unreasonable?	
12	Students research presentation (Groups 1 and 2)	
13	Students research presentation (Groups 3 and 4)	
14	Wrap-up discussion and final paper	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年メディア・コミュニケーション演習2 - 2 / Senior Seminar: Media and Communication 2-2
コード / Registration Code	MD76-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD76
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	濱口 壽子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	hamaguci@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/21
副題 / Subtitle	Discourse in Social Contexts
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	Students will be able to apply discourse analytic approaches to language used in institutional, media, and everyday contexts. By the end of the course, they will also be prepared to logically and critically analyze the topics of their interests and present them in their research paper.
授業概要 / Course description	We will continue studying practical applications of discourse analysis to real-life situations in order to understand how language plays a crucial role in society. Students will be expected to present their findings along with key concepts we deal with in class in their presentations and papers. It is also expected that they share and discuss their research progress in class using online collaboration tools and discussion boards (e.g. Google Slides/Docs, Google Classroom). Course listing on the curriculum map: 英文-2

<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>【テキスト】 A reading packet will be given via Google Classroom. 【参考文献】 Will be introduced in class.</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	<p>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion&comma;Debate)、グループワーク(Groupwork)</p>
	<p>その他 /Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	<p>実施する(Yes)</p>
	<p>内容 /Content</p>	<p>Collaborative document and slide editing using Google tools and Wivia (wireless projection tool).</p>
<p>授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	<p>Students are expected to read all the assigned materials and prepare for class discussions and debates prior to class.</p>
	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	<p>100 minutes</p>
	<p>事後学習の内容 /Review</p>	<p>Students should review and try to apply the key concepts and vocabulary they have learned in class to their research.</p>
	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	<p>100 minutes</p>
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>On top of thorough preparation for and review of the class materials, students are expected to actively participate in class discussions. As class discussion is a crucial part of this course, students should prepare to competently talk in class and exchange their ideas with others. Regular attendance is strictly required.</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		
<p>評価方法 /Evaluation</p>	<p>試験 (%) /Exam</p>	<p>0%</p>

	レポート (%) /Final paper	30%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% (class participation&performance, presentations)
	その他 (%) /Other	20% (periodical progress report on their research paper/project)
学生へのフィードバック /Feedback	Feedback on assignments will be given in class and/or on Google Classroom.	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文－1.2.3	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻（メディアと社会分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	What is discourse?: Review	
2	Understanding institutional discourse	
3	The discourse of medicine: Language of authority	
4	The discourse of medicine: Pragmatics and spoken interaction	
5	Doctor-patient communication: Pediatrics to Geriatrics	
6	Discussion: Medical interaction	
7	The discourse of education: Teachers' talk	
8	The discourse of education: Students' talk	
9	Discourse of ESL classroom	
10	Mediated discourse: Media's representations of our life	
11	Discussion: Why do we study discourse, society and the media?	
12	Student research presentation (Groups 1 and 2)	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	Student research presentation (Groups 3 and 4)	
14	Wrap-up discussion on social implications of language use and final paper	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年メディア・コミュニケーション演習3 - 1 / Senior Seminar: Media and Communication 3-1
コード / Registration Code	MD77-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD77
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	金 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	MAYSE M.
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	mayse@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/25
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the completion of the course, students will be able to: (1) Create outlines for their theses. (2) Write literature reviews of their selected topics. (3) Design surveys/experiments/research projects. (4) Collect data for their surveys/experiments/research projects.
授業概要 / Course description	This course is designed for students who will write their thesis on various topics from the area of media, technology, digital communication, innovation, and entrepreneurship. We will read a number of articles related to topics that students have selected. All students are required to critically review the articles and actively participate in class discussions. Throughout the course, students will be instructed on how to create outlines, write effective literature reviews, and collect data for academic papers. Course listing on the curriculum map: 英文-2

<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>Materials will be introduced in class and in our Google Classroom</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	<p>プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート(Discussion&comma;Debate)、グループワーク(Groupwork)</p>
	<p>その他 /Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	<p>実施しない(No)</p>
	<p>内容 /Content</p>	
<p>授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	<p>read and write reviews of articles, prepare for in-class activities</p>
	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	<p>150 minutes x 14 weeks</p>
	<p>事後学習の内容 /Review</p>	<p>write and revise thesis drafts</p>
	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	<p>150 minutes x 14 weeks</p>
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>Attendance is crucial. Students must meet the deadlines of thesis drafts and follow the schedule that will be explained in the first class. Seminars will be conducted in person, but individual tutoring and interviews will also be conducted face-to-face, and or online. All the class materials will be shared through Google Classroom.</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		
<p>評価方法 /Evaluation</p>	<p>試験 (%) /Exam</p>	<p>0%</p>
	<p>レポート (%) /Final paper</p>	<p>30%</p>

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>平常点 (%) /Participation</p> <p>その他 (%) /Other</p>	<p>0%</p> <p>0%</p> <p>25% (asking questions in class)</p> <p>20% (weekly assignments) 25% (presentations)</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	feedback of assignments will be done in class and in our Google Classroom	
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）</p>	
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	英文 - 1.2.3	
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	英語文化コミュニケーション副専攻（メディアと社会分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
1	Introduction	
2	Creating outlines	
3	Learning how to take effective notes 1	
4	Learning how to take effective notes 2	
5	Learning how to find good sources	
6	Learning how to find more good sources	
7	Using dictionaries and thesauruses	
8	Writing a literature review	
9	Writing a short literature review	
10	Designing surveys/experiments/research projects	
11	Designing surveys/experiments/research projects	
12	Revising drafts and checking citations	
13	Chapter 1 and 2	

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
14	Discussion and course reflections	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	4年メディア・コミュニケーション演習3-2 / Senior Seminar: Media and Communication 3-2
コード / Registration Code	MD78-01
ナンバリングコード / Numbering Code	411MD78
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 英語文化コミュニケーション学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	金 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	MAYSE M.
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	mayse@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：英文-2 / 2023年度以降入学者：英文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/25
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	By the completion of the course, students will be able to: (1) Successfully collect data (2) Analyze collected data (3) Describe and discuss their research/survey/experiment findings (4) Summarize and present their thesis
授業概要 / Course description	This course is a continuation of 4年メディア・コミュニケーション演習3-1. Throughout the course, students will be introduced to the techniques for analyzing data and detailing their findings in an academic paper. All students are encouraged to critically evaluate the findings presented by others and are required to actively participate in class discussions. Course listing on the curriculum map: 英文-2
テキスト・参考文献 / Textbooks	Class content will be distributed in class and in our Google Classroom.

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time	単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	Prepare for in-class activities and presentations
	事前学習時間 ／Preparation (time)	150 minutes x 14 weeks
	事後学習の内容 ／Review	Write and revise thesis drafts
	事後学習時間 ／Review (time)	150 minutes x 14 weeks
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	Attendance is crucial. Students must meet the deadlines of thesis drafts and follow the schedule that will be explained in the first class. Seminars will be conducted in person, but individual tutoring and interviews will also be conducted face-to-face, and or online. All the class materials will be shared through Google Classroom.	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	30%

	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	25% (asking questions in class)
	その他 (%) /Other	20% (weekly assignments) 25% (presentations)
学生へのフィードバック /Feedback	feedback of assignments will be done in class and in our Google Classroom	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし（自動登録科目）/自動登録科目（英語英文学科及び英語文化コミュニケーション学科の4年次生と英語文化コミュニケーション学科の副専攻生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	英文-1.2.3	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	英語文化コミュニケーション副専攻（メディアと社会分野）	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Introduction	
2	Creating tables and figures	
3	Analyzing your data	
4	Writing Introduction	
5	Chapter summaries	
6	Discussion/Findings	
7	Writing Conclusion	
8	Revising drafts	
9	Editing and proofreading	
10	Final presentation practice	
11	Final presentation round table 1	
12	Final presentation round table 2	
13	Peer review	
14	Poster presentations and reflections	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	日本語学研究 1 / Study of Japanese Linguistics 1
コード / Registration Code	CD58-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300CD58
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	清水 由貴子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yushimizu@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-2 / 2023年度以降入学者：日文-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/18
副題 / Subtitle	日本語の類義表現の分析
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	日本語学の研究手法（アンケート、コーパスなど）の基礎を身につけながら、身近な日本語の表現の違いについて考え、（日本語を母語にしない人にも）わかりやすく発表できるようになる。例えば「準備」「用意」、「きれい」「美しい」、「触れる」「触る」等は辞書を見れば意味は分かるものの、どのように使い分けるかは説明しにくい。しかし、多くの実例を観察すると、各語の使い方の特徴が見えてくる。この授業では、多くの実例を見るために、コーパス（電子化された大規模な言語データ）を使う。コーパスの種類や利用の際のメリット/デメリットといった知識を学ぶとともに、コーパス検索や結果分析の技術を身につけることを目指す。
授業概要 / Course description	2つ（またはそれ以上）の類義表現の使い分けについて、仮説を立て検討し、例文を挙げながら説明する。その際、根拠となるデータは、アンケートで収集したり、コーパスから実例を収集したりする。データの整理・処理はExcelを使って行う。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 その都度、資料を配信する 【参考文献】 中俣尚己『「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門』（ひつ

	じ書房)、赤瀬川史朗他『日本語コーパス活用入門: NINJAL-LWP実践ガイド』(大修館書店)	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time	単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	事前に配布された資料に目を通し、次回授業の概要を掴んでおく。発表の準備は、入念に行う。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 /Review	コーパス検索やExcel等のコンピュータの操作の復習。理解の定着のため、ミニ宿題に取り組む。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	<p>1) 初回の授業に必ず参加すること。毎回、新しい内容に進み、検索の練習をしていくため、欠席をすると授業について行くのが大変になる。安易に欠席をしないよう気を付けること。</p> <p>2) 「日本語学概説1」と「日本語学概説2」で扱った知識を使うので、「履修済み」あるいは「履修中」であることが望ましい。</p> <p>3) PC教室を使用するが、自分のノートパソコンを持ってくることを推奨する(スマホやタブレットでは作業ができない)。</p> <p>4) 受講者の人数や理解度によって、発表を前半・後半に分けずに1回で終わらせたり、検索練習の時間を多くとったりするなど、調整することがある。</p>	
評価方法 /Evaluation		

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	50
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	(授業への積極的な参加) 20
	その他 (%) /Other	(発表・質疑) 30
学生へのフィードバック /Feedback	研究発表・ディスカッションの後、講評を行う。授業内の課題は、検索過程を実演しながら確認していく。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	日文-1,2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	日本語日本文学副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	授業の進め方ガイダンス	
2	内省を使った類義表現研究	
3	アンケートを使った類義表現研究	
4	類義表現研究の発表(1回目)前半	
5	類義表現研究の発表(1回目)後半	
6	コーパスを使った類義表現研究① BCCWJとは? 検索ツールの特徴	
7	コーパスを使った類義表現研究② 検索の練習(基本)	
8	コーパスを使った類義表現研究③ 検索の練習(応用)	
9	コーパスを使った類義表現研究④ 検索結果の見方・まとめ方	
10	類義表現研究の発表(2回目)前半	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
11	類義表現研究の発表（2回目）後半	
12	コーパスを使った類義表現研究⑥ コロケーションとは？	
13	コーパスを使った類義表現研究⑦ NLBを使ったコロケーションの抽出方法	
14	全体のまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	博物館情報・メディア論 / Introduction to Information and Media Studies for Museum
コード / Registration Code	DJ26-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300DJ26
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 史学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	金 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#オンライン(オンデマンド型)
担当者 / Instructor	辻 泰明
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	y.tsuji@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	博物館関連科目

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/31
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	デジタル化の進展と動画配信の発達によって、博物館情報メディアを取り巻く環境は大きく変貌し、今後、さらに発展すると予想される。博物館、文書館、図書館など情報資源を扱う機関のウェブ上での連携においても、映像に関するリテラシーは不可欠であると考えられる。情報メディアの中核となりつつある映像コンテンツと映像アーカイブについて、その特性と活用、情報記述、諸権利、リサーチの技術を理解し、今後の展望と課題を考察することによって、博物館と情報メディアに関する基礎的能力を身に付け、用語や概念について記述できる。
授業概要 / Course description	この講義は、オンライン（オンデマンド型）形式でおこないます。授業の教材は、毎回、授業開始時までにアップロードします。各回の教材を閲覧し、教科書に基づいて理解度を確かめながら受講してください。 本講義は史学科カリキュラムマップでは「博物館関連科目（他学科の学生も資格取得可）」に位置づけられています。

テキスト・参考文献 /Textbooks	[テキスト] 『映像アーカイブ論』 大学教育出版ISBN : 978-4-86692-098-6	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	ICTを活用して、小テストを課し、それに対するフィードバックを行う。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	テキストの該当部分を熟読し、授業内容を把握する。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	関連文献やメディアを参照し、理解を深める。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted		
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	40

	小テスト (%) /Quizzes	40
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	授業についての発言、質問等 20
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	毎回、小テストを課すと共に、メールにて質問に回答する。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	史学-3	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	博物館情報メディアの現状—インターネットがもたらしたもの	
2	「メディアとしての博物館」と映像情報の重要性	
3	博物館における情報活用と映像リテラシー	
4	博物館、文書館、図書館と映像アーカイブ	
5	映像メディアの転換と映像アーカイブの拡大	
6	映像アーカイブの類別と典型	
7	情報資源を扱う機関における資料の存在形態と閲覧形態	
8	資料の二次的機能と「発掘」映像の価値	
9	映像資料の利用とコンテンツの再生産	
10	情報資源と映像資料の情報記述	
11	情報資源と映像資料に関わる諸権利	
12	映像リサーチャーの機能	
13	インターネットと映像アーカイブの進化と課題	
14	まとめと振り返り 情報資源を扱う機関の意義と公共性	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会統計学 / Social Statistics
コード / Registration Code	EH30-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200EH30
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	前田 一步
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	kmaeda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-3 / 2023年度以降入学者：人関-3

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	社会現象を客観的にとらえ、分析するための基礎技能
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	社会統計学の基本的知識を習得する。社会現象を統計学的に解析することの意義を知るとともに、基礎統計、推測統計、および、クロス集計、平均値の比較、相関係数の意味を理解し、自ら利用できる技術を身につける。尚、本講はカリキュラムマップでは人関-3に位置付けられている。
授業概要 / Course description	本講義は対面形式で行われる。社会学や社会心理学領域において実証的研究を進めるための基礎が社会統計学である。講義では実際の調査や実験データなどを用い、社会現象、心理現象を数量化し検討することの有効性や面白さを体験的に学んでゆく。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特に指定しません。 【参考文献】 授業内で適宜紹介します。
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	活用される授業手法 / Teaching Methods

／Use of Active Learning Methods		
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	資料を確認・一読していただきたい
	事前学習時間 ／Preparation (time)	40分×14回
	事後学習の内容 ／Review	授業内容の理解度を自主的に確認するための練習問題(確認小テスト)に解答し、Sophieにアップロードする
	事後学習時間 ／Review (time)	160分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	* 社会統計学は授業への集中が肝要です。授業内でも質問や課題を投げかけますので、各自がそれぞれ回答することを求めています。 * 授業内で使用しますので、電卓(スマホでも可)を用意してください。 * 上記の授業計画は、授業の進捗・状況によって変更がありえます。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	80%
	レポート (%) ／Final paper	0%
	小テスト (%) ／Quizzes	提出状況に関して20%
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	0%

	<p style="text-align: center;">平常点 (%) /Participation</p> <p style="text-align: center;">0%</p>
	<p style="text-align: center;">その他 (%) /Other</p> <p style="text-align: center;">0%</p>
<p style="text-align: center;">学生へのフィードバック /Feedback</p>	授業の冒頭で前回の振り返りと確認小テストの解説を行う
<p style="text-align: center;">特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	抽選なし
<p style="text-align: center;">ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	人関-1, 2
<p style="text-align: center;">副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	人間関係副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション： 社会現象、心理現象を統計的に分析することの意義	
2	質的変数と量的変数： 質的変数（名義尺度、順序尺度）と量的変数（間隔尺度、比率尺度）の特徴と統計解析法との関連	
3	基礎統計1： サンプル数と百分率（%）の意味、代表値（平均値、モード、メディアン）の特徴と算出方法	
4	基礎統計2： 正規分布と分散の考え方、偏差値の計算法とその意味	
5	推計学の基礎1： 母集団とサンプル集団、無作為サンプリング	
6	推計学の基礎2： 点推定と区間推定、信頼区間とサンプル数	
7	推計学の基礎3： 統計的検定の考え方、帰無仮説と有意水準、検定の過誤	
8	クロス集計とカイ二乗検定1： クロス集計の方法と意義、クロス集計法の実習	
9	クロス集計とカイ二乗検定2： カイ二乗検定の方法	
10	クロス集計とカイ二乗検定3： クロス集計表の読み方と分析の実習	
11	平均値の差の検定： t 検定の方法と使用例、分散分析の方法とその読み方	
12	相関係数と偏相関： 相関係数の意味とその算出法、相関関係と因果関係、変数のコントロールと偏相関	
13	多変量解析に向けて： 因子分析・重回帰分析の考え方、現象を規定する複数の要因とその相互関連の分析	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
14	全体のまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	データ分析の基礎 A / Basic of Data Analysis
コード / Registration Code	EH31-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300EH31
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-4 / 2023年度以降入学者：人関-4

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/17		
副題 / Subtitle			
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	質問紙調査や心理学実験などで収集されたデータを、どのように整理し分析するかについて、その方法を習得する。最終的には、基礎的な統計資料の整理とデータ分析を、受講生が一人でこなせるようになることを目標とする。		
授業概要 / Course description	PCを使った実習が中心となり、必要に応じて統計的な知識に関する講義を行う。教員の用意するデモデータを使い、受講生自身にデータの整理や分析を実体験してもらう。Google classroomを用いて課題の提出を求めることが複数回ある。本講義は人間関係学科カリキュラムマップでは「人関-4」に位置づけられている。		
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 【参考文献】 参考文献は、授業内で適宜、紹介する。		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table border="1"> <tr> <td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td> <td>グループワーク(Groupwork)</td> </tr> </table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	グループワーク(Groupwork)
活用される授業手法 / Teaching Methods	グループワーク(Groupwork)		

／Use of Active Learning Methods		
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Google Classroomを用いて課題の提出や資料の配布を行う。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業実施前に資料を配付するので、資料を確認しておくこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	各回で学んだ内容を他者に説明できるようになるまで復習すること。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	「社会統計学」を履修済であることが望ましい。授業環境の問題から、履修希望者多数の場合には受講制限を実施する可能性がある。社会心理学系のゼミで卒論執筆を予定している3年生には次の時間の「多変量解析法」を共に履修することを強く推奨する。windowsのPCを持参することが望ましい。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	データ分析実技60%
	レポート (%) ／Final paper	0%
	小テスト (%) ／Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	0%

	平常点 (%) /Participation	課題の提出状況等40%
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	課題の解説を行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション（使用する統計ソフトに関する説明、授業目的の説明、等）	薊理津子
2	調査データの整理方法1) データの入力、データチェック	薊理津子
3	調査データの整理方法2) 図や表の作成：変数の種類別によるまとめ方の違いについて	薊理津子
4	調査データの整理方法3) 基本統計量の算出：代表値および散布度について	薊理津子
5	2変数間の関係に関する分析1) クロス集計とカイ2乗検定	薊理津子
6	2変数間の関係に関する分析2) 相関係数の算出と無相関検定	薊理津子
7	2変数間の関係に関する分析3) 第3の変数の影響について	薊理津子
8	統計資料から文章表現へ	薊理津子
9	群間の平均値差について（t検定と分散分析）	薊理津子
10	因果関係の探究について	薊理津子
11	自由記述の分析について（コード化とカテゴリー化）	薊理津子
12	質的データの読み方とまとめ方	薊理津子
13	研究の目的とデータ分析との対応	薊理津子
14	テストとフィードバック	薊理津子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	データ分析の基礎 B / Basic of Data Analysis
コード / Registration Code	EH31-02
ナンバリングコード / Numbering Code	300EH31
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	前田 一步
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	kmaeda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-4 / 2023年度以降入学者：人関-4

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/02/01
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	社会調査データや官庁統計に基づいた資料の読み方と基本的なデータの分析方法を習得する。
授業概要 / Course description	社会調査データや官庁統計及び質的データに基づいた資料の読み方とデータの基本的な分析方法・まとめ方を習得することを目指す。具体的には、データの整理の方法、度数分布・代表値などの記述統計、クロス集計およびグラフの読み方などを身につける。また、相関係数など基礎的統計概念、因果関係と相関関係の区別、生態学的誤謬、疑似相関の概念なども学ぶ。なお、授業時間外に取り組む複数の課題を課すので、その提出を求める。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特定のテキストは使用しない。別途、授業資料を配布する。 【参考文献】

	津島昌寛・田邊浩・山口洋編（2014）『数学嫌いのための社会統計学 [第2版]』法律文化社.	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)、その他 (Other)
	その他 /Other	授業で扱う統計手法について、サンプルデータを用いた手計算を行うことで理解する
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time		
単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	各回の授業内容に関して、参考書等で予習すること。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	授業内容の復習を兼ねた、データの整理や統計分析の計算などに関する課題に取り組む。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	電卓を用いた計算、およびExcelを用いたPC実習を行うこともあるので、積極的な参加と毎回の講義内容の復習を推奨する。資格認定科目のため、一定水準の成績到達が単位認定の必須条件となるので、留意されたい。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	60% (配点20点の小レポートを3度課す)
	小テスト (%) /Quizzes	0%

	<table border="1"> <tr> <td>リアクションペーパー (%) /Response sheet</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>平常点 (%) /Participation</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他 (%) /Other</td> <td>0%</td> </tr> </table>	リアクションペーパー (%) /Response sheet	40%	平常点 (%) /Participation	0%	その他 (%) /Other	0%
リアクションペーパー (%) /Response sheet	40%						
平常点 (%) /Participation	0%						
その他 (%) /Other	0%						
学生へのフィードバック /Feedback	フィードバックは講義冒頭に前回の復習と合わせて実施する。						
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし						
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関 - 1, 2						
副専攻 /Minor 教務課入力欄							

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	イントロダクション、質的データと量的データ	
2	質的データの整理	
3	集計済み統計資料の整理、グラフの種類	
4	質問紙調査データの入力と整理	
5	度数分布、ヒストグラム、クロス集計の読み方と図表表現	
6	代表値（平均値・最頻値・中央値）や分散・不偏分散、標準偏差の求め方	
7	変数の測定水準（名義・順序・間隔・比例）と分析手法の関係	
8	相関関係と因果関係の違い、独立変数と従属変数	
9	仮説と因果モデル、生態学的誤謬と疑似相関	
10	クロス表による2変数の集計の仕方と読み方	
11	クロス表によるエラボレーションと関連係数	
12	統計的検定の基本的な考え方、クロス表におけるカイ2乗検定	
13	散布図の作成、散布図と相関関係、共分散と相関係数の求め方	
14	全体のまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	多変量解析法 / Multivariate Analysis Technique
コード / Registration Code	EH32-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300EH32
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-4 / 2023年度以降入学者：人関-4

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	質問紙調査や心理学実験で収集したデータを、多変量解析の手法を用いて分析する手順を理解することを目指す。最終的には、調査の目的や分析の目的に見合う分析方法を、受講生が確実に選択できるようになることを目標とする。
授業概要 / Course description	教員の用意するデモデータを使い、受講生自身に多変量解析を実施してもらう。また、解析に関する講義も実習と並行して行う。授業の性質上「データ分析の基礎A」を併せて受講することが望ましい。Google classroomを用いて課題の提出を求めることが複数回ある。本講義は人間関係学科カリキュラムマップでは「人関-4」に位置づけられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 【参考文献】 参考文献は、授業内で適宜、紹介する。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	グループワーク(Groupwork)
	その他 /Other	
I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Google Classroomを用いて課題の提出や資料の配布を行う。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	授業実施前に資料を配付するので、資料を確認しておくこと。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	各回で学んだ内容を他者に説明できるようになるまで復習すること。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	「社会統計学」を履修済であることが望ましい。授業環境の問題から、履修希望者多数の場合には受講制限を実施する可能性がある。社会心理学系のゼミで卒論執筆を予定している3年生には「データ分析の基礎A」を共に履修することを強く推奨する。windowsのPCを持参することが望ましい。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	データ分析実技60%
	レポート (%) /Final paper	0%
	小テスト (%) /Quizzes	0%

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	課題の提出状況等40%
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	課題の解説を行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関 - 1, 2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
1	オリエンテーション（使用する統計ソフトに関する説明、授業目的の説明、等）	薊理津子
2	多変量解析とは何か	薊理津子
3	分散分析1) 平均値と分散	薊理津子
4	分散分析2) 分散分析モデル	薊理津子
5	分散分析3) 分散分析のさまざまなパターン	薊理津子
6	重回帰分析1) 相関と回帰について、重回帰分析の概説	薊理津子
7	重回帰分析2) ダミー変数について	薊理津子
8	重回帰分析3) 多重共線性について	薊理津子
9	因子分析1) 因子分析の考え方	薊理津子
10	因子分析2) 因子分析の実際	薊理津子
11	因子分析3) 探索的因子分析と確認的因子分析	薊理津子
12	共分散構造分析	薊理津子
13	その他の多変量解析	薊理津子
14	テストとフィードバック	薊理津子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学特講 2 / Study of Social Psychology 2
コード / Registration Code	EB02-01
ナンバリングコード / Numbering Code	330EB02
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-2 / 2023年度以降入学者：人関-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20		
副題 / Subtitle	統計的検定の読み取りと解釈		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	統計的検定の出力結果を読み取り、考察を導けるようになる。		
授業概要 / Course description	具体的な研究を題材に、毎週、1つの分析方法について、操作手順、出力結果の読み取り方を学ぶ。その後、実際のデータを分析した出力結果の読み取り、解釈と考察をグループディスカッションで行い、最後にプレゼンテーションを行う。本講義は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-4」に位置づけられる。		
テキスト・参考文献 / Textbooks	小宮 あすか・布井 雅人（著）Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 講談社		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table><tr><td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td><td>プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート</td></tr></table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート
活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート		

／Use of Active Learning Methods		(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroom,HADを用いてデータサイエンスを双方向で学ぶ
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	当該の分析手順について予習しておくこと
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	出力結果の読み解きと考察のプロセスを復習し、異なるデータでも同様の処理ができるようにしておくこと
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	「社会調査実習1」「社会心理学論文演習」の受講生は必ず本講義を受講すること。「社会調査実習2」の受講生には、本講義の受講を推奨する。授業は対面で行うが、授業中にClassroom経由で資料配信や課題提出を行うため、各自がノートPCかタブレットを持参して受講することを前提とする。スマートフォンでの受講は不可能ではないが、多くの資料を一覧するには適していないために、推奨しない。事情がある場合は事前に相談すること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	70
	レポート (%) ／Final paper	0
	小テスト (%) ／Quizzes	0

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	30 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業終了時に、各グループの解釈に対する講評と解説を行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関 - 1, 2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	人間関係副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
1	ガイダンス、変数の復習	
2	因子分析	
3	質×量（1）対応のないt検定	
4	質×量（2）対応のあるt検定	
5	質×量（3）一元配置分散分析	
6	質×量（4）二元配置分散分析	
7	質×量（5）二元配置分散分析	
8	量×量（1）相関	
9	量×量（2）重回帰分析	
10	量×量（3）パス解析	
11	量による分類：クラスタ分析	
12	質×質： χ^2 検定	
13	複数の分析を組み合わせて考察する	
14	試験と振り返り	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会調査の技法 / Method of Social Research
コード / Registration Code	EH24-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200EH24
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 5
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 藤本 隆史
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp, t.fujimoto@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 人関-3 / 2023年度以降入学者: 人関-3

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20
副題 / Subtitle	より良いアンケート調査をめざして
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	社会調査の論理を理解し、データ収集や分析の方法など調査のプロセスに関する基本を身につけ、調査を実施できるようになる。
授業概要 / Course description	社会調査の論理と、調査の企画・設計からデータの収集・分析、そして分析結果の整理に至る社会調査のプロセスの各段階での基礎的事項の習得を目指す。主に調査票（質問紙）による量的調査（アンケート調査）を中心とするが、質的調査の方法にも触れる。データの集計および分析の方法については、統計ソフトの使い方も紹介する。 なお、本講義は人間関係学科カリキュラムマップでは「人関-3」に位置付けられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 大谷・木下・後藤・小松編著2023『最新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房。 その他、適宜指定する。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。Excelで統計的な分析を行う。
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	「社会統計学」の内容を復習しておくこと
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	各回の課題を復習しておくこと
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	実際に自分が調査するとしたら、どのようなことを調べたいかを考えながら受講してもらいたい。そのことを想定した課題にも取り組んでもらう。その他にも、授業内容に関する複数の課題を課す。 講義の後半に、Excelを操作しながらデータの集計・分析を行う。原則として、ExcelがインストールされたPCを各自が持参すること。 副専攻生(心理以外)は「社会調査入門」を修得済みであること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験(%) ／Exam	40
	レポート(%) ／Final paper	25

	小テスト (%) /Quizzes	25
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	5
	平常点 (%) /Participation	5 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	毎週のリアクションペーパーを確認し、翌週フィードバックを行う	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選/排除：EH22「社会調査の技法1」EH23「社会調査の技法2」；前提（修得）：「社会調査入門」（人関・心理以外の学科生）	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関－1，2	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	人間関係副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス、社会調査の概要、社会調査の種類	小城・藤本
2	調査の企画と設計：先行研究のレビュー、調査の目的の明確化	小城・藤本
3	仮説の設定：仮説と理論、因果関係、仮説と分析の方針	小城・藤本
4	調査対象の設定：母集団とサンプリング、質的調査の対象者	小城・藤本
5	調査方法の選定（1）：インタビュー調査、観察調査、内容分析	小城・藤本
6	調査方法の選定（2）：質問紙調査①質問紙調査の特徴	小城・藤本
7	調査方法の選定（3）：質問紙調査②質問項目の作り方	小城・藤本
8	調査方法の選定（4）：質問紙調査③質問紙作成	小城・藤本
9	調査方法の選定（5）：質問紙調査④データのクリーニングと入力	小城・藤本
10	調査データの分析（1）：記述統計とクロス集計	小城・藤本
11	調査データの分析（2）：質問項目の種類と平均値の比較	小城・藤本
12	調査データの分析（3）：質問項目の種類と相関と回帰分析	小城・藤本
13	質問項目の検証と論文の書き方	小城・藤本
14	全体のまとめと振り返り	小城・藤本

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会調査実習 1 (1) / Practice of social research 1(1)
コード / Registration Code	EH04-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH04
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 菅原 健介, 薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp , sugawara@u-sacred-heart.ac.jp , r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者 : 人関-5 / 2023年度以降入学者 : 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20
副題 / Subtitle	社会心理学における調査の実践
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	調査の実践を通じて社会調査の手法を体得し、応用できるようになる。
授業概要 / Course description	<p>テーマの選定、先行研究・文献の収集と整理、仮説の設定、方法論検討、質問紙作成、データ収集、統計的検定を用いたデータの解析と解釈、報告書作成、プレゼンテーションまで、研究の流れをグループワークで一通り実践することによって、研究の組み立て方や調査・分析スキル、社会調査に求められる倫理観などを身につける。授業担当者はスケジュール管理、学術指導を行うが、テーマの選定、文献の収集、仮説の設定、調査実施、データ分析、報告書作成などのすべてにおいて、学生主体で行われるプロジェクト型学習である。</p> <p>プレゼンテーションはpowerpoint、統計的分析はHAD（またはSPSS）を用いる。また、大規模なデジタルデータを扱うため、オンラインネットワークでデータの管理や編集、スケジュール管理等を行い、進捗状況に応じてネットワーク上でも双方</p>

	<p>向で指導を進める。 本実習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関－5」に位置づけられる。</p>	
<p>テキスト・参考文献 ／Textbooks</p>	<p>松井豊（著）心理学論文の書き方 河出書房新社 小宮 あすか・布井 雅人（著）Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 講談社</p>	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 ／Teaching Methods</p>	<p>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート (Discussion&comma;Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum&comma;FieldWork)</p>
	<p>その他 ／Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 ／Does this apply to your course?</p>	<p>実施する(Yes)</p>
	<p>内容 ／Content</p>	<p>Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。</p>
<p>授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 ／Preparation</p>	<p>グループ内で作業手順を確認しておくこと</p>
	<p>事前学習時間 ／Preparation (time)</p>	<p>150 分×14 回</p>
	<p>事後学習の内容 ／Review</p>	<p>次週までの課題を確認し、各自の分担作業を遂行するとともに、グループ内でも進捗状況を共有しておくこと。</p>
	<p>事後学習時間 ／Review (time)</p>	<p>150 分×14 回</p>
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted</p>	<p>グループワークでの実習のため、全出席を前提とする。「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」「社会心理学論文演習(2)」を必ず合わせて受講すること。また、授業時間以外での作業が多い。特に、水曜日の授業後は各班の作業時間のため原則空けておくこと。 「社会調査の技法」「社会統計学」「社会心理学特講2」「データ分析の基礎A」「多変量解析法」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」「社会心理学論文演習(2)」、ならびに「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を前年度までに履修済みか、あるいは本年度に履修中であることを受講条件とする。 各自がノートPCを持参して受講することを推奨する。PCが用意できない場合は</p>	

	事前に相談すること。 また、本授業と合わせて受講する「社会調査実習1(2)」では、10月の聖心祭での研究発表、1月の実習報告会の参加も授業に含める。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	40 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	60 研究成果、報告書の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	授業終了後、希望者にはレポート並びに試験の講評を行う	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス、グループ分け、テーマの選定	小城・菅原・薊
2	先行研究の整理(1) 論文、書籍、新聞・雑誌記事の検索と収集	小城・菅原・薊
3	先行研究の整理(2) 先行研究のレビューとまとめ	小城・菅原・薊
4	予備調査の実施; インタビュー、内容分析など	小城・菅原・薊
5	プレゼンテーション1; 先行研究のレビュー、本研究の目的、仮説の設定	小城・菅原・薊
6	仮説の再検討(1)	小城・菅原・薊

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
7	仮説の再検討（2）	小城・菅原・薊
8	質問紙作成（1）当該テーマの行動実態検討	小城・菅原・薊
9	質問紙作成（2）関連する心理変数の検討（既存の尺度の研究、独自尺度の作成）	小城・菅原・薊
10	質問紙作成（3）フェイス項目の検討（性別、年代、職業、居住形態など）	小城・菅原・薊
11	質問紙作成（4）質問紙全体の検討（文言、構成、レイアウトのチェック）	小城・菅原・薊
12	プレゼンテーション2；本研究の目的と仮説、質問紙	小城・菅原・薊
13	質疑応答を受けて質問紙の修正	小城・菅原・薊
14	データ収集（1）オフ会、コミケ、ファン・ミーティング等のイベント、デパートやショッピングセンター、カフェ、カルチャーセンターなどに調査協力依頼	小城・菅原・薊

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会調査実習 1 (2) / Practice of social research 2(1)
コード / Registration Code	EH05-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH05
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 菅原 健介, 薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp, sugawara@u-sacred-heart.ac.jp, r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 人関-5 / 2023年度以降入学者: 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20
副題 / Subtitle	社会心理学文献の読解と論文の執筆
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	特に心理学系の論文執筆を学ぶことを主眼に置いた授業である。先行研究の整理の仕方、論文の構成、学術表現、論理の立て方、結果の記述の仕方をグループワークで修得し、4年生の卒業論文に応用できるようになる。
授業概要 / Course description	それぞれの研究テーマに合わせて論文を執筆する。なお、この授業は「社会調査実習 1 (2)」と連続で受講することを必須とする。 本実習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-5」に位置づけられる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社 小宮 あすか・布井 雅人 (著) Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 講談社

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time		
単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	グループ内で作業手順を確認しておくこと
	事前学習時間 ／Preparation (time)	150分×14回
	事後学習の内容 ／Review	次週までの課題を確認し、各自の分担作業を遂行するとともに、グループ内でも進捗状況を共有しておくこと。
	事後学習時間 ／Review (time)	150分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	グループワークでの実習のため、全出席を前提とする。「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」を必ず合わせて受講すること。また、授業時間以外での作業が多い。特に、水曜日の授業後は各班の作業時間のため原則空けておくこと。 「社会調査の技法」「社会統計学」「社会心理学特講2」「データ分析の基礎A」「多変量解析法」「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」、ならびに「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を前年度までに履修済みか、あるいは本年度に履修中であることを受講条件とする。 各自がノートPCを持参して受講することを推奨する。PCが用意できない場合は事前に相談すること。 10月の聖心祭での研究発表、1月の実習報告会の参加も授業に含める。	
評価方法 ／Evaluation		

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	40 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	60 研究成果、報告書の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/前提（履修）：EH04「社会調査実習1(1)」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	論文の読解（5）資料・引用文献リストの書き方	小城・菅原・薊
2	先行研究のレビュー（1）文献の整理	小城・菅原・薊
3	先行研究のレビュー（2）構成の検討	小城・菅原・薊
4	先行研究のレビュー（3）論理的な文章表現	小城・菅原・薊
5	予備調査の記述（1）内容分析の場合	小城・菅原・薊
6	予備調査の記述（2）インタビューの場合	小城・菅原・薊
7	結果の記述（1）基礎統計	小城・菅原・薊
8	結果の記述（2）尺度の構成（因子分析・因子間相関）の記述の仕方	小城・菅原・薊
9	結果の記述（3）仮説検証の分析の記述①	小城・菅原・薊
10	結果の記述（4）仮説検証の分析の記述②	小城・菅原・薊

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
11	全体的考察の記述（1）結果の概要①	小城・菅原・薊
12	全体的考察の記述（2）結果の概要②	小城・菅原・薊
13	全体的考察の記述（3）議論の記述	小城・菅原・薊
14	資料の作成、校正	小城・菅原・薊

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学論文演習(1) / Dissertation Seminar in social psychological studies (1)
コード / Registration Code	EH10-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH10
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 5
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 菅原 健介, 薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp, sugawara@u-sacred-heart.ac.jp, r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 人関-5 / 2023年度以降入学者: 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20		
副題 / Subtitle	社会心理学文献の読解と論文の執筆		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	特に心理学系の論文執筆を学ぶことを主眼に置いた授業である。先行研究の整理の仕方、論文の構成、学術表現、論理の立て方、結果の記述の仕方をグループワークで修得し、4年生の卒業論文に応用できるようになる。		
授業概要 / Course description	心理学の専門論文を題材に論文の読み方、方法論、解析方法とその記述を学ぶ。なお、この授業は「社会調査実習1(1)」と連続で受講することを必須とする。本実習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-5」に位置づけられる。		
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社 小宮 あすか・布井 雅人 (著) Excelで今すぐはじめる心理統計 単冊子HADで基本を身につける 講談社		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table border="1"> <tr> <td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td> <td>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、</td> </tr> </table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、
活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、		

／Use of Active Learning Methods	ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業時間外に個人指導の時間を設ける。適宜、アポイントをとること。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	150 分×14 回
	事後学習の内容 ／Review	指導されたことについて理解を深め、論文を修正すること。
	事後学習時間 ／Review (time)	150 分×14 回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	グループワークでの実習のため、全出席を前提とする。「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(2)」を必ず合わせて受講すること。また、授業時間以外での作業が多い。特に、水曜日の授業後は各班の作業時間のため原則空けておくこと。 「社会調査の技法」「社会統計学」「社会心理学特講2」「データ分析の基礎A」「多変量解析法」「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(2)」、ならびに「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を前年度までに履修済みか、あるいは本年度に履修中であることを受講条件とする。 各自がノートPCを持参して受講することを推奨する。PCが用意できない場合は事前に相談すること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0

	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	40 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	60 研究成果、報告書の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	小城・菅原・薊
2	方法論の理解 (1) 質問紙調査の記述形式①	小城・菅原・薊
3	方法論の理解 (2) 質問紙調査の記述形式②	小城・菅原・薊
4	方法論の理解 (3) 内容分析とその記述形式①	小城・菅原・薊
5	方法論の理解 (4) 内容分析とその記述形式②	小城・菅原・薊
6	方法論の理解 (5) K J 法による分類とその記述形式	小城・菅原・薊
7	方法論の理解 (6) インタビューとその記述形式	小城・菅原・薊
8	統計的検定の理解 (1) 有意水準の理解	小城・菅原・薊
9	統計的検定の理解 (2) 統計的検定の結果の解釈	小城・菅原・薊
10	統計的検定の理解 (3) 論文に記載する際の書式	小城・菅原・薊
11	論文の読解 (1) 先行研究のレビューの仕方	小城・菅原・薊
12	論文の読解 (2) 方法の記述の仕方	小城・菅原・薊

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	論文の読解（3）結果の記述の仕方	小城・菅原・薊
14	論文の読解（4）考察・展望の記述の仕方	小城・菅原・薊

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学論文演習(2) / Dissertation Seminar in social psychological studies (2)
コード / Registration Code	EH12-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH12
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 5
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 菅原 健介, 薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp, sugawara@u-sacred-heart.ac.jp, r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 人関-5 / 2023年度以降入学者: 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20		
副題 / Subtitle	社会心理学文献の読解と論文の執筆		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	特に心理学系の論文執筆を学ぶことを主眼に置いた授業である。先行研究の整理の仕方、論文の構成、学術表現、論理の立て方、結果の記述の仕方をグループワークで修得し、4年生の卒業論文に備える。		
授業概要 / Course description	それぞれの研究テーマに合わせて論文を執筆する。なお、この授業は「社会調査実習1(2)」と連続で受講することを必須とする。 本実習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-5」に位置づけられる。		
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社 小宮 あすか・布井 雅人 (著) Excelで今すぐはじめる心理統計 単体ツールHADで基本を身につける 講談社		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table border="1"> <tr> <td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td> <td>121 プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、</td> </tr> </table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	121 プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、
活用される授業手法 / Teaching Methods	121 プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、		

／Use of Active Learning Methods	ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	グループ内で作業手順を確認しておくこと
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	事前学習時間 ／Preparation (time)	150 分×14 回
評価方法 ／Evaluation	事後学習の内容 ／Review	次週までの課題を確認し、各自の分担作業を遂行するとともに、グループ内でも進捗状況を共有しておくこと。
	事後学習時間 ／Review (time)	150 分×14 回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	グループワークでの実習のため、全出席を前提とする。「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」を必ず合わせて受講すること。また、授業時間以外での作業が多い。特に、水曜日の授業後は各班の作業時間のため原則空けておくこと。 「社会調査の技法」「社会統計学」「社会心理学特講2」「データ分析の基礎A」「多変量解析法」「社会調査実習1(1)」「社会調査実習1(2)」「社会心理学論文演習(1)」、ならびに「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を前年度までに履修済みか、あるいは本年度に履修中であることを受講条件とする。 各自がノートPCを持参して受講することを推奨する。PCが用意できない場合は事前に相談すること。	
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0

	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	40 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	60 研究成果、報告書の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし/前提(履修) : EH10「社会心理学論文演習(1)」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	論文の読解(5) 資料・引用文献リストの書き方	小城・菅原・薊
2	先行研究のレビュー(1) 文献の整理	小城・菅原・薊
3	先行研究のレビュー(2) 構成の検討	小城・菅原・薊
4	先行研究のレビュー(3) 論理的な文章表現	小城・菅原・薊
5	予備調査の記述(1) 内容分析の場合	小城・菅原・薊
6	予備調査の記述(2) インタビューの場合	小城・菅原・薊
7	結果の記述(1) 基礎統計	小城・菅原・薊
8	結果の記述(2) 尺度の構成(因子分析・因子間相関)の記述の仕方	小城・菅原・薊
9	結果の記述(3) 仮説検証の分析の記述①	小城・菅原・薊
10	結果の記述(4) 仮説検証の分析の記述②	小城・菅原・薊
11	全体的考察の記述(1) 結果の概要①	小城・菅原・薊
12	全体的考察の記述(2) 結果の概要②	小城・菅原・薊

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	全体的考察の記述（3）議論の記述	小城・菅原・薊
14	資料の作成、校正	小城・菅原・薊

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会調査実習 2 (1) / Practice of social research 2(1)
コード / Registration Code	EH06-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH06
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	木戸 功, 大槻 奈巳, 前田 一步
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	i.kido@u-sacred-heart.ac.jp , otsuki@u-sacred-heart.ac.jp , kmaeda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者 : 人関-5 / 2023年度以降入学者 : 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/10
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	本授業履修後には、一人で調査票を用いた調査ができるようになるのが目標である。
授業概要 / Course description	<p>社会調査の基本的な考え方、具体的な手順を学び、既存資料の検討をふまえて、調査テーマ・調査対象を決め、実際に自分たちで質問紙を作成し、調査を行う。問題意識の明確化→調査の設計→質問紙の作成→データの収集→検票→データの入力→分析→レポート作成→報告を行い、社会学を基礎づける量的および質的な社会調査を実践的に経験することを通して社会学の調査研究の視点やスキル、社会調査に求められる倫理を身につけることを目的とする。</p> <p>調査のテーマは「大学生のライフスタイルと意識に関する調査」とし、4年制大学学生を対象に、どのようなライフスタイルを実践し、どのような意識をもっているのかを調査・検証する予定である。また、調査結果は社会調査実習報告会でポスター発表する予定である。</p>

テキスト・参考文献 /Textbooks	【参考文献】 大谷信介ほか編『最新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2023年（978-4623095247） その他、適宜紹介する	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Googleクラスルームの活用。授業資料の配布共有、フォームを使った課題提出、質問の受け付けなど。
授業時間外の学習（準備学習・復習等） /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	授業で使用する資料はあらかじめGoogleクラスルームにおいて共有します。目を通してきてください。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 /Review	毎回、課題に取り組むことになります。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	受講生の積極的・主体的な取り組みが必要で、授業時間（各自の発表、講義、実習）に加えて、昼休みや放課後、休業期間中にも必要に応じて課題・作業に取り組む姿勢が求められる。実習は共同作業として行うので、基本的に遅刻・欠席をしないこと。 後期に社会調査実習2（2）を履修すること。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	50

	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 授業への積極的な参加 (課題へのとりくみ等)
	その他 (%) /Other	0
学生へのフィードバック /Feedback	授業内の課題についての解答例やコメントは翌週の授業時に共有します。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	授業概要、調査の企画・設計	木戸、大槻、前田
2	調査テーマに関する情報収集、サンプリング	木戸、大槻、前田
3	質問項目の作成 (1)	木戸、大槻、前田
4	質問項目の作成 (2)	木戸、大槻、前田
5	調査票の作成 (1)	木戸、大槻、前田
6	調査票の作成 (2)	木戸、大槻、前田
7	プリテストと調査票の再検討、実査の計画	木戸、大槻、前田
8	調査票の修正、調査実施 (配布・回収) のための準備	木戸、大槻、前田
9	調査票の検票とコーディング	木戸、大槻、前田
10	データの入力 (1)	木戸、大槻、前田
11	データの入力 (2)	木戸、大槻、前田
12	統計ソフトへのデータの読み込み	木戸、大槻、前田
13	度数分布表の作成	木戸、大槻、前田

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
14	データクリーニング	木戸、大槻、前田

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会調査実習 2 (2) / Practice of social research 2(2)
コード / Registration Code	EH07-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420EH07
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	木戸 功, 前田 一步
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	i.kido@u-sacred-heart.ac.jp , kmaeda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者 : 人関-5 / 2023年度以降入学者 : 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/10
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	本授業履修後には、一人で調査票を用いた調査ができるようになるのが目標である。
授業概要 / Course description	<p>社会調査の基本的な考え方、具体的な手順を学び、既存資料の検討をふまえて、調査テーマ・調査対象を決め、実際に自分たちで質問紙を作成し、調査を行う。問題意識の明確化→調査の設計→質問紙の作成→データの収集→検票→データの入力→分析→レポート作成→報告を行い、社会学を基礎づける量的および質的な社会調査を実践的に経験することを通して社会学の調査研究の視点やスキル、社会調査に求められる倫理を身につけることを目的とする。</p> <p>今年度の調査のテーマは「大学生のライフスタイルと意識に関する調査」とし、4年制大学学生を対象に、どのようなライフスタイルを実践し、どのような意識を持っているのかを調査・検証する予定である。また、調査結果は社会調査実習報告会でポスター発表する予定である。</p>

テキスト・参考文献 /Textbooks	【参考文献】 大谷信介ほか編『最新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2023年（978-4623095247） その他、適宜紹介する	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	事前に課題にとりくむ。授業時に解説を行う。毎回ではないが何度か実施します。
I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Googleクラスルームの活用。授業資料の配布共有、フォームを使った課題提出、質問の受け付けなど。
授業時間外の学習（準備学習・復習等） /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	授業で使用する資料はあらかじめGoogleクラスルームにおいて共有します。目を通してきてください。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 /Review	毎回、課題に取り組むことになります。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	受講生の積極的・主体的な取り組みが必要で、授業時間（各自の発表、講義、実習）に加えて、昼休みや放課後、休業期間中にも必要に応じて課題・作業に取り組む姿勢が求められる。実習は共同作業として行うので、基本的に遅刻・欠席をしないこと。 前期の社会調査実習2（1）を履修済みであること。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	30

	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50/授業への積極的な参加 (課題へのとりくみ等)
	その他 (%) /Other	20/社会調査実習報告会でのプレゼンテーション
学生へのフィードバック /Feedback	授業内の課題についての解答例やコメントは翌週の授業時に共有します。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/前提 (履修) : EH06「社会調査実習 2(1)」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	調査票の確定、実査の方法	木戸、前田
2	実査、統計ソフトの使い方(1)度数分布、クロス集計	木戸、前田
3	実査、統計ソフトの使い方(2)リコード、変数の合成	木戸、前田
4	実査、統計ソフトの使い方(3)連関係数、カイ二乗検定	木戸、前田
5	実査、統計ソフトの使い方(4)エラボレーション	木戸、前田
6	ローデータの作成、度数分布の確認	木戸、前田
7	各自のデータの集計・分析 (1)	木戸、前田
8	各自のデータの集計・分析 (2)	木戸、前田
9	各自のデータの集計・分析 (3)	木戸、前田
10	レポート (報告書) の作成 (1)	木戸、前田
11	レポート (報告書) の作成 (2)	木戸、前田
12	レポート (報告書) の作成 (3)	木戸、前田
13	報告会の準備 (1)	木戸、前田

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
14	報告会の準備（2）	木戸、前田

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	情報活用の社会的実践 / Social practice of data analysis
コード / Registration Code	EB93-01
ナンバリングコード / Numbering Code	320EB93
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	他
開講学期 / Semester	集中
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子, 菅原 健介, 木戸 功, 薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp, sugawara@u-sacred-heart.ac.jp, i.kido@u-sacred-heart.ac.jp, r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 人関-5 / 2023年度以降入学者: 人関-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/20
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	企業等から与えられた実際の課題に対して、提供された調査データや資料等の解析を通して提言を行うことができるようになる。社会調査法、統計学などの知識や方法論を、社会課題の解決に実践的に結びつけることの意義と方法を学ぶ。
授業概要 / Course description	本授業は対面形式によって行われる予定である。学生がプロジェクトチームを組み、企業から提起された課題について客観的根拠に基づいた提言を行う。本年度は、JEITA（一般社団法人電子情報技術産業協会 https://www.jeita.or.jp/japanese/ ）と連携し、テレビを中心とした次世代の映像コンテンツのあり方について考える。
テキスト・参考文献 / Textbooks	

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
ICTを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	映像コンテンツについて情報収集しておくこと
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	各自の分担作業を遂行しておくこと
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	<p>本授業は夏季休暇中に行われるが、JEITA関係者との課題に関する説明や質疑応答、学生からのプレゼンテーションなどを交えて展開される。具体的な課題は授業内で説明されるが、客観的な根拠とともに、各自の経験や感性をも生かした若年層からのユニークな提言が期待される。</p> <p>尚、企業から提供されるデータや資料、あるいはその分析結果に関しては、守秘義務が生じる場合がある。先方との協定に従った情報の扱いが求められる。</p> <p>授業中にClassroom経由で資料配信や課題提出を行うため、各自がノートPCかタブレットを持参して受講することを前提とする。</p>	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験(%) ／Exam	0

	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 グループワークの参加、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	50 プレゼンの完成度、発想力、論理性
学生へのフィードバック /Feedback	最終日にJEITAならびに担当教員からの講評を行う	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	JEITAからの課題提起、授業手順の確認	小城、菅原、木戸、薊
2	JEITAとの課題をめぐっての質疑応答・要件定義	小城、菅原、木戸、薊
3	ゲスト講師によるショート講演とディスカッション（1）	小城、菅原、木戸、薊
4	ゲスト講師によるショート講演とディスカッション（2）	小城、菅原、木戸、薊
5	チーム内での企画・作業手順の検討	小城、菅原、木戸、薊
6	データ・資料の内容確認、課題との関連付け	小城、菅原、木戸、薊
7	データ・資料の分析（内容分析、単純集計、多変量解析など）	小城、菅原、木戸、薊
8	データ・資料の分析（課題との関連付け）	小城、菅原、木戸、薊
9	提案書の内容検討	小城、菅原、木戸、薊
10	提案書の作成	小城、菅原、木戸、薊
11	プレゼンテーションの準備	小城、菅原、木戸、薊
12	プレゼンテーションのリハーサル	小城、菅原、木戸、薊

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	プレゼンテーション	小城、菅原、木戸、薊
14	全体の振り返り、企業からの講評、ディスカッション	小城、菅原、木戸、薊

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I— 1 (1) / Junior Seminar in Social Psychology I-1(1)
コード / Registration Code	ER33-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER33
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	菅原 健介
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugawara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	卒業論文に向け、文献（専門書や学術論文）の読み方、書き方を理解し、自らの研究テーマを明確化する。
授業概要 / Course description	専門領域の文献購読と発表を行うとともに、受講生自身が興味・関心のあるテーマの文献を収集、整理、発表していきながら卒論の方向性を明確化する。また、ゼミ内で個々の研究テーマを共有し、議論を深めると共に相互協力を行っていく。演習1-1では特に各自のテーマを固めるための先行研究のレビューを中心に進める。 発表においては、レジюме作成のほか、パワーポイントの使用も求められる。本授業は人間関係学科のカリキュラムマップ「人関-6」に位置付けられる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 授業内で適宜紹介する。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	HADを利用した分析、Googleフォームを利用した調査。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time <small>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</small>		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	資料の収集、整理、発表の準備
	事前学習時間 ／Preparation (time)	120分×14回
	事後学習の内容 ／Review	自身の発表内容を振り返り、教員の指導を受け卒論の計画を更新する
	事後学習時間 ／Review (time)	80分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	ヒト、人間関係、社会に関心をもち、心理学領域での卒業論文を目指す積極的な受講生を望む。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	50%

	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% 授業中の発言、プレゼンテーション
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	発表とともにメンターを通して卒論を進行させる	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	初回オリエンテーション	
2	卒論構想の発表、文献購読と発表について	
3	文献購読および発表と討議 (1) 羞恥心と世間	
4	文献購読および発表と討議 (2) 恥の心のブレーキと迷惑行為・犯罪	
5	文献購読および発表と討議 (3) 罪悪感とモラルの心理	
6	文献購読および発表と討議 (4) 気まずい場の心理	
7	文献購読および発表と討議 (5) 他者から嫌われる心理	
8	文献購読および発表と討議 (6) 嫉妬・妬みと他者との比較	
9	文献購読および発表と討議 (7) 被服の社会的機能	
10	文献購読および発表と討議 (8) 他者を傷つける心と攻撃・怒り	
11	文献購読および発表と討議 (9) 恋愛と女性の適応戦略	
12	文献購読および発表と討議 (10) 身体意識、ダイエット	
13	文献購読および発表と討議 (11) インターネットとコミュニケーション	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
14	前期の総括	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I-1(2) / Junior Seminar in Social Psychology I-1(2)
コード / Registration Code	ER34-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER34
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	菅原 健介
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugawara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/22
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	卒業論文に向け、文献（専門書や学術論文）の読み方、書き方を理解し、自らの研究テーマを明確化する。後期終了までに卒論の序論部分（第1章）の執筆と質問紙等の準備を完了させる。
授業概要 / Course description	卒業論文の作成に向け準備を行う。専門領域の文献購読と発表を行うとともに、受講生自身が興味・関心のあるテーマの文献を収集、整理、発表していきながら卒論の方向性を明確化する。演習1-2では特に各自の研究計画のプレゼンを行い、詳細について全員で議論、検討を進めて行く。また、ゼミ内で個々の研究テーマを共有し、議論を深めると共に相互協力を行っていく。 発表においては、レジюме作成のほか、パワーポイントの使用も求められる。本授業は人間関係学科のカリキュラムマップ「人関-6」に位置付けられる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 授業内で適宜紹介する。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	HADを利用した分析、Googleフォームを利用した調査。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time <small>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</small>		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	資料の収集、整理、発表の準備
	事前学習時間 ／Preparation (time)	120分×14回
	事後学習の内容 ／Review	自身の発表内容を振り返り、教員の指導を受け卒論の計画を更新する
	事後学習時間 ／Review (time)	80分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	ヒト、人間関係、社会に関心を持ち、心理学領域での卒業論文を目指す積極的な受講生を望む。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	50%

	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% 授業中の発言、プレゼンテーション
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	発表とともにメンターを通して卒論を進行させる	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	後期オリエンテーション	
2	卒論構想発表(1) プレゼンテーションと討論 テーマの設定	
3	卒論構想発表(2) プレゼンテーションと討論 資料収集の方法	
4	卒論構想発表(3) プレゼンテーションと討論 先行研究のまとめ方	
5	卒論構想発表(4) プレゼンテーションと討論 テーマの設定	
6	卒論構想発表(5) プレゼンテーションと討論 仮説の導出	
7	卒論構想発表(6) プレゼンテーションと討論 研究方法の検討	
8	卒論構想発表(7) プレゼンテーションと討論 データ解析の方法	
9	卒論構想発表(8) プレゼンテーションと討論 図表の効果的な使用	
10	卒論構想発表(9) プレゼンテーションと討論 データからの考察	
11	卒論構想発表のまとめ	
12	卒業論文の執筆に向けて(1) 研究テーマの確認	
13	卒業論文の執筆に向けて(2) 研究方法論の確認	
14	卒業論文の執筆に向けて(3) まとめと課題の確認	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I—2(1) / Junior Seminar in Social Psychology I-2(1)
コード / Registration Code	ER35-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER35
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/04
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	4年次の卒論に向けて、各自のテーマを設定し、文献研究などを始める。同時に、ディスカッションやコメントの重要性を学び、研究を分析する能力を培う。
授業概要 / Course description	社会心理学に関心を持つ学生のためのゼミである。自ら設定した課題に対して文献を調べてまとめ、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。前期は文献研究を中心に2回発表、夏休みの合宿で卒論の構想を発表する。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。 テーマは各自の自由。授業計画では、近年の演習で多かったテーマを参考までに挙げておく。 本演習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-6」に位置づけられる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業時間外に個人指導の時間を設ける。適宜、アポイントをとること。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	プレゼンで寄せられた指導や意見を反映させ、ブラッシュアップしておくこと
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	「社会調査の技法1」、「社会統計学」、「社会心理学特講2」、「データ分析の基礎A」、「多変量解析法A」、「社会調査実習1」、「社会心理学論文演習」はすべて、「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を、必ず履修すること。 ディスカッションは、他人の研究をより洗練させるだけでなく、自らの研究能力の向上にもつながる。積極的な参加を望む。 夏休みには、自身の研究を論文文化するところまでを課題とする。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	30

	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	35 先行研究のレビュー、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	35 研究成果、論文の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	
2	発表と討議(1): マス・メディアの社会的役割	
3	発表と討議(2): マス・メディアの機能	
4	発表と討議(3): マス・メディアの効果論	
5	発表と討議(4): マス・メディアと社会的現実	
6	発表と討議(5): 犯罪心理と犯罪報道	
7	発表と討議(6): 劇場型犯罪	
8	発表と討議(7): 広告理論	
9	発表と討議(8): 広告効果	
10	発表と討議(9): ドラマやSNSの中の広告	
11	発表と討議(10): 消費行動とマーケティング	
12	発表と討議(11): 消費行動と広告	
13	発表と討議(12): 流行理論	
14	発表と討議(13): 流行現象とメディア	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I—2(2) / Junior Seminar in Social Psychology I-2(1)
コード / Registration Code	ER36-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER36
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/04
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	4年次の卒論に向けて、各自のテーマを設定し、文献研究などを始める。同時に、ディスカッションやコメントの重要性を学び、研究を分析する能力を培う。
授業概要 / Course description	社会心理学に関心を持つ学生のためのゼミである。自ら設定した課題に対してデータを収集、分析した結果について、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。後期は予備調査の結果や本調査の研究計画を中心に発表する。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。 テーマは各自の自由。授業計画では、近年の演習で多かったテーマを参考までに挙げておく。 本演習は人間関係学科カリキュラムマップ「人関-6」に位置づけられる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	Classroomを用いて双方向学修を行う
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業時間外に個人指導の時間を設ける。適宜、アポイントをとること。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	プレゼンで寄せられた指導や意見を反映させ、ブラッシュアップしておくこと
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	「社会調査の技法1」、「社会統計学」、「社会心理学特講2」、「データ分析の基礎A」、「多変量解析法A」、「社会調査実習1」、「社会心理学論文演習」はすべて、「質的調査法1」「質的調査法2」「質的調査法3」の3科目のうちいずれか1科目を、必ず履修すること。 ディスカッションは、他人の研究をより洗練させるだけでなく、自らの研究能力の向上にもつながる。積極的な参加を望む。 夏休みに先行研究を論文化したことを踏まえて、予備調査を実施、本調査の準備までを課題とする。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	30

	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	35 本文の執筆、予備調査の実施、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	35 研究成果、論文の完成度
学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	
2	発表と討議(1): 音楽とマーケティング	
3	発表と討議(2): 音楽の利用と満足	
4	発表と討議(3): ドラマの変遷	
5	発表と討議(4): ドラマの利用と満足	
6	発表と討議(5): ゲームの歴史	
7	発表と討議(6): ゲームの利用と満足	
8	発表と討議(7): ステレオタイプ研究	
9	発表と討議(8): メディアとステレオタイプ	
10	発表と討議(9): 災害心理と災害報道	
11	発表と討議(10): 災害とメディア	
12	発表と討議(11): CMCの歴史	
13	発表と討議(12): SNSとコミュニケーション	
14	発表と討議(13): SNSをめぐる諸問題	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I— 3 (1) / Junior Seminar in Social Psychology I-3(1)
コード / Registration Code	ER37-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER37
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	卒業研究の研究計画を考える
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生は、積極的に自身の卒業研究で何を検討したいかを考え、関連する資料を調べ、目的を設定できる。 ・受講生は自身の卒業研究の論理的背景と目的を説明できるようになる。 ・受講生は他者の発表を聴き、適切なコメントができるようになる。
授業概要 / Course description	最初は、自身の関心に近い論文についてプレゼンテーションを行ってもらい、議論する。その後、各自の卒業研究計画についてプレゼンテーションを行ってもらい、議論する。議論の内容や個人指導に基づき、卒業研究の計画を修正する。なお、プレゼンテーションのファイル提出が課題となる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 松井豊『三訂版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社 ※改訂版でもよい。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	時によっては授業時間外で個人指導をする場合がある。その際は、Google Meetを利用することもある。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	自分が何を卒業研究で何を研究したいのかを考え、積極的に資料を探し、熟読する。その上で、論理構成を考える。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	自分の発表に対するコメントや他者の発表から、自分の卒業研究に何が不足しているかを考え、修正作業をする。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	社会心理学演習I—3(2)を併せて必ず登録すること。PCを持参することが望ましい。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	0%
	小テスト (%) ／Quizzes	0%

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	(授業中の発言、質問等の積極的参加) 40%
	その他 (%) /Other	(発表の内容と技術、課題の提出、卒業論文作成への取り組み・その論理性と独創性) 60%
学生へのフィードバック /Feedback	プレゼンテーションについてはその場でフィードバックする。課題については後日フィードバックする。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	薊理津子
2	文献の検索の方法、資料収集	薊理津子
3	卒業論文の書き方、テーマの設定の仕方	薊理津子
4	論文のプレゼンテーションと討論 (1) 発表者1、発表者2による発表	薊理津子
5	論文のプレゼンテーションと討論 (2) 発表者3、発表者4による発表	薊理津子
6	論文のプレゼンテーションと討論 (3) 未発表者による発表	薊理津子
7	卒業研究の計画設定 (1) 資料収集と論理構成	薊理津子
8	卒業研究の計画設定 (2) 方法	薊理津子
9	卒業研究の計画の発表と討論 (1) 発表者1、発表者2による発表	薊理津子
10	卒業研究の計画の発表と討論 (2) 発表者3、発表者4による発表	薊理津子
11	卒業研究の計画の発表と討論 (3) 未発表者による発表	薊理津子
12	卒業研究の計画の発表に関する全体的講評	薊理津子
13	卒業研究の計画の修正	薊理津子
14	総括	薊理津子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習I—3(2) / Junior Seminar in Social Psychology I-3(1)
コード / Registration Code	ER38-01
ナンバリングコード / Numbering Code	310ER38
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-6 / 2023年度以降入学者：人関-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	卒業研究のデータ収集を開始する
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生は、予備調査を行い、その目的と結果を他者に説明できるようになる。 ・受講生は、卒業研究の序論を執筆し、その内容を他者に説明できるようになる。 ・受講生は他者の発表を聴き、適切なコメントができるようになる。
授業概要 / Course description	卒業研究の序論を執筆し、予備調査を実施する。そして、卒業研究の予備調査の分析結果と考察を含めた中間発表を行う。4年生に向けた本調査もしくは本実験の準備を行う。なお、序論とプレゼンテーションのファイル提出が課題となる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 松井豊『三訂版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社 ※改訂版でもよい。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	時によっては授業時間外で個人指導をする場合がある。その際は、Google Meetを利用することもある。
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	序論を構成する資料を積極的に収集し、論理構成を考える。卒業研究を進める上で、次に何をすべきかを考え、教員への質問、自分でできることを整理する。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	自分の発表に対するコメントや他者の発表から、自分の卒業研究に何が不足しているかを考え、修正作業をする。指導を受けたら、その指導に基づき作業をする。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	社会心理学演習I—3(1)を併せて必ず登録すること。PCを持参することが望ましい。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	0%
	小テスト (%) ／Quizzes	0%

	<table border="1"> <tr> <td>リアクションペーパー (%) /Response sheet</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>平常点 (%) /Participation</td> <td>(授業中の発言、質問等の積極的参加) 40%</td> </tr> <tr> <td>その他 (%) /Other</td> <td>(発表の内容と技術、課題の提出、卒業論文作成への取り組み・その論理性と独創性) 60%</td> </tr> </table>	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%	平常点 (%) /Participation	(授業中の発言、質問等の積極的参加) 40%	その他 (%) /Other	(発表の内容と技術、課題の提出、卒業論文作成への取り組み・その論理性と独創性) 60%
リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%						
平常点 (%) /Participation	(授業中の発言、質問等の積極的参加) 40%						
その他 (%) /Other	(発表の内容と技術、課題の提出、卒業論文作成への取り組み・その論理性と独創性) 60%						
学生へのフィードバック /Feedback	プレゼンテーションについてはその場でフィードバックする。課題については後日フィードバックする。						
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし						
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	人関-1, 2, 3, 4						
副専攻 /Minor 教務課入力欄							

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	薊理津子
2	卒業研究の序論(1) 書式や引用文献の記載方法などの体裁	薊理津子
3	卒業研究の序論(2) 先行研究のまとめ方	薊理津子
4	予備調査(1) 目的の設定	薊理津子
5	予備調査(2) データ収集	薊理津子
6	予備調査(3) データの整理	薊理津子
7	予備調査(4) データの分析	薊理津子
8	予備調査(5) 考察	薊理津子
9	卒業研究の中間発表と討論(1) 発表者1、発表者2による発表	薊理津子
10	卒業研究の中間発表と討論(2) 発表者3、発表者4による発表	薊理津子
11	卒業研究の中間発表と討論(3) 未発表者による発表	薊理津子
12	卒業研究の中間発表に関する全体的講評	薊理津子
13	本調査・本実験の準備	薊理津子
14	総括	薊理津子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-1(1) / Senior Seminar in Social Psychology II-1(1)
コード / Registration Code	ER39-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER39
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 前期
曜限 / Class Period	金 5
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	菅原 健介
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugawara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/15	
副題 / Subtitle		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	卒業論文を執筆、完成させる。データを収集し、計算ソフトを用いた統計学的な分析を進め、課題に対する答えを導く。	
授業概要 / Course description	卒業論文を作成する。ゼミ内での個別指導を進めると共に、個々の卒論をゼミ内でも議論する。演習 II-1(1)では研究計画の確認とデータの収集に関連した指導が中心となる。本講義は人間関係学科のカリキュラムマップにおける「人関-7」に位置付けられる。	
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 適宜紹介する	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	156	

その他 /Other	
---------------	--

ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	HADを利用した分析、Googleフォームを利用した調査。

授業時間外の学習 (準備学習・ 復習等) /Out-of-Class Study Time	
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>	

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	資料の収集、整理、発表の準備
	事前学習時間 /Preparation (time)	120分×14回
	事後学習の内容 /Review	自身の発表内容を振り返り、教員の指導を受け卒論の計画を更新する
	事後学習時間 /Review (time)	80分×14回

その他、履修上の注意事項や特 記事項 /To be noted	
---------------------------------------	--

評価方法 /Evaluation	
---------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	50%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% 授業中の発言、プレゼンテーション
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	発表とともにメンターを通して卒論を進行させる	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし/	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	卒業論文のテーマ確認	
2	卒業論文の中間報告（1） 仮説の確認	
3	卒業論文の中間報告（2） データ収集方法の確認	
4	卒業論文の中間報告（3） データ解析方針の確認	
5	卒業論文の中間報告（4） 問題点、課題の確認	
6	序論、方法の執筆およびデータ収集（1） データの収集	
7	序論、方法の執筆およびデータ収集（2） データの確認、クリーニング	
8	序論、方法の執筆およびデータ収集（3） データの入力	
9	序論、方法の執筆およびデータ収集（4） データの入力の確認	
10	序論、方法の執筆およびデータ収集（5） 統計ソフトとの関連付け	
11	序論、方法の執筆およびデータ収集（6） 基礎的分析	
12	卒業論文の総合中間発表会	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	今後の方針の再検討（１）：発表会を終えての問題点の整理	
14	今後の方針の再検討（２）：発表会を終えての問題点への対処	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-1(2) / Senior Seminar in Social Psychology II-1(2)
コード / Registration Code	ER40-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER40
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 後期
曜限 / Class Period	金 5
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	菅原 健介
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	sugawara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/15		
副題 / Subtitle			
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	卒業論文を執筆、完成させる。前期までデータ解析を終了し、論文の執筆を中心に進める。なお、執筆する中で補足の統計解析なども行う。		
授業概要 / Course description	卒業論文を作成する。ゼミ内での個別指導を進めると共に、個々の卒論をゼミ内でも議論する。演習II-1(2)では特にデータ解析と論文執筆について指導する。本講義は人間関係学科のカリキュラムマップにおける「人関-7」に位置付けられる。		
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 松井豊 (2010). 改訂新版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社		
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	<table border="1"> <tr> <td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td> <td>プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion&comma;Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum&comma;FieldWork)</td> </tr> </table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)		

その他
/Other

ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction
with ICT

実施の有無
/Does this apply to your
course?

実施する(Yes)

内容
/Content

HADを利用した分析、Googleフォームを利用し
た調査。

授業時間外の学習(準備学習・
復習等)
/Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の
2倍の授業時間外の学習(準備学習・
復習等)が前提となりますので、それ
も考慮しながら学修計画をたて、無理
のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time

事前学習の内容
/Preparation

資料の収集、整理、発表の準備

事前学習時間
/Preparation (time)

120分×14回

事後学習の内容
/Review

自身の発表内容を振り返り、教員の指導を受け
卒論の計画を更新する

事後学習時間
/Review (time)

80分×14回

その他、履修上の注意事項や特
記事項
/To be noted

評価方法
/Evaluation

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	50%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	平常点 (%) /Participation	50% 授業中の発言、プレゼンテーション
	その他 (%) /Other	0%
学生へのフィードバック /Feedback	発表とともにメンターを通して卒論を進行させる	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし／	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関－1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
1	データ解析の方法と確認	
2	データ解析（1） 単純集計	
3	データ解析（2） 0次元相関、関連性の分析	
4	データ解析（3） 多変量解析の適用	
5	データ解析（4） 結果の視覚化	
6	卒業論文の公開個人指導（1）：序論	
7	卒業論文の公開個人指導（2）：目的、仮説の確認	
8	卒業論文の公開個人指導（3）：データ解析の確認	
9	卒業論文の公開個人指導（4）：結果の内容確認	
10	卒業論文の公開個人指導（5）：結果の解釈、考察	
11	提出直前の確認（1）：内容の相互確認	
12	提出直前の確認（2）：形式、誤字等の相互確認	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	卒業論文のまとめと反省	
14	卒業論文発表会に向けた準備 プレゼンのポイント確認	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-2(1) / Senior Seminar in Social Psychology II-2(1)
コード / Registration Code	ER41-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER41
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 前期
曜限 / Class Period	金 5
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/17	
副題 / Subtitle		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	3年次までにまとめた卒論構想に基づき、各自のテーマに沿って研究を進め、卒論完成を目指す。自ら設定した課題に対してデータを収集、分析した結果について、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。	
授業概要 / Course description	前期中に調査・実験を実施、夏休みの合宿で中間報告を行う。 演習は人間関係学科カリキュラムマップの「人関-7」に位置づけられる。	
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 / Other	164

ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	授業時間外に個人指導の時間を設ける。適宜、アポイントをとること。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	指導されたことについて理解を深め、論文を修正すること。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted		
-----------------------------------	--	--

評価方法 /Evaluation		
---------------------	--	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 調査の実施やデータの分析などの作業、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	50 研究成果、プレゼンの完成度

学生へのフィードバック /Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う。
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし／
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関－ 1, 2, 3, 4
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
1	ガイダンス	
2	予備調査（１）：内容分析①	
3	予備調査（２）：内容分析②	
4	予備調査（３）：内容分析まとめ	
5	予備調査（４）：インタビュー①	
6	予備調査（５）：インタビュー②	
7	予備調査（６）：インタビューまとめ	
8	予備調査の総括と本調査の計画	
9	本調査（１）質問紙作成①質問項目の作成、尺度の選定	
10	本調査（２）質問紙作成②質問項目の修正	
11	本調査（３）質問紙作成③プリテスト	
12	本調査（４）質問紙作成④修正と印刷	
13	本調査（５）調査実施①	
14	本調査（６）調査実施②	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-2(2) / Senior Seminar in Social Psychology II-2(2)
コード / Registration Code	ER42-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER42
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 後期
曜限 / Class Period	金 5
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小城 英子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koshiro@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/17	
副題 / Subtitle		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	3年次までにまとめた卒論構想に基づき、各自のテーマに沿って研究を進め、卒論完成を目指す。自ら設定した課題に対してデータを収集、分析した結果について、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。	
授業概要 / Course description	前期中に行った調査の分析と、卒論全体の執筆を行う。本演習は人間関係学科カリキュラムマップの「人関-7」に位置づけられる。	
テキスト・参考文献 / Textbooks	松井豊 心理学論文の書き方 卒業論文や修士論文を書くために 河出書房新社	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 / Other	167

ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Classroomを用いて双方向学修を行う。HADで統計的な分析を行う。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	授業時間外に個人指導の時間を設ける。適宜、アポイントをとること。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	指導されたことについて理解を深め、論文を修正すること。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted		
-----------------------------------	--	--

評価方法 /Evaluation		
---------------------	--	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	50 本文の執筆、積極的な議論など、授業への取り組み
	その他 (%) /Other	50 研究成果、論文の完成度

学生へのフィードバック ／Feedback	毎週の授業で指導とフィードバックを行う。
特記事項 ／Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし／
ディプロマ・ポリシーナンバー ／Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	人関－ 1, 2, 3, 4
副専攻 ／Minor <small>教務課入力欄</small>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
1	分析（１）：記述統計の確認	
2	分析（２）：尺度の構成	
3	分析（３）：多変量解析	
4	追加分析（１）	
5	追加分析（２）	
6	卒論執筆（１）：先行研究の整理	
7	卒論執筆（２）：結果の執筆①	
8	卒論執筆（３）：結果の執筆②	
9	卒論執筆（４）：全体的考察の執筆①	
10	卒論執筆（５）：全体的考察の執筆②	
11	資料（G T表）の作成	
12	印刷用原稿作成	
13	印刷用原稿の校正	
14	卒論発表会の準備 ポスター作成	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-3(1) / Senior Seminar in Social Psychology II-3(1)
コード / Registration Code	ER43-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER43
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 前期
曜限 / Class Period	金 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/10
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	この授業では、3年次までに修得したスキルの集大成である卒業論文の完成を目指し、各自のテーマに沿って研究を進める。本授業の到達目標は以下3点である。第1に自分で収集したデータを目的に沿って分析できること。第2に自分の研究を他者に説明できるようになること。第3に、受講生の発表内容を聞き、討議できるようになること。
授業概要 / Course description	この授業は対面授業で行うが、授業時間外の個人指導はGoogle Meetを利用する。この授業では、各自の作業進行状況に応じた指導を中心に行われる。まず、自身の卒業研究の途中経過をPower Pointを用いて発表してもらう。そして、目的に沿った調査計画を立案し、実施する。収集したデータを分析する。 なお、本講義は人間関係学科カリキュラムマップでは「人関-7」に位置付けられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	教科書を指定しないが、以下の本があるとよい。 小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 松井豊『三訂版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社 170 ※改訂新版でもよい。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 /Other	

I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	資料配付と課題提出にはGoogle Classroomを利用し、授業時間外の個人指導はGoogle Meetを使用する。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time	
---	--

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	各自の進捗状況に応じて論文等の資料を適宜読み、分析を行う等、卒業論文の作業を進めておくこと。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	指導を受けた部分について、修正・加筆作業、分析をすること。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	「社会心理学演習II—3(2)」と併せて必ず登録すること。PCを持参することが望ましい。
---	--

評価方法 /Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	0%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%

	平常点 (%) /Participation	発表状況・教室での応答・卒論への取り組み姿勢 (50%)
	その他 (%) /Other	提出物 (50%)
学生へのフィードバック /Feedback	発表に対する評価はその場でフィードバックする。また、提出物については後日の指導時にフィードバックする。	
特記事項 /Note	抽選なし/	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number	人関-1, 2, 3, 4	
副専攻 /Minor		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス	
2	卒業研究の中間報告をするためのプレゼンテーション (1) 前半組による発表	
3	卒業研究の中間報告をするためのプレゼンテーション (2) 後半組による発表	
4	本調査計画 (1) 計画立案	
5	本調査計画 (2) 計画の修正	
6	本調査計画 (3) 調査用紙の作成	
7	本調査計画 (4) 本調査全体の完成	
8	データ収集 (1) データ収集開始	
9	データ収集 (2) データ収集終了	
10	データ分析 (1) データ整理	
11	データ分析 (2) 基本統計量の算出	
12	データ分析 (3) 尺度の構成	
13	データ分析 (4) 個々の目的に応じた分析	
14	総括	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	社会心理学演習II-3(2) / Senior Seminar in Social Psychology II-3(2)
コード / Registration Code	ER44-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410ER44
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 人間関係学科
学期 / Semester	2025年度 後期
曜限 / Class Period	金 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	薊 理津子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	r.azami@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：人関-7 / 2023年度以降入学者：人関-7

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/10
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	この授業では、3年次までに修得したスキルの集大成である卒業論文を完成させる。本授業の到達目標は以下3点である。第1に卒業論文を完成させること。第2に自分の研究を他者に説明できるようになること。第3に、自他の研究について討議できようになること。
授業概要 / Course description	この授業は対面授業で行うが、授業時間外の個人指導はGoogle Meetを利用する。この授業では、各自の作業進行状況に応じた論文執筆の指導を中心に行われる。「社会心理学演習II-3(1)」の作業の続きを行い、最終的に自分の研究をひとつの論文として完成させる。 なお、本講義は人間関係学科カリキュラムマップでは「人関-7」に位置付けられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	教科書を指定しないが、以下の本があるとよい。 小宮あすか・布井雅人『Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける』講談社 松井豊『三訂版 心理学論文の書き方：卒業論文や修士論文を書くために』河出書房新社 ※改訂新版でもよい。 173

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	ディスカッション、ディベート (Discussion,Debate)
	その他 ／Other	

I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	資料配付と課題提出にはGoogle Classroomを利用し、授業時間外の個人指導はGoogle Meetを使用する。

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time	
---	--

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	各自の進捗状況に応じて論文等の資料を適宜読み、分析を行う等、卒業論文の作業を進めておくこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	指導を受けた部分について、修正・加筆作業、分析をすること。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	「社会心理学演習II-3(1)」と併せて必ず登録すること。PCを持参することが望ましい。
---	--

評価方法 ／Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0%
	レポート (%) ／Final paper	0%
	小テスト (%) ／Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	0%
	平常点 (%) ／Participation	卒論への取り組み姿勢 (40%)

	その他 (%) /Other	卒業論文の内容 (60%)。なお、ここでいう卒業論文の内容とは、論理性や新規性、ペーパーワークを含む総合的な論文としての質を意味する。
学生へのフィードバック /Feedback		指導時に、適宜フィードバックする。
特記事項 /Note 教務課入力欄		抽選なし/
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄		人関- 1, 2, 3, 4
副専攻 /Minor 教務課入力欄		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	卒業研究の全体の確認	
2	追加分析	
3	卒業論文の執筆 (1) 序論	
4	卒業論文の執筆 (2) 方法	
5	卒業論文の執筆 (3) 結果	
6	卒業論文の執筆 (4) 考察	
7	卒業論文の執筆 (5) 資料の作成	
8	卒業論文の修正 (1) 文章表現	
9	卒業論文の修正 (2) 文章の論理性	
10	卒業論文の修正 (3) 図表のレイアウト	
11	卒業論文提出前の最終確認	
12	卒論発表会の準備 (1) ポスター作成	
13	卒論発表会の準備 (2) ポスター修正	
14	卒論発表会の準備 (3) ポスター印刷と総括	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	ICT社会論 / ICT Based Society
コード / Registration Code	GD32-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200GD32
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 国際交流学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	古川 純子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	furukawa@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：国グ-1、国異-グローバル社会コース科目 / 2023年度以降入学者：国際(グ)-2、国際(異)-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/21
副題 / Subtitle	新しい技術が変える経済社会を考える
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	インターネットとデジタル機器などのICT (information and communication technology)がどのように経済と社会、戦争までを変えていくかについて理解し考察します。発信力と表現力のひとつとして、ビデオクリップ（動画）の作成とプレゼンテーションを行います。
授業概要 / Course description	ICTは、21世紀の基本インフラになりつつあります。ICTを活用する経済は、モノではなく知識 (knowledge)が価値の基盤になるでしょう。ICTは確実に経済と社会を変えつつありますが、その変化と理論について最新の議論を行います。パワーポイントや映像資料も用いて講義をします。テーマによってディスカッションや反転授業も行います。 ICT社会では総合的発信力が重要です。そのひとつの技法として、オリジナルのビデオクリップ（動画）の制作（2分）を行います。この動画には、プロジェクト型学習によるしっかりとした調査と研究に基づくアカデミックな内容が求められます。最終レポートに代わるものです。制作した作品はクラス内で鑑賞しみんなで意見交換を行います。Google Classroomを使った資料提示や課題提出、動画制作のためには専門ソフト、PCなど、ICTデバイスを活用します。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 使用しません。授業で用いたパワーポイントは提供されます。 【参考文献】 授業中に適宜紹介します。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、その他(Other)
	その他 ／Other	独自の研究を動画として作成する。それぞれ発表する。

ICTを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	期末課題として動画クリップを作成するので動画作成ソフトや動画再生ソフト、音声合成ソフトなどを用いる。ICT機器とGoogle Classroomを用いた資料共有、課題提出、リアクションペーパーの共有、Jamboardを用いたディスカッションや、議論内容のクラス内での共有、学生へのアンケートなど。

授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time	
単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	前の授業で課題が出された場合は、それを行い授業に臨みます。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	授業で議論されたことを踏まえて、さらに各自ウェブ・サイトやその他の媒体で情報を増強して、次の講義に備えた問題提起を考えます。 【動画作成】動画作成のための自分の研究を進めることも大切です。授業で学んだ動画作成の実践を自宅でも続けましょう。自分が作る側に回ると、ネット上の動画やテレビの画面の見方も変わります。画面の転換の仕方、効果音や音楽の入れ方などに興味を持って情報収集し自分でも使ってみると、工夫次第で様々な表現が可能になります。楽しみながらスキルを得て行きましょう。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	新しい社会の変化を能動的に考え行動しようと思う積極的な受講生を希望します。ビデオクリップ(動画)の作り方は授業中に解説します。方法を知らない履修者も不安を感じる必要はありません。パソコンのOSはWindows、Macどちらでも構いません。PCを持っている人は解説の回に持参することを推奨します。動画の提出はGoogle Classroomで行います。
---	---

評価方法 ／Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	40
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	10
	平常点 (%) /Participation	0
	その他 (%) /Other	(制作した動画のプレゼンテーション) 50
学生へのフィードバック /Feedback	課題が出た場合は授業内で解説します。また、履修者各人に許可を得た上で、リアクションペーパーを教員がまとめ、Google Classroomを介して履修者間で共有します。質問にはそこで回答し、他の履修者の感想や疑問点、それに対する教員からの回答を全員で共有します。時間制限がある講義科目で、教員と履修生との双方向性を維持することができます。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/年度によりグローバル共生副専攻修了要件外となる(詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照)	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	国際-1,3,4,5,6	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	グローバル共生副専攻/国際交流副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	イントロダクション ICTが変える社会 授業計画と課題の説明	
2	ICTの成り立ち PCとインターネットの成立史	
3	コンピューティングの歴史 Web1.0からWeb3.0まで	
4	ビデオクリップの作り方を学ぼう1 研究のしかたと動画ソフトの使い方	
5	フィルターバブル: フィルタリング技術から民主主義を守るか	
6	ビデオクリップの作り方を学ぼう2 著作権について	
7	ビデオクリップの作り方を学ぼう3 動画作品に学ぼう 実際にVIDEOを作ってみよう	
8	知識経済の特徴 ICTは経済をどう変えるのか: 工業経済との差異、公共財、外部性、無料	
9	プラットフォームはなぜ独占化するのか: two-sided economyとネットワーク外部性	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
10	Web3.0 : ブロックチェーンとフィンテック	
11	AIと雇用の未来 : ビッグデータとパーソナルデータの扱い	
12	ICTをめぐる米中技術覇権戦争 : 半導体、サイバーセキュリティー、変わる戦争のかたち	
13	ビデオ発表会1とディスカッション	
14	ビデオ発表会2とディスカッション 理解度確認	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	哲学基礎演習 / Basic Seminar in Philosophy
コード / Registration Code	HA14-01
ナンバリングコード / Numbering Code	110HA14
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 哲学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	佐藤 紀子, 加藤 好光, 加藤 和哉, 上石 学, 長野 美香, 伊豆藏 好美
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	no.sato@u-sacred-heart.ac.jp, kato@u-sacred-heart.ac.jp, kazkato@u-sacred-heart.ac.jp, kamiishi@u-sacred-heart.ac.jp, mnagano@u-sacred-heart.ac.jp, izukura@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 哲学-1 / 2023年度以降入学者: 哲学-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	哲学科での学習の基礎を学ぶ授業です。以下を到達目標とします。 ① 哲学科での学びの方法の基礎を知り、自分の研究テーマを見つける手がかりを得る。 ② 哲学的な思考法、探究法、表現法の基礎を学び、実践する。 ③ 自分の研究成果を発表する / 他の学生の研究発表を聞く経験をする。 ④ 学生同士および教員との交流を深め、自由な哲学的コミュニティを形成する。
授業概要 / Course description	哲学科に進学した2年生を対象とした実践的・実習的な授業です。「哲学的に考える」、「学問的に書く」、「学問的に発表する」ための手ほどきをします。哲学は探究の対象に限定をもちません。哲学の特徴はその扱い方にあります。種々の具体的な課題や実践を通じて、哲学的な発想法、問題の立て方、探究の仕方、文章化の方法などの習得を目指します。この授業は、一方的な講義ではなく、つねに対話的・実践的な要素を含んでおり、受講者には積極的・主体的な参加が求められます。研究の基礎を学ぶことから始まり、レポート作成、ポスター研究発表、哲学カフェを経て、哲学科での学問的な学びの流れを経験します。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 各回の授業内で提示されます。 【参考文献】 各回の授業ごとに提示されます。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,Field Work)、その他(Other)
	その他 ／Other	ポスター研究発表、哲学カフェ

I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	・授業資料の共有、受講者同志の意見交換、教員からのフィードバックなどのためにGoogle Classroomを利用します。

授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time	
単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	・シラバスの授業計画や事前配布資料等を参考に、各回で行われる実習の準備を行ってください。・実習の成果を発表する場が複数回設けられています。成果発表のための準備を行ってください。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	半期2単位を修得するには、25時間以上の事前学習時間が必要になります。詳細は授業内で説明します。
	事後学習の内容 ／Review	・配布された資料や自身による講義ノートなどに基づき、内容が十分に理解できなかった点や新たに疑問をもった点などについて、自主的・積極的に学びを深めてください。・各回で行った実習の成果をみずから確認し、その成果を哲学科の他の科目においてもフィードバックしてください。
	事後学習時間 ／Review (time)	半期2単位を修得するには、25時間以上の事後外学習時間が必要になります。詳細は授業内で説明します。

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は哲学科2年次生の必修科目です。該当者はかならず履修してください。2年次生以外の哲学科生で未履修の学生もかならず履修してください。 ・授業には全回出席することが求められます。欠席した回は、原則として、その回の担当教員から課題が出されるので、早急にその課題に応えるようにしてください(詳細は、欠席者自身が自らその回の担当教員に尋ねること)。 ・実習の成果物は指定された期間にかならず提出してください。 ・PCなどのデバイスを持参する回があります。担当教員の指示に従ってください。 ・Google Classroomを利用します。Sophieに掲示されるGoogle Classroomのクラスコードを確認し、初回授業日までにこの授業のGoogle Classroomのメンバー登録をしてください。
---	--

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	50
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	20
	平常点 (%) /Participation	10 (授業内の発言、哲学カフェや実習での取り組み)
	その他 (%) /Other	20 (ポスター研究発表の成果)
学生へのフィードバック /Feedback	各回の課題に対して、かならずフィードバックがあります。課題や実習の種類により、授業担当者から受講者ひとりひとりに直接指導がある場合と、授業やGoogle Classroomを通じて全体にフィードバックがある場合とに分かれます。レポート作成後は担当教員による添削と指導があります。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし/排他：HA13「哲学入門Ⅱ」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	哲学－1,4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス：授業の目的、授業の概要、授業の方法、スケジュールの共有	全員
2	文献調査・基本文献紹介	佐藤 紀子
3	レポートの構成・組み立て	加藤 好光
4	哲学の読み（1）要約・パラグラフリーディング	伊豆藏 好美
5	哲学の読み（2）読解・批評・解釈	伊豆藏 好美
6	レポート作成の実践（1）	上石 学
7	レポート作成の実践（2）	上石 学
8	先輩の学び	長野 美香
9	哲学のディスカッション	加藤 和哉

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
10	レポート返却・指導	全員
11	研究発表の方法と準備（１）	佐藤 紀子
12	研究発表の方法と準備（２）	佐藤 紀子
13	ポスター研究発表	全員
14	哲学カフェ	全員

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	メディア教材開発 / Development of Media for Teaching Materials
コード / Registration Code	JE13-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300JE13
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 教育学科
学期 / Semester	2025年度 前期
曜限 / Class Period	他
開講学期 / Semester	集中
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	益川 弘如
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	masukawa@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2021年度以前入学者：教育-8 / 2022年度入学者：教育-8 / 2023年度以降入学者：教育-5

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2025/01/22
副題 / Subtitle	これからの人間の思考と学び
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	ポストコロナ時代、AI技術が加速するSociety5.0社会において、私たち人間の「思考」や「学び」はいかに変わる（変わらない）のでしょうか。また情報技術のさらなる高度化は私たち人間の生き方に何をもたらすのでしょうか。「道具（外界）・身体・心」をキーワードに、これらについて追求していきます。
授業概要 / Course description	本授業では、変わってゆく社会に対してテクノロジーを活用した教育実践に取り組んでいる企業を訪問し、さまざまな体験活動を通じた上で、取り組みの現状と将来の教育を予測、リアルとオンラインの境目がなくなっていく社会においてわたしたち「人間」はいかにあるべきか、教育はどう考えていったらよいのか、(より賢くなれるのか、道具に消費され学ばなくなるのか、どうしていったら良いのか)を考えていく。その検討結果は、提案プレゼンとして、訪問企業にフィードバックしていく。
テキスト・参考文献 / Textbooks	適宜、紹介・配布します。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	

I C Tを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Google Classroomを活用して情報の相互共有などを実現する。

授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time	本授業は集中講義です。実際に訪問して体験したり調査を行います。そのため、主体的な参加とチームによるプロジェクトへの積極的関与が求められます。
--	--

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	訪問予定の企業について開催前に連絡するためそれらを調べる
	事前学習時間 /Preparation (time)	授業を進めていく上で理解するために必要な時間
	事後学習の内容 /Review	授業で扱ったプロジェクトの残りの活動を行う
	事後学習時間 /Review (time)	次回までに必要なプロジェクトの課題を達成するために必要な時間

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	フィールドワークにおける企業の訪問先は東京都内を予定しています。
---	----------------------------------

評価方法 /Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0%
	レポート (%) /Final paper	40%
	小テスト (%) /Quizzes	0%
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0%
	185	

平常点 (%) /Participation	グループワークへの参加、プレゼンテーションの発表 (30%)
その他 (%) /Other	フィールドワークでの活動 (30%)

学生へのフィードバック /Feedback	Googleクラスルームを活用する。
特記事項 /Note 教務課入力欄	削除不可科目抽選/
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	教育-2,3,4,5,6,7
副専攻 /Minor 教務課入力欄	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション	
2	現状を把握し課題の焦点化	
3	研究文献に触れて仮説の設定	
4	最新技術の体験1 (訪問・対面)	
5	最新技術の体験2 (訪問・対面)	
6	最新技術の体験3 (訪問・対面)	
7	最新技術の体験4 (訪問・対面)	
8	訪問の振り返り	
9	訪問を踏まえた研究文献との関連付け	
10	訪問を踏まえた提案プレゼンの作成	
11	提案プレゼンのリハーサル	
12	訪問を踏まえた提案プレゼンの完成	
13	提案プレゼンの発表	
14	訪問先からの講評ならびに振り返り	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	心理学統計法 / Psychological Statistics
コード / Registration Code	LK33-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200LK33
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 5
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	石黒 千晶
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2年次 / 2023年度以降入学者：心理-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/22
副題 / Subtitle	記述統計学と確率分布
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理学で必要とされる統計学の基礎となる記述統計学と確率分布について理解し、推測統計に橋渡しする知識を獲得することを目標とする。
授業概要 / Course description	<p>統計学は人や社会についてデータをもとにして理解する上で欠かせない。本講義ではヒトの心の仕組みを知ろうとする学問である心理学で、統計学がどのように活用されるのかを学ぶ。心理学を学ぶ2年生を対象として、(1)心理データの特徴をわかりやすく表現し、要約する記述統計を学び、使えるようにする。また、推測統計の入り口として(2)母集団と標本について理解し、確率分布についての知識を獲得する。さらに、(3)推測統計の基礎となる統計的仮説検定についても学ぶ。</p> <p>心理統計からデータを元にした思考法を身につけ、楽しんでもらうことが本講義の願いである。そのため、授業では講義のみではなく、受講生がデータの取り扱いや統計的なアプローチについて自分の言葉で語るができるようになることを目指す。その取り組みとして、毎回の授業は講義の時間は最小限として、ペア・グループ活動によって進める。</p> <ol style="list-style-type: none">1：復習テスト（前回の講義の内容について簡単な小テストを行う）2：講義（当該授業の章について教員が解説する）3：ペアシェア活動（講義内容をペアになって説明し合う） <p>なお、中間・期末テスト・発表の授業でもテストの後の時間にエキスパート活動と</p>

呼ばれるグループ発表を行ってもらう予定である。エキスパート活動では、グループに分かれ、各講義に関する授業内容を担当者がプレゼンし、その内容をチームメンバー同士で評価する。

**テキスト・参考文献
/Textbooks**

教科書：「数学が苦手でもわかる心理統計法入門：基礎から多変量解析まで」芝田 征司(2017), サイエンス社
→文系にもわかりやすい、数式が最小限で図解がわかりやすい心理統計の良書。4年生まで使用可能。
参考書ほか：「統計で転ばぬ先の杖」島田めぐみ・野口裕之 (2021). ひつじ書房

**アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
/Use of Active Learning Methods**

活用される授業手法 /Teaching Methods	反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、その他(Other)
その他 /Other	講義内容をペアで説明し合ったり、ディスカッションする時間を設ける。その他、講義内容を事前にスライドや動画でシェアするので、予習や復習、エキスパート活動に役立ててほしい。

**ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction with ICT**

実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
内容 /Content	

**授業時間外の学習(準備学習・復習等)
/Out-of-Class Study Time**

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

**授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time**

事前学習の内容 /Preparation	教科書の指定ページを読む
事前学習時間 /Preparation (time)	30分程度×14回
事後学習の内容 /Review	スライドや動画での復習
事後学習時間 /Review (time)	30分程度×14回

**その他、履修上の注意事項や特記事項
/To be noted**

授業では簡単な計算も行う。スマートフォンなどの機能を用いていいので、手元で数値をどのように計算できるか実感してほしい。また、中間・期末テストでは電卓を使用する。試験までに平方根の計算までができる電卓を購入しておいてほしい。なお、授業中に他の受講生の迷惑になることはしない。見つけた場合には減点などの厳しい対応を取る場合がある。

**評価方法
/Evaluation**

**評価方法
/Evaluation**

試験 (%) /Exam	40%(中間・期末テスト)
188	

レポート (%) /Final paper	20% (中間・期末のエキスパート活動)
小テスト (%) /Quizzes	30%(小テスト)
リアクションペーパー (%) /Response sheet	5%(課題提出)
平常点 (%) /Participation	5%(授業態度)
その他 (%) /Other	0%

学生へのフィードバック
/Feedback

試験、小テストや課題の結果をフィードバックし、解説も行う。

特記事項
/Note

教務課入力欄

抽選なし/排他：LK32「心理統計法Ⅰ」

ディプロマ・ポリシーナンバー
/Diploma Policy Number

教務課入力欄

心理-2,4

副専攻
/Minor

教務課入力欄

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス：なぜ心理学で統計法が必要か？	
2	心理統計の基礎（尺度水準）	
3	記述統計1：（度数分布・ヒストグラム）	
4	記述統計2：代表値（平均値、中央値、最頻値）	
5	記述統計3：散布度（分散と標準偏差、尖度・歪度）	
6	尺度変換・標準化	
7	中間テスト・発表	
8	確率分布1：離散変数の分布	
9	確率分布2：連続変数の分布（正規分布）	
10	確率分布3：連続変数の分布（正規分布と統計的検定）	
11	統計的仮説検定	
12	2変数の記述統計1：間隔尺度間の関係（相関）	
13	2変数の記述統計2：順序・名義尺度の連関	
14	期末テスト・発表	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	基礎情報処理技法 A / Introduction to Information Processing Technology
コード / Registration Code	LK11-01
ナンバリングコード / Numbering Code	220LK11
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2
授業形態 / Type of class	講義・実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	久保田 桂子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	kkubota@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2年次 / 2023年度以降入学者：心理-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/13
副題 / Subtitle	心理学データ処理の基礎
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理学の実験や調査などによって得られたデータを表計算ソフト（Excel）で分析し、表やグラフを作成できるようになること、統計解析ソフトで基礎的な統計処理を行えるようになること、そしてそれらの結果を文書作成ソフト（Word）やプレゼンテーションソフト（Power Point）で適切に表現できるようになることを目標とする。
授業概要 / Course description	研究データの集計、解析、文書化、発表など、研究をまとめる一連の行程にはコンピュータを操作する能力が必須である。本授業では、実際にコンピュータを操作することを通し、研究をまとめる上で必要な技術を学習する。 （*基礎情報処理技法A・B・Cは同一内容であり、心理学科の2年次が3グループに分かれて履修する。） なお、この科目は心理学科カリキュラムマップでは「心理2年次」に位置づけられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 オリジナルの冊子と以下の文献を配布する。 小宮あすか・布井雅人（2018）, Excelで今すぐはじめる心理統計－簡単ツールHADで基本を身につける－ 講談社 上記とは別に、自習用に心理統計法の基礎的な解説書を随時参照することを勧める。 190 【参考文献】 適宜指示す

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	

I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業前に授業の該当部分についてテキストに目を通しておくこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	30分×14回
	事後学習の内容 ／Review	授業後は、授業で扱わなかったデータを用いて、授業で学んだ統計処理を再度行い、知識の定着をはかること。
	事後学習時間 ／Review (time)	170分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	資料や授業中に使用するデータは、Classroomを通じてオンラインで提示する。授業前の確認を怠らないこと。
---	--

評価方法 ／Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	70
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	20
	平常点 (%) ／Participation	191 10 (授業外の予習復習や振り返り)

	その他 (%) /Other	0
--	-------------------	---

学生へのフィードバック /Feedback	リアクションペーパーにあった質問等に対し、次回授業時に回答を行う。
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	心理-2
副専攻 /Minor 教務課入力欄	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Excelの基本操作・「ミューラー・リヤアの錯視」データ処理	久保田 桂子
2	OfficeとWordの基本操作・Officeソフトウェアを使いこなす	久保田 桂子
3	パーソナルコンピュータの基礎・調査データの収集	久保田 桂子
4	質的変数の度数の計算	久保田 桂子
5	量的変数の度数の計算	久保田 桂子
6	代表値と散布度の計算・グラフの作成	久保田 桂子
7	統計的検定の手順・実験計画と分析方法	久保田 桂子
8	レポート課題1の作成	久保田 桂子
9	相関 - Pearsonの積率相関係数 -	久保田 桂子
10	t検定 - 2つの平均値の差の検定 -	久保田 桂子
11	Power Pointの基本操作・グループ発表の準備	久保田 桂子
12	統計解析ソフトを用いた様々な分析	久保田 桂子
13	レポート課題2の作成	久保田 桂子
14	まとめ・データの標準化・正規分布	久保田 桂子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	基礎情報処理技法 B / Introduction to Information Processing Technology
コード / Registration Code	LK11-02
ナンバリングコード / Numbering Code	220LK11
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2
授業形態 / Type of class	講義・実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	久保田 桂子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	kkubota@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2年次 / 2023年度以降入学者：心理-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/13
副題 / Subtitle	心理学データ処理の基礎
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理学の実験や調査などによって得られたデータを表計算ソフト（Excel）で分析し、表やグラフを作成できるようになること、統計解析ソフトで基礎的な統計処理を行えるようになること、そしてそれらの結果を文書作成ソフト（Word）やプレゼンテーションソフト（Power Point）で適切に表現できるようになることを目標とする。
授業概要 / Course description	研究データの集計、解析、文書化、発表など、研究をまとめる一連の行程にはコンピュータを操作する能力が必須である。本授業では、実際にコンピュータを操作することを通し、研究をまとめる上で必要な技術を学習する。 （＊基礎情報処理技法A・B・Cは同一内容であり、心理学科の2年次が3グループに分かれて履修する。） なお、この科目は心理学科カリキュラムマップでは「心理2年次」に位置づけられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 オリジナルの冊子と以下の文献を配布する。 小宮あすか・布井雅人（2018）, Excelで今すぐはじめる心理統計－簡単ツールHADで基本を身につける－ 講談社 上記とは別に、自習用に心理統計法の基礎的な解説書を随時参照することを勧める。 【参考文献】 適宜指示す

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	

I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業前に授業の該当部分についてテキストに目を通しておくこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	30分×14回
	事後学習の内容 ／Review	授業後は、授業で扱わなかったデータを用いて、授業で学んだ統計処理を再度行い、知識の定着をはかること。
	事後学習時間 ／Review (time)	170分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	資料や授業中に使用するデータは、Classroomを通じてオンラインで提示する。授業前の確認を怠らないこと。
---	--

評価方法 ／Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	70
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	20
	平常点 (%) ／Participation	194 10 (授業外の予習復習や振り返り)

	その他 (%) /Other	0
--	-------------------	---

学生へのフィードバック /Feedback	リアクションペーパーにあった質問等に対し、次回授業時に回答を行う。
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	心理-2
副専攻 /Minor 教務課入力欄	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Excelの基本操作・「ミューラー・リヤアの錯視」データ処理	久保田 桂子
2	OfficeとWordの基本操作・Officeソフトウェアを使いこなす	久保田 桂子
3	パーソナルコンピュータの基礎・調査データの収集	久保田 桂子
4	質的変数の度数の計算	久保田 桂子
5	量的変数の度数の計算	久保田 桂子
6	代表値と散布度の計算・グラフの作成	久保田 桂子
7	統計的検定の手順・実験計画と分析方法	久保田 桂子
8	レポート課題1の作成	久保田 桂子
9	相関 - Pearsonの積率相関係数 -	久保田 桂子
10	t検定 - 2つの平均値の差の検定 -	久保田 桂子
11	Power Pointの基本操作・グループ発表の準備	久保田 桂子
12	統計解析ソフトを用いた様々な分析	久保田 桂子
13	レポート課題2の作成	久保田 桂子
14	まとめ・データの標準化・正規分布	久保田 桂子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	基礎情報処理技法 C / Introduction to Information Processing Technology
コード / Registration Code	LK11-03
ナンバリングコード / Numbering Code	220LK11
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2
授業形態 / Type of class	講義・実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	久保田 桂子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	kkubota@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2年次 / 2023年度以降入学者：心理-1

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/13
副題 / Subtitle	心理学データ処理の基礎
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理学の実験や調査などによって得られたデータを表計算ソフト（Excel）で分析し、表やグラフを作成できるようになること、統計解析ソフトで基礎的な統計処理を行えるようになること、そしてそれらの結果を文書作成ソフト（Word）やプレゼンテーションソフト（Power Point）で適切に表現できるようになることを目標とする。
授業概要 / Course description	研究データの集計、解析、文書化、発表など、研究をまとめる一連の行程にはコンピュータを操作する能力が必須である。本授業では、実際にコンピュータを操作することを通し、研究をまとめる上で必要な技術を学習する。 （*基礎情報処理技法A・B・Cは同一内容であり、心理学科の2年次が3グループに分かれて履修する。） なお、この科目は心理学科カリキュラムマップでは「心理2年次」に位置づけられている。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 オリジナルの冊子と以下の文献を配布する。 小宮あすか・布井雅人（2018）, Excelで今すぐはじめる心理統計－簡単ツールHADで基本を身につける－ 講談社 上記とは別に、自習用に心理統計法の基礎的な解説書を随時参照することを勧める。 196 【参考文献】 適宜指示す

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	実習、フィールドワーク (Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	

I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業前に授業の該当部分についてテキストに目を通しておくこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	30分×14回
	事後学習の内容 ／Review	授業後は、授業で扱わなかったデータを用いて、授業で学んだ統計処理を再度行い、知識の定着をはかること。
	事後学習時間 ／Review (time)	170分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	資料や授業中に使用するデータは、Classroomを通じてオンラインで提示する。授業前の確認を怠らないこと。
---	--

評価方法 ／Evaluation	
-----------------------------------	--

評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	70
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	20
	平常点 (%) ／Participation	197 10 (授業外の予習復習や振り返り)

その他 (%) /Other	0
--------------------------	---

学生へのフィードバック /Feedback	リアクションペーパーにあった質問等に対し、次回授業時に回答を行う。
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	心理-2
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	Excelの基本操作・「ミューラー・リヤアの錯視」データ処理	久保田 桂子
2	OfficeとWordの基本操作・Officeソフトウェアを使いこなす	久保田 桂子
3	パーソナルコンピュータの基礎・調査データの収集	久保田 桂子
4	質的変数の度数の計算	久保田 桂子
5	量的変数の度数の計算	久保田 桂子
6	代表値と散布度の計算・グラフの作成	久保田 桂子
7	統計的検定の手順・実験計画と分析方法	久保田 桂子
8	レポート課題1の作成	久保田 桂子
9	相関 - Pearsonの積率相関係数 -	久保田 桂子
10	t検定 - 2つの平均値の差の検定 -	久保田 桂子
11	Power Pointの基本操作・グループ発表の準備	久保田 桂子
12	統計解析ソフトを用いた様々な分析	久保田 桂子
13	レポート課題2の作成	久保田 桂子
14	まとめ・データの標準化・正規分布	久保田 桂子

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	心理学データ解析実習 1 / Psychological Data Analysis 1
コード / Registration Code	LC16-01
ナンバリングコード / Numbering Code	320LC16
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	火 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	下迫 晴加
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	h.shimosako@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2 / 2023年度以降入学者：心理-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/10	
副題 / Subtitle		
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理統計の基本的な知識を確認した上で、統計的仮説検定の考え方をしっかりと学び、相関係数や平均の差を検定する分析法について実際のデータ分析が可能となるレベルを目指す。 レポートや卒業論文において自分が扱うデータの性質を見極め、適切に分析し結果を記述できるようになることを目標とする。	
授業概要 / Course description	配布資料に基づく講義と、ExcelやHAD, SPSSなどを用いたデータ分析の実習を行う。 毎回授業の最後に課題を提出してもらう。	
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 資料を配布する。 【参考文献】 森敏昭・吉田寿夫（編著） 心理学のためのデータ解析テクニカルブック 北大路書房	
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods	実習、フィールドワーク (Practicum, FieldWork)
	その他 / Other	199

ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	Googleフォームを使用してデータを集め、分析する

授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time		
<p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	これまでに学んだ心理統計の内容をよく理解しておく
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 /Review	前回の課題ができるようによく復習しておく
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	授業を聞いてわからなかった点、課題に取り組んで生じた疑問などが少しでもあれば、積極的に質問して欲しい。
-----------------------------------	---

評価方法 /Evaluation	
---------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	70
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	授業中の発言 : 10
	その他 (%) /Other	授業後の課題 : 20

学生へのフィードバック /Feedback	課題にコメントをつけて返却する
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし（※4/5登録種別が変更になりました）／排他：LA12「計量心理学特講2」
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	心理-2
副専攻 /Minor 教務課入力欄	

授業計画詳細情報

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
1	重要な統計用語の確認	
2	データの整理と要約	
3	2つの変数の関係，クロス表，相関係数	
4	統計的仮説検定の考え方，相関係数に関する検定	
5	対応のない t 検定	
6	対応のある t 検定	
7	図表の作成，t 検定のまとめ	
8	1 要因の分散分析：対応のない場合	
9	1 要因の分散分析：多重比較	
10	1 要因の分散分析：対応のある場合	
11	2 要因の分散分析：対応のない場合	
12	2 要因の分散分析：単純主効果検定と多重比較	
13	2 要因の分散分析：混合計画と対応のある場合	
14	全体のまとめと試験	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	心理学データ解析実習 2 / Psychological Data Analysis 2
コード / Registration Code	LC17-01
ナンバリングコード / Numbering Code	220LC17
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	他
開講学期 / Semester	集中
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	大谷 智子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	t.otani@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-2 / 2023年度以降入学者：心理-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/22
副題 / Subtitle	推測統計法入門編
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	心理学は、観察、実験、調査、検査などの手法を用いて、人間そのものを科学的に解明しようと研究している学問である。この解明に必要な心理統計法の基本的な知識を学ぶ。 本講義の到達目標は、推測統計を中心とした統計学の概念を理解し、データを分析できる力を身につけることである。
授業概要 / Course description	本講義は、推測統計学と呼ばれる分野の中心となる検定について、基礎的な検定用語に親しみ、検定の原理や手順を理解することを目的とする。 授業は、事例を交えながら講義形式で実施する。 また、体験を通じて学びを深める。具体的には、習った知識を基に、自分たちで実験を計画したり、取得したデータをつかって分析をしたりする。
テキスト・参考文献 / Textbooks	テキストの指定はないが、以下に参考となる書籍を挙げる。 【参考文献】 村井潤一郎・柏木恵子（著）（2008）。「ウォームアップ心理統計」 東京大学出版会 吉田寿夫（著）（1998）。「本当のわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本」 北大路書房 中原治（著）（2022）。「基礎から学ぶ統計学」 羊土社 山上暁・倉智佐一（編）（2003）。「新版 要説心理統計法」 北大路書房

高野陽太郎・岡隆（編）（2017）. 「心理学研究法 増訂版」 有斐閣
 南風原朝和（著）（2002）. 「心理統計学の基礎—統合的理解のために」 有斐閣
 森敏昭・吉田寿夫（編著）（1990）. 「心理学のためのデータ解析テクニカルブック」 北大路書房

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)
	その他 /Other	

ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 /Content	オンラインアンケートシステムを利用したリアクションペーパーにおいて 質問があった場合は、翌回の講義冒頭もしくは個人宛にフィードバックする。

授業時間外の学習（準備学習・復習等） /Out-of-Class Study Time	
単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習（準備学習・復習等）が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください	

授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	前回までの講義内容について、資料等を読み復習する。
	事前学習時間 /Preparation (time)	事後学習と合わせて計50時間以上の学習が必要となる
	事後学習の内容 /Review	小課題に取り組む
	事後学習時間 /Review (time)	事前学習と合わせて計50時間以上の学習が必要となる

その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	心理学統計法（記述統計学）を学んだ学生を対象とする。 授業の進捗・理解度等により、講義内容を変更することもある。 毎回講義後に、リアクションペーパー/フォームの提出を課する。 自分たちで実験・調査計画・データの解析をした結果を講義内で発表してもらう。 この発表は、試験と併せて総合的に評価する。
--	---

評価方法 /Evaluation	
----------------------------	--

評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	65
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	2030

リアクションペーパー (%) /Response sheet	35
平常点 (%) /Participation	0
その他 (%) /Other	0

学生へのフィードバック /Feedback	リアクションペーパー/フォームに書かれていた質問に対し、翌回講義冒頭で回答する。
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし（4/5登録種別が変更になりました） / 排他：LA14「計量心理学特講4」
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	心理-2
副専攻 /Minor 教務課入力欄	

授業計画詳細情報

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
1	【8/26 (月) 2限】 イントロダクション（記述統計学の復習，推測統計学とは何か） 統計的検定の基本的考え方（1）：統計的検定，研究（対立）仮説，帰無仮説，有意水準など	
2	【8/26 (月) 3限】 統計的検定の基本的考え方（2）：得られたデータを分析する準備	
3	【8/26 (月) 4限】 実験を計画する（1）：習ったことを基に，実験を計画する	
4	【8/27 (火) 2限】 データを分析する（1）：対応のないt検定	
5	【8/27 (火) 3限】 データを分析する（2）：対応のあるt検定	
6	【8/27 (火) 4限】 実験を計画する（2）：計画した実験や調査を見直し，適切な分析を選択する	
7	【8/28 (水) 2限】 データを分析する（3）：対応のない1要因分散分析	
8	【8/28 (水) 3限】 データを分析する（4）：対応のある1要因分散分析，2要因分散分析の考え方への橋渡し	
9	【8/28 (水) 4限】 実験を計画する（3）：取得したデータをつかって分析を試みる	
10	【8/29 (木) 2限】 データを分析する（5）：ノンパラメトリック検定（1）	
11	【8/29 (木) 3限】 データを分析する（6）：ノンパラメトリック検定（2）	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
12	【8/29（木）4限】様々な分析：予測し，説明する，整理する	
13	【8/30（金）2限】実験結果を伝える	
14	【8/30（金）3限】期末考査とまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	発達・認知心理学特講 5 / Developmental and Cognitive Psychology 5
コード / Registration Code	LN15-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200LN15
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 心理学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	木 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	岡田 浩之
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	hiroyuki.okada@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：心理-1 / 2023年度以降入学者：心理-2

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/02/18
副題 / Subtitle	人の「成長と変化」及び「思考と認識」の関連を学ぶ
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	発達心理学及び認知心理学の基本的な手法について、それらの研究の始まりから現在に至るまでの、歴史、手法の変遷、応用面での評価を具体的な事例を元に説明することができるようになる。
授業概要 / Course description	<p>本講義では人間の心と行動について異なる側面からアプローチする、心理学の二つの主要な分野である、発達心理学と認知心理学について学ぶ。</p> <p>発達心理学は、人間の成長と発達に焦点を当てた心理学の分野であり、この分野では、生涯にわたる発達段階を通じて、身体的、認知的、社会的、感情的な成長と変化を対象にする。</p> <p>認知心理学は、人間の認識プロセスに焦点を当てた心理学の分野であり、知覚、記憶、思考、問題解決、言語、意思決定などの内的プロセスが含まれる。認知心理学者は、人間がどのように情報を処理し、それを使って世界を理解し、新しい知識を学び、経験から学習するかについてを対象とする。</p> <p>発達心理学と認知心理学はしばしば非常に深く関連する。たとえば、子どもの認知発達は発達心理学的研究の一環として扱われることが多く、成人の認知プロセスの変化もまた、発達の観点から研究される。これらの分野の研究は、教育の方法論、治療的介入、高齢化社会の課題への対応など、実際の応用において互いに補完し合っている。</p>

<p>テキスト・参考文献 /Textbooks</p>	<p>参考文献は授業内で適宜紹介するが、より深く学びたい履修生は以下の文献を推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新 人が学ぶということ：認知学習論からの視点」今井むつみ、野島久雄、岡田浩之著、北樹出版 ・「教養としての認知科学」鈴木宏昭著、東京大学出版会 	
<p>アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 /Use of Active Learning Methods</p>	<p>活用される授業手法 /Teaching Methods</p>	<p>ディスカッション、ディベート (Discussion&comma;Debate)</p>
	<p>その他 /Other</p>	
<p>ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT</p>	<p>実施の有無 /Does this apply to your course?</p>	<p>実施しない(No)</p>
	<p>内容 /Content</p>	
<p>授業時間外の学習 (準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time</p> <p>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習 (準備学習・復習等) が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</p>		
<p>授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time</p>	<p>事前学習の内容 /Preparation</p>	<p>配布する資料 (スライド、レジュメ等) の熟読。</p>
	<p>事前学習時間 /Preparation (time)</p>	<p>100分X14回分</p>
	<p>事後学習の内容 /Review</p>	<p>授業中のメモの整理と疑問点を関連図書等により解消する。</p>
	<p>事後学習時間 /Review (time)</p>	<p>100分X14回分</p>
<p>その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted</p>	<p>配布する資料 (スライド、レジュメ等) を十分の熟読して授業に臨んでください。</p>	
<p>評価方法 /Evaluation</p>		
<p>評価方法 /Evaluation</p>	<p>試験 (%) /Exam</p>	<p>90</p>
	<p>レポート (%) /Final paper</p>	<p>0</p>
	<p>小テスト (%) /Quizzes</p>	<p>207 0</p>

リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
平常点 (%) /Participation	(授業中の発言、質問等の積極的発言) 10
その他 (%) /Other	0

学生へのフィードバック /Feedback	メール等によるフィードバックを随時実施する。
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	心理-1
副専攻 /Minor 教務課入力欄	心理学副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	ガイダンス ・講義内容、講義要領、講義日程などの説明 ・発達・認知心理学で学ぶこと	岡田 浩之
2	感覚と知覚(1) 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚などの主要な感覚の認知発達	岡田 浩之
3	感覚と知覚(2) 私たちが経験する知覚の現実の複雑な解釈の発達	岡田 浩之
4	記憶と学習(1) 記憶形成と脳における情報処理過程	岡田 浩之
5	記憶と学習(2) 記憶の保持と利用。虚偽の記憶、類推	岡田 浩之
6	問題解決と意思決定(1) 思考とその図式と推論の領域固有性	岡田 浩之
7	問題解決と意思決定(2) 思考のバイアス。人の認知・思考等の機序及びその障害	岡田 浩之
8	乳児の能力と発達	岡田 浩之
9	子どもの才能はいつ決まるのか?	岡田 浩之
10	AI・ロボティクスと発達・認知心理学 人を知るためのAI・ロボティクス	岡田 浩之
11	心身の発達とAI・ロボティクス 人間が身体を持つことと知能の発達	岡田 浩之
12	知能の進化・発達・学習 量的AIから質的AIへ	岡田 浩之

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	AI・ロボティクスはどこまで人に近づいたか	岡田 浩之
14	試験と振り返り	岡田 浩之

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	グローバル共生総合演習 / Capstone Seminar in Sustainable Futures
コード / Registration Code	AS86-01
ナンバリングコード / Numbering Code	410AS86
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉原 真晃, 上石 学, 岩田 一成, 神田 和可子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	msugihara@u-sacred-heart.ac.jp, kamiishi@u-sacred-heart.ac.jp, iwata@u-sacred-heart.ac.jp, wakako.kanda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者: 全学-7 / 2023年度以降入学者: 全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/21
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>テーマ: グローバル共生副専攻のさまざまな科目を通して学んできたことを基盤に、本副専攻の総まとめ (Capstone) として、グローバル共生研究所と一緒に「グローバル共生」に関連する探究やプロジェクトを進めていきます。そして、その探究・プロジェクトにおいて多様な情報・データを収集・分析し、考察を深めます。同時に探究・プロジェクトでの学びを振り返り、本副専攻の集大成として発表・展示などを行います。</p> <p>本科目の目標は、主に次の2点です。</p> <p>(1) これまで「グローバル共生副専攻」で学んだ知識・技能、情報を収集し分析する力、多角的に考える力、自律的に課題に取り組む姿勢等を総合的に活用しながら、グローバル課題の解決を目指した探究・プロジェクトを主体的・協働的に遂行する。</p> <p>(2) これまでの自らの人生を振り返り、これからの自らの生き方を創造し、今後の社会における自らの貢献可能性について深く考察する。</p>
授業概要 / Course description	<p>本授業は、グローバル共生副専攻のさまざまな科目を通して学んできたことを基盤に、本副専攻の学びの集大成 (Capstone) として、半年間をかけて探究やプロジェクトを実践していく、PBL型授業です。探究やプロジェクトのテーマは、履修生とグローバル共生研究所員とで話し合い、決定します (たとえば、グローバルプラザ内BE*hiveの案内人やワ210ショップ実施の手ほどき等)。そして、探究・プロジェクトの企画・実践に必要な先行知見を文献資料等で確認しながら、探究・プ</p>

プロジェクトを充実させていきます。その際は、必要に応じて、グローバル共生研究所所員や探究・プロジェクト推進に必要な専門家による指導を仰ぎ、探究・プロジェクトがより良いものとして、社会的インパクトのあるものとして進められるようにします。
最後には探究・プロジェクトの成果をまとめ、自身の学びと成長を振り返り、それを発表します。発表の方法についても、ポスター展示、作品製作・展示、口頭発表、動画発表、演劇等、自分たちで企画運営してきたプロジェクトに相応しい、そしてユニークでクリエイティブな方法を選択します。

テキスト・参考文献
/Textbooks

適宜、紹介いたします。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
/Use of Active Learning Methods

活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,Field Work)
その他 /Other	

ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction with ICT

実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
内容 /Content	Googleフォームを使って受講生の意見を収集し、フィードバックし、学生同士で活動の企画・改善が行えるようにする。Web会議ツールを使用して受講生同士および地域社会の人々との意見交換等を行う。等。

授業時間外の学習(準備学習・復習等)
/Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time

事前学習の内容 /Preparation	関連資料を読む。必要な情報を調べる。学生同士でディスカッションする。地域社会で活動したり情報収集する。等。
事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
事後学習の内容 /Review	学習活動を振り返る。探究やプロジェクトの成果を資料にまとめる。等。
事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
/To be noted

第1回授業において授業概要を説明し、履修者全員とグローバル共生研究所所員とで会議を開き、半年間かけて進める探究・プロジェクトのテーマや内容等について決定します。
学習活動については、授業時間(水曜5限)以外に活動を行うことがあります。受講生のみなさんのご事情を最大限、尊重いたしますが、柔軟に対応していただければと思います。

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	0
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	20
	平常点 (%) /Participation	探究活動やプロジェクトなどへの積極的参加 (40%)
	その他 (%) /Other	探究・プロジェクトの成果発表 (40%)
学生へのフィードバック /Feedback	都度、講評を行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	抽選なし/グローバル共生副専攻の修了要件を満たすための単位を10単位以上修得済であること 【実務経験のある教員による授業科目】 多くの小学校臨時講師、幼稚園教諭等の教育実践を活かした教育学に関する授業 中国・モンゴル自治区での日本語教育、及び国内での在留外国人等への日本語教育の経験を生かした日本語教育に関する授業	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	全学-1,2,3,4,5	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	グローバル共生副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション。授業の概説。グローバル共生研究所の取り組みと研究所員の担当可能テーマの紹介、探究・プロジェクトの検討	岩田、上石、神田、杉原
2	ゼミ担当決定、探究・プロジェクトの詳細の検討、関連資料の検討	岩田、上石、神田、杉原
3	探究・プロジェクトの詳細の検討、関連資料の検討	岩田、上石、神田、杉原
4	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (1)	岩田、上石、神田、杉原
5	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (2)	岩田、上石、神田、杉原
6	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (3)	岩田、上石、神田、杉原
7	中間発表会	岩田、上石、神田、杉原

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
8	中間発表会	岩田、上石、神田、杉原
9	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (4)	岩田、上石、神田、杉原
10	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (5)	岩田、上石、神田、杉原
11	探究・プロジェクトの実践、振り返り・再検討、関連資料の検討 (6)	岩田、上石、神田、杉原
12	探究・プロジェクトのまとめ、最終成果発表会の準備	岩田、上石、神田、杉原
13	最終成果発表会	岩田、上石、神田、杉原
14	最終成果発表会、まとめ・振り返り	岩田、上石、神田、杉原

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	グローバル共生基礎 I / Basic Studies in Sustainable Futures I
コード / Registration Code	AS69-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200AS69
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	神田 和可子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	wakako.kanda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/10
副題 / Subtitle	入門編（2024年度Be*hive開催中の「子ども」展との連携授業）
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>近年は新型コロナウイルスやウクライナ侵攻など予測困難で不確実性の時代と言われ、私たちを取り巻く環境はさまざまな事象が複雑に絡み合って生じています。本授業では私たちが直面している地球規模課題を理解するとともに、履修生一人ひとりがどのように社会と関わりながら今後の歩みを選択していくのか、その課題への応答を具体的な事例を扱いながら検討します。</p> <p>本授業の到達目標は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・地球規模課題を理解する。・情報収集および表現の方法について学ぶ。・グループ活動を通してディスカッションを深める。
授業概要 / Course description	<p>Be*hiveのⅢ期「子どもと希望」（2024年5月27日～10月21日開催予定）展示を活用した授業を実施します。授業内では「子ども」や「希望」がキーワードとなりますが、展示に関連するゲストスピーカーによる講義やワークショップを通して、個別具体的な内容から地球規模課題に共通する概念や事柄、思想などについての理解も深めていきます。</p> <p>授業内では主にグループでの活動（情報収集、事例調査、フィールドワーク、プレゼンテーション）を行い、グループ間でのフィードバックや学び合いの機会を設けます。学びの過程では履修生214人で活発にディスカッションを重ねていくことを期待します。授業最終日は、グループ活動の集大成を発表します。授業で扱ったテ</p>

ーマに関するさらなる調査やフィールドワーク等で得た学びを共有します。最終レポートは授業全14回分の総まとめとして位置づけているため個人ワークとなります。
 なお、グローバル共生研究所が主催するⅢ期「子どもと希望」展示などに関連したイベントへの積極的な参加を奨励します。

**テキスト・参考文献
 /Textbooks**

テキスト：必要に応じて資料および文献等を配布。
 参考文献：S.ディクソン＝デクレープほか著、武内和彦監訳（2022）『Earth for All 万人のための地球―「成長の限界」から50年 ローマクラブ新レポート』丸善出版。その他、授業内で適宜紹介。

**アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
 /Use of Active Learning Methods**

活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion&Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum&Field Work)
その他 /Other	

**ICTを活用した双方向型授業
 /Interactive Instruction with ICT**

実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
内容 /Content	Googleフォームを使用し、事前事後アンケートの実施。Google Classroomを使用し、連絡およびレポートの提出を行う。

**授業時間外の学習(準備学習・復習等)
 /Out-of-Class Study Time**

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

事前学習の内容 /Preparation	資料や文献等の情報収集を積極的に行うこと。
事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
事後学習の内容 /Review	授業内容を振り返り、次回の授業までに整理しておくこと。
事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

**授業時間外の学習
 /Out-of-Class Study Time**

事前学習の内容 /Preparation	資料や文献等の情報収集を積極的に行うこと。
事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
事後学習の内容 /Review	授業内容を振り返り、次回の授業までに整理しておくこと。
事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

**その他、履修上の注意事項や特記事項
 /To be noted**

本授業の履修生は、後期の「グローバル共生基礎Ⅱ」の履修を推奨します。

**評価方法
 /Evaluation**

--	--	--

**評価方法
 /Evaluation**

試験 (%) /Exam	215	0%
----------------------------------	-----	----

レポート (%) /Final paper	40% : 最終レポート
小テスト (%) /Quizzes	0%
リアクションペーパー (%) /Response sheet	10% : Googleフォームによる事前事後アンケート
平常点 (%) /Participation	20% : 授業およびイベントへの積極的な参加
その他 (%) /Other	30% : グループ発表 (情報収集、調査またはフィールドワーク、プレゼンテーション)

学生へのフィードバック /Feedback	個人およびグループワーク実施中、グループ発表毎にコメントを行う。
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選/年度により副専攻修了要件外となる。詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	全学-1,4,5
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>	グローバル共生副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション&イントロダクション: (グローバル共生研究所およびBe*hiveの紹介)、授業内容の説明	神田
2	地球規模課題①「人新世」とは何か	神田
3	地球規模課題②プラネタリーバウンダリーと持続可能な開発目標 (SDGs)	神田
4	Be*hiveの展示Ⅲ期「子どもと希望」の見学およびワークショップ	神田
5	地球規模課題③人権と「子どもの権利条約」	神田
6	リサーチ・デザイン①テーマの選定およびグループ分け、問いの立て方	神田
7	リサーチ・デザイン②計画づくりおよび討論、情報収集	神田
8	ゲストスピーカーの講義	神田
9	リサーチ・デザイン③表現方法および討論	神田
10	調査またはフィールドワーク	神田
11	発表準備	神田
12	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り① 216	神田

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
13	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り②	神田
14	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り③	神田

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	グローバル共生基礎Ⅱ / Basic Studies in Sustainable Futures II
コード / Registration Code	AS70-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200AS70
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 2
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	神田 和可子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	wakako.kanda@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/10			
副題 / Subtitle	リーダー養成編			
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>本授業は前期「グローバル共生基礎Ⅰ」で学んだ方法論や知識を用い、より実践的かつ具体的な授業を実施します。前期で学習した地球規模課題に、いかに身の周りの人を巻き込みながら応答していくのか検討します。</p> <p>本授業の到達目標は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・リーダーの資質や技能を理解する。・アクション・デザインを作成し、実践する。			
授業概要 / Course description	<p>前期に学習した地球規模課題に対し、グループごとにアクション・デザインを作成し、実践を行います。アクションの内容は各グループが選ぶテーマによって研究調査や教育プログラムの作成など課題へ具体的にアプローチしやすい手法を選定します。</p> <p>なお、学内外のイベントや勉強会などへの積極的な参加を奨励します。</p>			
テキスト・参考文献 / Textbooks	テキストおよび参考文献：必要に応じて資料および文献等を配布または紹介。			
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	<table><tr><td>活用される授業手法 / Teaching Methods</td><td>218</td><td>プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、</td></tr></table>	活用される授業手法 / Teaching Methods	218	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、
活用される授業手法 / Teaching Methods	218	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、		

／Use of Active Learning Methods

反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)

その他
／Other

ICTを活用した双方向型授業
／Interactive Instruction with ICT

実施の有無
／Does this apply to your course?

実施する(Yes)

内容
／Content

Googleフォームを使用し、事前事後アンケートの実施。GoogleClassroomを使用し、連絡およびレポートの提出を行う。

授業時間外の学習(準備学習・復習等)
／Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
／Out-of-Class Study Time

事前学習の内容
／Preparation

資料や文献の情報収集、関連するイベントや勉強会等に積極的に参加すること。

事前学習時間
／Preparation (time)

100分×14回

事後学習の内容
／Review

授業内容を振り返り、次回の授業までに整理しておくこと。

事後学習時間
／Review (time)

100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
／To be noted

本授業の履修生は、前期の「グローバル共生基礎Ⅰ」を履修していることが推奨されます。

評価方法
／Evaluation

評価方法
／Evaluation

試験 (%)
／Exam

0%

レポート (%)
／Final paper

40% : 最終レポート

小テスト (%)
／Quizzes

0%

リアクションペーパー (%)
／Response sheet

10% : Googleフォームによる事前事後アンケート

平常点 (%)
／Participation

20% : 授業およびイベントへの積極的な参加

	その他 (%) /Other	30% : グループ発表 (情報収集、調査またはフィールドワーク、プレゼンテーション)
学生へのフィードバック /Feedback	個人およびグループワーク実施中、グループ発表毎にコメントを行う。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/年度により副専攻修了要件外となる。詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-1,4,5	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	グローバル共生副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション&イントロダクション：授業内容の説明	
2	グローバル共生リーダー養成①リーダーとは？	
3	Be*hiveの展示「グローバル共生と聖心の教育」の見学および個人ワーク	
4	グローバル共生リーダー養成②私のきっかけ—物語ること	
5	アクション・デザインづくり①実践したいテーマの選定およびグループ分け、動機づけの設定	
6	アクション・デザインづくり②事例検討および討論	
7	グローバル共生リーダー養成③（ゲストスピーカーの講義）「地球規模課題とローカルコミュニティ」	
8	アクション・デザインづくり③企画案作成および討論	
9	中間発表	
10	Be*hive展示Ⅲ期「子どもと希望」の見学およびワークショップ	
11	実践または発表準備	
12	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り①	
13	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り②	
14	グループ発表、討論、フィードバックおよび振り返り③	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト / Problem-Solving Projects in Local Communities
コード / Registration Code	AU06-01
ナンバリングコード / Numbering Code	200AU06
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	他
開講学期 / Semester	集中
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉原 真晃
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	msugihara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/25
副題 / Subtitle	[連携講座] 日本財団ボランティアセンター「地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト」
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	テーマ：「少子高齢化」「貧困」「環境問題」「まちづくり」「インクルーシブ社会」「プロジェクト」「情報の収集と分析」等。地域コミュニティが抱えるグローバルかつローカルなテーマを取り扱います。 到達目標：地域コミュニティが抱える課題の多面的な理解、自然や人の心を感じる力、問題を発見する力、情報を収集・分析する力、創造力、自律的に取り組む姿勢、社会的責任性等を身に付けることを目標とします。そして、現在の課題だけでなく未来のより良い社会を創りだしていく基盤を身に付けます。
授業概要 / Course description	以下の学習活動（数日間の宿泊を伴う体験型学習）に参加し、諸課題に対し関心を高めるとともに、“Think global, act local”を原則として、自らができること・やりたいことを見出し実践することを目指します。実際の実践コミュニティに参加し現地の生の声・風景・匂い等に「ふれる」ことで、諸課題を肌で感じ、理解が深まります。 ・岩手県陸前高田市でのフィールドスタディへの参加（夏期休暇、あるいは冬期休暇を活用した数日間の宿泊を伴う体験学習） ※受講生の皆さんの都合をふまえて事前・事後の文献調査やミーティング等も実施します。 221 地域社会に関する情報収集・課題分析の後、実際に地域社会に出かけ、五感をまる

ごと使ってその地域の様子を感じ取り、地域の取組を実践し、地域の方々と交流するダイナミックな学びを進めます。
 また、活動を振り返り、地域コミュニティの課題解決のための提案を行う発表会を開催し、現地での体験を自身の人生の中で意味ある経験として言語化するとともに、他の活動・経験との交流により、自身の経験世界をさらに広げる機会を設けます。
 素晴らしい経験となることと思います。

**テキスト・参考文献
 /Textbooks**

随時、紹介します。

**アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
 /Use of Active Learning Methods**

**活用される授業手法
 /Teaching Methods**

プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,Field Work)

**その他
 /Other**

**ICTを活用した双方向型授業
 /Interactive Instruction with ICT**

**実施の有無
 /Does this apply to your course?**

実施する(Yes)

**内容
 /Content**

GoogleスライドやGoogleドキュメント等の協働学習ツール、Google FormやGoogle Classroom等のフィードバックツール等の情報テクノロジーを活用する。

**授業時間外の学習(準備学習・復習等)
 /Out-of-Class Study Time**

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

**授業時間外の学習
 /Out-of-Class Study Time**

**事前学習の内容
 /Preparation**

関係する文献を読んでください。

**事前学習時間
 /Preparation (time)**

100分×14回分

**事後学習の内容
 /Review**

実践参加したことや学んだことを振り返り、自分の考えを深めてください。

**事後学習時間
 /Review (time)**

100分×14回分

**その他、履修上の注意事項や特記事項
 /To be noted**

[4/23(火) 12:40より25番教室(2号館2階)にて] 説明会を行います。説明会においてプログラムの日程や内容についてお知らせします。必ず出席してください。
 諸事情で説明会に参加できない人は、授業担当者(杉原)まで事前にご連絡ください。
 代替の対応をお伝えします。

4/23の説明会への出席の可否²⁰²²かわらず、履修を希望するすべての学生は、以下の2点について本科目の抽選申込期間終了前(3月末~4月6日)までに行っておいて

ください。

(a)

下記Googleドライブにアップロードされた各プログラムの概要・行程（あくまでも「予定」です）について確認しておいてください。

https://drive.google.com/drive/folders/12r1_pRDz-7P4QIWrfZ1BQcB_AvWY2Jwc?usp=sharing

(b)

下記Googleフォームにアクセスし、必要事項を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/dw1tXGazjhyvWDQY6>

なお、Googleドライブにアップロードされた資料にアクセスするためには、大学のアカウント (@u-sacred-heart.ac.jp) とパスワードでUSH-Cloudにログインする必要があります。不明な点、うまくアクセスできない等があれば、積極的に授業担当者に質問してください。

評価方法
/Evaluation

評価方法
/Evaluation

試験 (%) /Exam	0
レポート (%) /Final paper	40
小テスト (%) /Quizzes	0
リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
平常点 (%) /Participation	50 (地域社会への積極的参加)
その他 (%) /Other	発表 (10 %)

学生へのフィードバック
/Feedback

都度、講評を行う。

特記事項
/Note

教務課入力欄

研究室抽選/排他：AS77「グローバル共生研究Ⅶ」；年度によりグローバル共生副専攻修了要件外となる（詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照）

ディプロマ・ポリシーナンバー
/Diploma Policy Number

教務課入力欄

全学-1,2,6,7

副専攻
/Minor

教務課入力欄

グローバル共生副専攻

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	プロジェクトの理解、日程調整、プロジェクトに関連する資料の検討	
2	プロジェクトに関連する資料の検討、意見交換	223

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
3	プロジェクトの実践(1)	
4	プロジェクトの振り返り、関連する資料の検討(1)	
5	プロジェクトの実践(2)	
6	プロジェクトの振り返り、関連する資料の検討(2)	
7	プロジェクトの実践(3)	
8	プロジェクトの振り返り、関連する資料の検討(3)	
9	プロジェクトの実践(4)	
10	プロジェクトの振り返り、関連する資料の検討(4)	
11	プロジェクトの実践(5)	
12	プロジェクトの振り返り、関連する資料の検討(5)	
13	発表会の準備	
14	発表会、まとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	地球規模課題を探究する / Exploring Global Issues
コード / Registration Code	AU11-01
ナンバリングコード / Numbering Code	300AU11
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	火 5
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	講義
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	井澤 友郭
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	tomohiro.izawa@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/25
副題 / Subtitle	BE * hive展示「子どもと不条理：それでも世界は生きるに値する」からの学び
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	<p>○授業のテーマ 私たち人間は、なぜ戦争や争いをやめられないのでしょうか？ 戦争は大人の作った世界の不条理そのものであり、子どもはその犠牲者であると同時に、その中で生きる力や希望を持つ存在でもあります。</p> <p>本授業では、聖心グローバルプラザBE * hive展示室で開催する「子どもと不条理：それでも世界は生きるに値する」のアート作品や資料を通して、戦争が子どもたちに与えた影響や彼らが抱いた感情や思いを感じ取り、「人はなぜ戦争を繰り返すのか」という正解のない問いに一緒に向き合っていきます。</p> <p>プログラムは「子どもと不条理：それでも世界は生きるに値する」をテーマに学内外のゲスト講師による講義やワークショップ型授業（アート作品の対話型鑑賞、問いづくりワークショップなど）を受講するだけでなく、グループでBE * hive展を活用した対話型鑑賞のワークショッププログラムを考え、相互に実施、評価をするPBL型授業です。</p> <p>○到達目標 「子どもと不条理：それでも世界は生きるに値する」に関するアート作品の講義や対話型鑑賞を体験するだけでなく、自分たちでプログラムをデザインし進行するこ</p>

とで、戦争の不条理と人間の本性や歴史・社会・文化・倫理などについて深く考える能力や、問いをつくる力、創造性や協働性、ファシリテーション力を育みます。

授業概要
/Course description

本授業は「人はなぜ戦争を繰り返すのか」という問いを中心に、進めていきます。しかし授業の目的は、担当者が用意した問いに皆さんが答え続けることでも、正解を覚えることでもありません。たった一つの正解のない地球規模の課題に対して、常に問い続ける態度とスキルを身につけることを目的とします。

授業の前半は「子どもと不条理：それでも世界は生きるに値する」をテーマに学内外のゲスト講師による講義やワークショップ型授業（アート作品の対話型鑑賞、問いづくりワークショップなど）を受講します。対話型鑑賞とは、アート作品を見てその中で起こっていることに対して想像力を働かせて物語を想像したり、自分の感想や解釈を他者と共有したりすることで、思考力や伝える力、問う力を高める鑑賞法です。

展示されている作品や資料、作者や活動をされている人の講義を通して、戦争が子どもたちに与えた影響や彼らが抱いた感情や思いを感じ取り、戦争の不条理について考えることを狙いとします。

授業の後半は、対話型授業のつくり方やファシリテーション手法について学んだ上で、グループでBE*hive展を活用した対話型鑑賞のワークショッププログラムを考え、そのプログラムを相互に実施し、評価をしていきます。

テキスト・参考文献
/Textbooks

参考文献は授業内やGoogle Classroomを活用して資料を配布します。ワークショップ設計のテキストとして『「問う力」が最強の思考ツールである』（井澤 友郭、フォレスト出版）を使用する予定です。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
/Use of Active Learning Methods

活用される授業手法
/Teaching Methods

プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)

その他
/Other

ICTを活用した双方向型授業
/Interactive Instruction with ICT

実施の有無
/Does this apply to your course?

実施する(Yes)

内容
/Content

ラーニングプラットフォームを活用した意見の投稿、授業設計

授業時間外の学習(準備学習・復習等)
/Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
/Out-of-Class Study Time

事前学習の内容
/Preparation

授業は担当者や学内外のゲスト講師による講義、グループディスカッション、作品制作と実施により構成される。登壇されるゲスト講師の事前課題に目を通したり、関連記事などを事前に読んでおくこと。

事前学習時間
/Preparation (time)

100分×14回

事後学習の内容
/Review

226

チームでワークショッププログラムの作品制作をする際に、Google Classroomなどを活用し

		てふりかえりや成果物制作の準備などをしてもらいます。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	<p>(1) ディスカッションなどチームによる学習活動を行うため積極的な授業参加を期待します。チーム編成は数回変える予定。</p> <p>(2) ワークショッププログラムの制作だけでなく、学内外のゲスト講師による講義もグループディスカッションを行います。正解を探すのではなく自身の考えを伝え、まわりの人々の考えに積極的に関わり共にアイデアを生み出す姿勢が求められます。</p>	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	なし
	レポート (%) /Final paper	平常点参照
	小テスト (%) /Quizzes	なし
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	平常点参照
	平常点 (%) /Participation	平常点 (55%) : 授業参加度 (振り返りシート、課題提出、イベント参加含む)
	その他 (%) /Other	学生設計による作品 (45%) : 授業テーマに関連した対話型プログラムの設計と実施
学生へのフィードバック /Feedback	ラーニングプラットフォームに投稿した感想や意見に対するフィードバックだけでなく、チームで設計する授業設計や授業実践に対しても適時フィードバックを行っていきます。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	研究室抽選/排他: AS91「グローバル共生研究?」; 年度によりグローバル共生副専攻修了要件外となる (詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照)	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-1,2,5	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	グローバル共生副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	イントロダクション: BE*hiveでの学習の特徴と対話1: 中心の問い「人はなぜ戦争を繰り返すのか」に向き合う	井澤 友郭
2	対話型鑑賞体験と対話型学習プログラムのつくり方を学ぶ227	井澤 友郭

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
3	ゲスト講師講義「なぜ戦争を知らない表現者が戦争をえがくのか？」・質疑応答	調整中
4	BE＊hive展示の概要と問いづくりワークショップ体験	井澤 友郭
5	対話型鑑賞体験：問いをもって作品を切り撮る撮影ワークショップ	井澤 友郭
6	対話型鑑賞体験を、ブロックを使ってふりかえる（自己対話と他者対話）	井澤 友郭
7	演習：探究したい問いをつくる（個人）	井澤 友郭
8	作品制作：対話型鑑賞プログラムのチーム編成と設計（グループ）	井澤 友郭
9	作品制作：対話型鑑賞プログラムの発表とフィードバック（グループ）	井澤 友郭
10	作品制作：対話型鑑賞プログラムの設計・フィードバックを受けて（グループ）	井澤 友郭
11	対話型鑑賞実践1（グループで制作したプログラムの実践日）	井澤 友郭
12	対話型鑑賞実践2（グループで制作したプログラムの実践日）	井澤 友郭
13	対話型鑑賞実践3（グループで制作したプログラムの実践日）	井澤 友郭
14	授業全体のふり返り（鑑賞プログラム設計のふりかえり、全体のふりかえり）	井澤 友郭

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	地域づくり演習 1 / Seminar in Community Building 1
コード / Registration Code	AS84-01
ナンバリングコード / Numbering Code	210AS84
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉原 真晃
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	msugihara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/21
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	テーマ：「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」。 到達目標：問いを持つ力、多角的な視野、統合的思考、行動力、コミュニケーション能力、協調性、想像力、創造力、情報を収集・分析する力、論理的に考え・表現する力、市民性、自律的学習力等を身につける。
授業概要 / Course description	「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」等をテーマに、聖心女子大学近隣の地域社会と連携し、地域社会が抱える課題の発見、課題解決の取り組みへの参加を行います。最終的には、課題解決の企画・運営も行います。わたし・仲間・大学・地域社会の持つ魅力を引き出し、「通り過ぎる町」「観光の地」とはまた別の「馴染みとなる町」「ともに生きる地」としての渋谷、第2・第3の故郷としての渋谷となることと思います。 学習の方法は、講義を聞く活動とペアワーク・グループワークを行う活動、そして実際に地域社会に出かけプロジェクトを展開するフィールドワーク等から構成されます。 2024年度前期は、次の3つのプログラムから1つを選択します。 (1)「ササハタハツまち遺産プロジェクト」：渋谷区都市整備部まちづくり課・ササハタハツまち遺産探検隊等と連携し、渋谷区ササハタハツ（笹塚・幡谷・初台）地区の魅力発見・紹介を行う活動への参加・参画を行います。 (2)「笹塚のいえプロジェクト」：一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション・笹塚十号通り商店街等と連携し、渋谷区笹塚地区の地域づくり活動を企画・参加しま

す。
 (3)「えびすまほプロジェクト」：渋谷区のまちづくりを進めている方々と連携し、恵比寿地区の住民の方々へのスマホ相談会を主たる活動として、ご高齢の方々との世代間交流を深める活動への参加・参画を行います。

活動への参加・参画の後、全員が集まり、活動及び学びを振り返る発表会を行います。地域の方々からいただいた多くのご配慮に対して、発表会を通してしっかりと学びを振り返り、恩返しをいたしましょう。

本授業は、本物の社会・人々とかかわります。楽しく刺激的であることと思います。

テキスト・参考文献
 /Textbooks

適宜、紹介いたします。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
 /Use of Active Learning Methods

活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,Field Work)
その他 /Other	

ICTを活用した双方向型授業
 /Interactive Instruction with ICT

実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
内容 /Content	Googleフォームを使って受講生の意見を集め、フィードバックし、学生同士で活動の企画・改善が行えるようにする。Web会議ツールを使用して受講生同士および地域社会の人々との意見交換等を行う。等。

授業時間外の学習(準備学習・復習等)
 /Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
 /Out-of-Class Study Time

事前学習の内容 /Preparation	地域社会で活動する。関連資料を読む。必要な情報を調べる。学生同士でディスカッションする。等。
事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
事後学習の内容 /Review	地域社会で活動する。活動の振り返り小レポートを作成する。
事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
 /To be noted

【活動内容・日時について】
 プログラム提携先との日程調整次第で、計画が変更になることがあります。そして、フィールドワークに際して、授業時間(月曜3限)以外(主にいずれかの土日)に活動を行うことがあります。受講生のみなさんのご事情を最大限、尊重いたしますが、柔軟に対応していただければと思います。

Google Classroomを使用します。履修登録が済んだらSophieにてZoomおよびGoogle Classroomの登録について通知するので、必ず確認し登録を済ませておいてください。

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	60
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	地域社会への積極的参加 (30%)
	その他 (%) /Other	プレゼンテーション (10%)
学生へのフィードバック /Feedback	都度、講評を行う。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/年度により副専攻修了要件外となる。詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-4,5,6,7,8	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	グローバル共生副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション。地域づくりの現状・背景と課題の概説。フィールドワークの方法。 参加プロジェクトの決定・グループ分け。	
2	地域づくりワークショップ1：参加プロジェクトの各テーマについての学習	
3	地域づくりワークショップ2：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトの各テーマについての企画	
4	地域づくりワークショップ3：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
5	地域づくりワークショップ4：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
6	地域づくりワークショップ5：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
7	地域づくりワークショップ6：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
8	地域づくりワークショップ7：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
9	地域づくりワークショップ8：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
10	地域づくりワークショップ9：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
11	地域づくりワークショップ10：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
12	地域づくりワークショップ11：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
13	学びの発表会準備	
14	学びの発表会	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	地域づくり演習 2 / Seminar in Community Building 2
コード / Registration Code	AS85-01
ナンバリングコード / Numbering Code	210AS85
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 全学共通
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	2.0
対象学年 / Eligibility	1,2,3,4
授業形態 / Type of class	演習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	杉原 真晃
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	msugihara@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：全学-7 / 2023年度以降入学者：全学8

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2023/12/21
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	テーマ：「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」。 到達目標：問いを持つ力、多角的な視野、統合的思考、行動力、コミュニケーション能力、協調性、想像力、創造力、情報を収集・分析する力、論理的に考え・表現する力、市民性、自律的学習力等を身につける。
授業概要 / Course description	「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」等をテーマに、聖心女子大学近隣の地域社会と連携し、地域社会が抱える課題の発見、課題解決の取り組みへの参加を行います。最終的には、課題解決の企画・運営も行います。わたし・仲間・大学・地域社会の持つ魅力を引き出し、「通り過ぎる町」「観光の地」とはまた別の「馴染みとなる町」「ともに生きる地」としての渋谷、第2・第3の故郷としての渋谷となることと思います。 学習の方法は、講義を聞く活動とペアワーク・グループワークを行う活動、そして実際に地域社会に出かけプロジェクトを展開するフィールドワーク等から構成されます。 2024年度前期は、次の3つのプログラムから1つを選択します。 (1)「ササハタハツまち遺産プロジェクト」：渋谷区都市整備部まちづくり課・ササハタハツまち遺産探検隊等と連携し、渋谷区ササハタハツ（笹塚・幡谷・初台）地区の魅力発見・紹介を行う活動への参加・参画を行います。 (2)「笹塚のいえプロジェクト」：一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション・笹塚十号通り商店街等と連携し、渋谷区笹塚地区の地域づくり活動を企画・参加しま

す。
 (3)「えびすまほプロジェクト」：渋谷区のまちづくりを進めている方々と連携し、恵比寿地区の住民の方々へのスマホ相談会を主たる活動として、ご高齢の方々との世代間交流を深める活動への参加・参画を行います。

活動への参加・参画の後、全員が集まり、活動及び学びを振り返る発表会を行います。地域の方々からいただいた多くのご配慮に対して、発表会を通してしっかりと学びを振り返り、恩返しをいたしましょう。

本授業は、本物の社会・人々とかかわります。楽しく刺激的であることと思います。

テキスト・参考文献
 /Textbooks

適宜、紹介します。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法
 /Use of Active Learning Methods

活用される授業手法 /Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、プロジェクト型学習(PBL)(Project-based Learning)、反転授業(Flip Learning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、グループワーク(Groupwork)、実習、フィールドワーク(Practicum,Field Work)
その他 /Other	

ICTを活用した双方向型授業
 /Interactive Instruction with ICT

実施の有無 /Does this apply to your course?	実施する(Yes)
内容 /Content	Googleフォームを使って受講生の意見を集め、フィードバックし、学生同士で活動の企画・改善が行えるようにする。Web会議ツールを使用して受講生同士および地域社会の人々との意見交換等を行う。等。

授業時間外の学習(準備学習・復習等)
 /Out-of-Class Study Time

単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください

授業時間外の学習
 /Out-of-Class Study Time

事前学習の内容 /Preparation	地域社会で活動する。関連資料を読む。必要な情報を調べる。学生同士でディスカッションする。等。
事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回
事後学習の内容 /Review	地域社会で活動する。活動の振り返り小レポートを作成する。
事後学習時間 /Review (time)	100分×14回

その他、履修上の注意事項や特記事項
 /To be noted

【活動内容・日時について】
 プログラム提携先との日程調整次第で、計画が変更になることがあります。そして、フィールドワークに際して、授業時間(月曜3限)以外(主にいずれかの土日)に活動を行うことがあります。受講生のみなさんのご事情を最大限、尊重いたしますが、柔軟に対応していただければと思います。

Google Classroomを使用します。履修登録が済んだらSophieにてZoomおよびGoogle Classroomの登録について通知するので、必ず確認し登録を済ませておいてください。

評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験 (%) /Exam	0
	レポート (%) /Final paper	60
	小テスト (%) /Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	地域社会への積極的参加 (30%)
	その他 (%) /Other	プレゼンテーション (10%)
学生へのフィードバック /Feedback	都度、講評を行う。	
特記事項 /Note 教務課入力欄	抽選なし/年度により副専攻修了要件外となる。詳細はグローバル共生副専攻カリキュラムページを参照	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number 教務課入力欄	全学-4,5,6,7,8	
副専攻 /Minor 教務課入力欄	グローバル共生副専攻	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	オリエンテーション。地域づくりの現状・背景と課題の概説。フィールドワークの方法。 参加プロジェクトの決定・グループ分け。	
2	地域づくりワークショップ1：参加プロジェクトの各テーマについての学習	
3	地域づくりワークショップ2：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトの各テーマについての企画	
4	地域づくりワークショップ3：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
5	地域づくりワークショップ4：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	

No.	授業計画／Class schedule	各回担当教員／Instructor
6	地域づくりワークショップ5：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
7	地域づくりワークショップ6：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
8	地域づくりワークショップ7：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
9	地域づくりワークショップ8：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
10	地域づくりワークショップ9：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
11	地域づくりワークショップ10：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
12	地域づくりワークショップ11：参加プロジェクトの各テーマについての学習、参加プロジェクトへの参加後の振り返り	
13	学びの発表会準備	
14	学びの発表会	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 5 (1) / Practice of Research Methods 5(1)
コード / Registration Code	CE33-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE33
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	木 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小柳 智一
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koyanagi@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/13
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	論文とは何か、論文作成のためにどのような手順を踏まればよいかなど、論文作成のために必要な基礎知識を理解します。その上で、まず、研究テーマを設定し、それを解決するための方針を決めます。次に、方針に従って作業を行い、仮説と検証をくり返します。最後に、その成果をアカデミックスタイルの文章にまとめます。また、プレゼンテーションの技術と建設的な議論の方法についても学びます。
授業概要 / Course description	日本語学の研究方法について基礎的な知識と手順を説明し、受講生にはそれを踏まえて実際に演習してもらいます。時代や地域の特徴を踏まえて日本語を見渡し、既修の学識を活用し、独自の課題を発見し、研究倫理を遵守しながら研究を進める力を培う内容です。
テキスト・参考文献 / Textbooks	[テキスト] オリジナル資料を配布します。 [参考文献] 適宜紹介します。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	自分の研究テーマを見つけるために情報収集を行います。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 ／Review	論文作成のための準備・調査を行います。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	※「研究法実習5(2)」とあわせて履修すること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	0

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>0</p>
	<p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>0</p>
	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>0</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>(発表内容・質疑内容) 100</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>授業時に、発表に対してコメント・助言をする。受講生の理解度を確認しながら進めていきます。</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>研究室抽選</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>日文-4</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	導入	
2	論文作成の手引①—問題の設定—	
3	論文作成の手引②—調査資料と研究方法—	
4	論文作成の手引③—先行研究の収集—	
5	論文作成の手引④—論文の構成—	
6	論文作成の手引⑤—論文執筆のための文章表現—	
7	論文レポート①—文法—	
8	論文レポート②—語彙—	
9	論文レポート③—表記—	
10	論文レポート④—方言—	
11	論文レポート⑤—位相—	
12	論文レポート⑥—歴史—	
13	論文テーマの設定	
14	課題の確認	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 5 (2) / Practice of Research Methods 5(2)
コード / Registration Code	CE34-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE34
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	木 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	小柳 智一
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	koyanagi@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/13
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	論文とは何か、論文作成のためにどのような手順を踏まればよいかなど、論文作成のために必要な基礎知識を理解します。その上で、まず、研究テーマを設定し、それを解決するための方針を決めます。次に、方針に従って作業を行い、仮説と検証をくり返します。最後に、その成果をアカデミックスタイルの文章にまとめます。また、プレゼンテーションの技術と建設的な議論の方法についても学びます。
授業概要 / Course description	日本語学の研究方法について基礎的な知識と手順を説明し、受講生にはそれを踏まえて実際に演習してもらいます。時代や地域の特性を踏まえて日本語を見渡し、既修の学識を活用し、独自の課題を発見し、研究倫理を遵守しながら研究を進める力を培う内容です。
テキスト・参考文献 / Textbooks	[テキスト] オリジナル資料を配布します。 [参考文献] 適宜紹介します。

アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 ／Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 ／Teaching Methods	プレゼンテーション(Presentation)、反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベート(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 ／Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	資料収集とデータ作成を行います。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 ／Review	データ分析と検討、論文作成を行います。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	※「研究法実習5(1)」とあわせて履修すること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	50

	<p>小テスト (%) /Quizzes</p> <p>0</p>
	<p>リアクションペーパー (%) /Response sheet</p> <p>0</p>
	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>(研究成果と進捗) 50</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>0</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>授業時に、発表に対してコメント・助言をする。受講生の理解度を確認しながら進めていきます。</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>研究室抽選/前提(履修) : CE33「研究法実習5(1)」</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>日文-4</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	調査報告①—初期調査報告—	
2	調査報告②—中間段階の確認—	
3	調査報告③—追加調査の検討—	
4	調査報告④—調査結果の整理—	
5	論文の構成	
6	論文作成①—研究の動機と目的—	
7	論文作成②—資料と方法—	
8	論文作成③—調査結果の整理—	
9	論文作成④—分析—	
10	論文作成⑤—考察—	
11	論文作成⑥—発展—	
12	論文作成⑦—再検討—	
13	論文作成⑧—結論—	
14	総括	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 6 (1) / Practice of Research Methods 6(1)
コード / Registration Code	CE35-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE35
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	水 3
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	清水 由貴子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yushimizu@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/18
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	論文を書くために必要な知識と技術を身につける。
授業概要 / Course description	現代日本語の研究方法について考え、卒業論文の作成に役立てる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 必要に応じて指示する
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート

		(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	配信資料を読み、授業の概要をつかむ。インターネット等を使い関連資料を収集する。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 /Review	授業内容を振り返り、論文作成のための準備・調査を行う。Excelでのデータ整形等を復習する。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	※「研究法実習6(2)」とあわせて履修すること。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験(%) /Exam	0
	レポート(%) /Final paper	0
	小テスト(%) /Quizzes	0

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	(授業への積極的な参加) 20
	その他 (%) /Other	(発表・質疑応答) 80
学生へのフィードバック /Feedback	発表・ディスカッションの後、講評を行う。研究に関する相談・助言は、随時行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	日文-4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	授業の進め方ガイダンス	
2	関連文献・参考資料の探索方法	
3	文献の引用・要約の方法	
4	様々な調査方法（アンケート、インタビュー、データベース作成、コーパス利用）	
5	Excelを使った言語資料の整理・分析①	
6	Excelを使った言語資料の整理・分析②	
7	関連論文の発表および議論のしかたについて	
8	関連論文の発表および議論① 文献調査タイプの論文 1	
9	関連論文の発表および議論② 文献調査タイプの論文 2	
10	関連論文の発表および議論③ アンケート調査タイプの論文	
11	関連論文の発表および議論④ インタビュー調査タイプの論文	
12	関連論文の発表および議論⑤ データベース作成タイプの論文	
13	関連論文の発表および議論⑥ コーパス利用タイプの論文	
14	全体のまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 6 (2) / Practice of Research Methods 6(2)
コード / Registration Code	CE36-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE36
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	水 3
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	清水 由貴子
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	yushimizu@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/18
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	論文を書くために必要な知識と技術を身につける。
授業概要 / Course description	現代日本語の研究方法について考え、卒業論文の作成に役立てる。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 必要に応じて指示する
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法 / Use of Active Learning Methods	活用される授業手法 / Teaching Methods プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート

		(Discussion,Debate)、実習、フィールドワーク(Practicum,FieldWork)
	その他 /Other	
ICTを活用した双方向型授業 /Interactive Instruction with ICT	実施の有無 /Does this apply to your course?	実施しない(No)
	内容 /Content	
授業時間外の学習(準備学習・復習等) /Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 /Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 /Preparation	配信資料を読み、授業の概要をつかむ。インターネット等を使い関連資料を収集する。
	事前学習時間 /Preparation (time)	100分×14回分
	事後学習の内容 /Review	授業内容を振り返り、論文作成のための準備・調査を行う。Excelでのデータ整形等を復習する。
	事後学習時間 /Review (time)	100分×14回分
その他、履修上の注意事項や特記事項 /To be noted	※「研究法実習6(1)」とあわせて履修すること。	
評価方法 /Evaluation		
評価方法 /Evaluation	試験(%) /Exam	0
	レポート(%) /Final paper	0
	小テスト(%) /Quizzes	0

	リアクションペーパー (%) /Response sheet	0
	平常点 (%) /Participation	(授業への積極的な参加) 20
	その他 (%) /Other	(発表・質疑応答) 80
学生へのフィードバック /Feedback	発表・ディスカッションの後、講評を行う。研究に関する相談・助言は、随時行う。	
特記事項 /Note <small>教務課入力欄</small>	研究室抽選/前提(履修): CE35「研究法実習6(1)」	
ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number <small>教務課入力欄</small>	日文-4	
副専攻 /Minor <small>教務課入力欄</small>		

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	卒業論文進捗報告(前半のグループ)	
2	卒業論文進捗報告(後半のグループ)	
3	卒業論文内容検討① 研究目的の確認	
4	卒業論文内容検討② 先行研究のまとめ方1	
5	卒業論文内容検討③ 先行研究のまとめ方2	
6	卒業論文内容検討④ 研究手法の確認1	
7	卒業論文内容検討⑤ 研究手法の確認2	
8	中間のまとめと振り返り	
9	卒業論文内容検討⑥ Excelを使ったデータ整理の確認1	
10	卒業論文内容検討⑦ Excelを使ったデータ整理の確認2	
11	卒業論文内容検討⑧ 調査結果のまとめ方1	
12	卒業論文内容検討⑨ 調査結果のまとめ方2	
13	卒業論文内容検討⑩ 全体を通しての確認	
14	全体のまとめ	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 7 (1) / Practice of Research Methods 7(1)
コード / Registration Code	CE37-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE37
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 前期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	前期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	岩田 一成
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	iwata@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	主として日本語教育に関する卒業論文の作成に役立つ。
授業概要 / Course description	各自の卒業論文の研究対象、研究方法を決めるため、関係のある論文や資料を読む。その研究の過程にあわせて、発表、質疑応答を行い、卒業論文の作成に役立つ。前期においては、演習形式の教室での活動を行う。後期、学生個々人の研究の進展に応じて段階的に発表をして、進捗確認を行い、参加者と共有する。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 特になし
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	活用される授業手法 / Teaching Methods プレゼンテーション(Presentation)、反転授業(FlipLearning)、ディスカッション、ディベ

／Use of Active Learning Methods		ト(Discussion,Debate)
	その他 ／Other	
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施する(Yes)
	内容 ／Content	学生の執筆文章を確認してコメントを入れる。
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time 単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください		
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業前に日本語に関する論文を読むこと。
	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
	事後学習の内容 ／Review	興味がある関連書籍を必ず読むこと。
	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	自分の興味に応じてテーマを選び、調べ、考え、整理し、表現することを楽しんでほしい。 ※「研究法実習7(2)」とあわせて履修すること。	
評価方法 ／Evaluation		
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	50
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	0

	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>(授業への積極的参加) 50</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>0</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>提出されたレポートについて授業内でコメントをする。</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>研究室抽選 / 【実務経験のある教員による授業科目】 中国・モンゴル自治区での日本語教育、及び国内での在留外国人等への日本語教育の経験を生かした日本語教育に関する授業</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>日文-4</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画 / Class schedule	各回担当教員 / Instructor
1	演習の進め方ガイダンス	
2	教員による発表モデル	
3	演習 輪読方法	
4	演習 レジユメの作り方	
5	演習 書籍の収集方法	
6	演習 論文の読み方	
7	演習 論文の整理	
8	演習 発表のコツ	
9	演習 (受講者の報告・質疑応答) ①	
10	演習 (受講者の報告・質疑応答) ②	
11	演習 (受講者の報告・質疑応答) ③	
12	各種ツール紹介①	
13	各種ツール紹介②	
14	フィードバック	

授業情報 / Course information

授業基本情報

授業科目名 / Course Title	研究法実習 7(2) / Practice of Research Methods 7(2)
コード / Registration Code	CE38-01
ナンバリングコード / Numbering Code	420CE38
分野 / Faculty/Department	現代教養学部 日本語日本文学科
学期 / Semester	2024年度 後期
曜限 / Class Period	月 4
開講学期 / Semester	後期
単位数 / Credits	1.0
対象学年 / Eligibility	4
授業形態 / Type of class	実習
授業形式 / Course delivery format	#対面
担当者 / Instructor	岩田 一成
担当者メールアドレス / Instructor E-Mail Address	iwata@u-sacred-heart.ac.jp
カリキュラムマップ / Curriculum Map	2022年度以前入学者：日文-6 / 2023年度以降入学者：日文-6

授業概要情報

更新日 / Date of renewal	2024/01/24
副題 / Subtitle	
授業のテーマ及び到達目標 / Course Theme and Objectives	主として日本語教育に関する卒業論文の作成に役立つ。
授業概要 / Course description	各自の卒業論文の研究対象、研究方法を決めるため、関係のある論文や資料を読む。その研究の過程にあわせて、発表、質疑応答を行い、卒業論文の作成に役立つ。前期においては、演習形式の教室での活動を行う。後期、学生個々人の研究の進展に応じて段階的に発表をして、進捗確認を行い、参加者と共有する。
テキスト・参考文献 / Textbooks	【テキスト】 特になし 【参考文献】 特になし
アクティブ・ラーニングを活用した授業方法	活用される授業手法 / Teaching Methods プレゼンテーション(Presentation)、ディスカッション、ディベート

／Use of Active Learning Methods		(Discussion,Debate)
I C Tを活用した双方向型授業 ／Interactive Instruction with ICT	実施の有無 ／Does this apply to your course?	実施しない(No)
授業時間外の学習 (準備学習・復習等) ／Out-of-Class Study Time <small>単位を修得するためには授業時間数の2倍の授業時間外の学習(準備学習・復習等)が前提となりますので、それも考慮しながら学修計画をたて、無理のない履修を心がけてください</small>	内容 ／Content	
授業時間外の学習 ／Out-of-Class Study Time	事前学習の内容 ／Preparation	授業前に日本語に関する論文を読むこと。
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	事前学習時間 ／Preparation (time)	100分×14回
評価方法 ／Evaluation	事後学習の内容 ／Review	興味がある関連書籍を必ず読むこと。
評価方法 ／Evaluation	事後学習時間 ／Review (time)	100分×14回
その他、履修上の注意事項や特記事項 ／To be noted	自分の興味に応じてテーマを選び、調べ、考え、整理し、表現することを楽しんでほしい。 ※「研究法実習7(1)」とあわせて履修すること。	
評価方法 ／Evaluation	試験 (%) ／Exam	0
	レポート (%) ／Final paper	50
	小テスト (%) ／Quizzes	0
	リアクションペーパー (%) ／Response sheet	0

	<p>平常点 (%) /Participation</p> <p>(授業への積極的参加) 50</p>
	<p>その他 (%) /Other</p> <p>0</p>
<p>学生へのフィードバック /Feedback</p>	<p>提出されたレポートについて授業内でコメントをする。</p>
<p>特記事項 /Note</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>研究室抽選/前提(履修): CE37「研究法実習7(1)」/【実務経験のある教員による授業科目】中国・モンゴル自治区での日本語教育、及び国内での在留外国人等への日本語教育の経験を生かした日本語教育に関する授業</p>
<p>ディプロマ・ポリシーナンバー /Diploma Policy Number</p> <p>教務課入力欄</p>	<p>日文-4</p>
<p>副専攻 /Minor</p> <p>教務課入力欄</p>	

授業計画詳細情報

No.	授業計画/Class schedule	各回担当教員/Instructor
1	中間発表	
2	論文のまとめ方解説 技術編① 概要	
3	論文のまとめ方解説 技術編② 先行研究	
4	授業の進め方ガイダンス	
5	演習(受講者の進捗報告・質疑応答)①	
6	演習(受講者の進捗報告・質疑応答)②	
7	演習(受講者の進捗報告・質疑応答)③	
8	演習(受講者の進捗報告・質疑応答)④	
9	演習(受講者の進捗報告・質疑応答)⑤	
10	目次報告①	
11	目次報告②	
12	調査報告①	
13	調査報告②	
14	フィードバック	

1. 現代教養学部 共通事項

1-1. カリキュラムマップ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
全学1 キリスト教学Ⅰ 聖心女子大学の教育基盤であるキリスト教の価値観について、多角的な視点で学ぶ		全学2 キリスト教学Ⅱ	
全学3 第一外国語 (英語) 全学4a 第二外国語 全学5 ウェルネス・身体活動 語学力・コミュニケーション能力の習得を通じて、諸外国の文化を学び、国際的視野を広げる 健康の科学や運動文化への理解を深め、生涯にわたる健康保持のための基盤をつくる		全学4b その他の外国語 (第二外国語以外の言語)	
全学6 AI・データサイエンス Society 5.0時代に必要な「数理・データサイエンス・AI」の基礎を学ぶ		全学8 総合現代教養科目 世界の多様な社会と文化を理解し、その中で自身の生き方を考えることのできる、幅広い知識と教養を獲得する	
全学7 基礎課程科目 大学での学修の基礎を学ぶとともに、各学科・専攻の専門分野について理解を深める 基礎課程演習 各学科の入門科目		専攻b 他学科専攻課程科目 副専攻・関連科目として履修し、物事を多面的に見る力をはぐくむ	
		専攻a 所属学科専攻課程科目 (各学科カリキュラムマップ参照：pp.52～103)	

全学9

卒業論文

自ら定めた課題について学問的に探究し、四年間の学習を集大成する

1-2. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

分野系列	科目所属	カリキュラム マップ	卒業所要単位		
			初等教育学専攻以外	初等教育学専攻	
1 全学必修分野			28単位	28単位	
1-1	キリスト教学Ⅰ	全学必修科目（キリスト教学Ⅰ）	全学1	4単位	4単位
1-2	キリスト教学Ⅱ	全学必修科目（キリスト教学Ⅱ）	全学2	4単位	4単位
1-3	第一外国語	全学必修科目（第一外国語）	全学3	8単位	8単位
1-4	第二外国語	全学必修科目（第二外国語） ※第二外国語として選択した言語	全学4a	8単位	8単位
1-5	ウェルネス・身体活動	全学必修科目（ウェルネス・身体活動）	全学5	2単位	2単位
1-6	AI・データサイエンス	全学必修科目（AI・データサイエンス）	全学6	2単位	2単位
2 専攻課程分野					
2-a	専攻分野 ・詳細は各学科の履修要項参照	専攻課程科目／主に所属学科開講の科目	専攻a	56単位	82単位
2-b	関連分野	基礎課程科目（基礎課程演習）	全学7	22単位	90単位 ※1
		基礎課程科目（1年次生限定科目）			
		総合現代教養科目			
		全学必修科目（その他の外国語） ※卒業所要単位を超えて修得した外国語科目	全学4b		
		専攻課程科目（聖心リベラル・アーツ群）	専攻b		
		専攻課程科目（副専攻科目）			
		専攻課程科目（博物館関連科目）			
専攻課程科目（教職に関する科目）					
専攻課程科目（その他）					
8単位 ※2					
3 卒業論文	卒業論文	全学9	8単位	8単位	
合計				126単位	126単位

※1：専攻分野56単位、関連分野22単位を満たし、さらに専攻分野または関連分野から12単位を修得する必要がある

※2：「憲法1」または「憲法2」の2単位を含む必要がある

A. 全学必修分野

A-1. 履修の目的

(1) キリスト教学

本学の教育の基盤であるキリスト教の価値観について、多面的・多角的な視点で学ぶ。キリスト教の教えと聖書全体の理解を通して、またキリスト教をめぐる文化、社会、歴史、思考等の多様な主題の考察を通して、世界と人間に対する深い洞察力と心の豊かさを涵養することを目指す。

・キリスト教学 I

キリスト教への基本的な理解を求める。

・キリスト教学 II

キリスト教に対する理解をさらに深めると共に、歴史、文化、社会などにおけるキリスト教の多様な展開を学ぶ。

(2) 第一外国語・第二外国語

国際化の時代にふさわしい語学力、コミュニケーション能力を身につける。これを通じて、諸外国の文化的背景を学び、国際的視野を広げ、また専攻課程での学習研究活動の準備ともする。

(3) ウェルネス・身体活動

健康の科学や運動文化への理解を深め、適切な運動習慣を身につけ、生涯にわたる健康保持のための基盤をつくる。

(4) AI・データサイエンス

すべての大学生が学ぶことを目的に設立された文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）において求められるモデルカリキュラムで、Society 5.0時代に必要「数理・データサイエンス・AI」の基礎を学ぶ。

A-2. 卒業要件と科目リスト

以下に、全学必修分野をさらに細かく分類した分野系列ごとの卒業要件及び科目リストを掲載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読んでください。

<科目リストの見方>

- ・担当研究室：担当研究室
 - ・レベル：授業内容のレベル ⇒「ナンバリングコード」p.16参照
 - ・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修修科目、「-」卒業要件外科目
 - ・基礎課程：「○」1年次生履修可、「-」1年次生履修不可
- ※開講状況、履修条件は当該年度のシラバス、開講科目一覧等を確認してください。

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程
▼キリスト教学 I (カリキュラムマップ：全学 1)						
卒業要件 <input type="checkbox"/> 下記の科目から 4 単位を修得していること						
哲学	1	選必	AM31	キリスト教学I-1 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM32	キリスト教学I-1 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM33	キリスト教学I-2 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM34	キリスト教学I-2 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM35	キリスト教学I-3 (1)	2	○

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程
哲学	1	選必	AM36	キリスト教学I-3 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM37	キリスト教学I-4 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM38	キリスト教学I-4 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM39	キリスト教学I-5 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM40	キリスト教学I-5 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM41	キリスト教学I-6 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM42	キリスト教学I-6 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM43	キリスト教学I-7 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM44	キリスト教学I-7 (2)	2	○
哲学	1	選必	AM45	キリスト教学I-8 (1)	2	○
哲学	1	選必	AM46	キリスト教学I-8 (2)	2	○

▼キリスト教学 II (カリキュラムマップ：全学 2)

卒業要件 下記の科目から 4 単位を修得していること

哲学	2	選必	AN31	キリスト教学II-1 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN32	キリスト教学II-1 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN33	キリスト教学II-2 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN34	キリスト教学II-2 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN35	キリスト教学II-3 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN36	キリスト教学II-3 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN37	キリスト教学II-4 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN38	キリスト教学II-4 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN39	キリスト教学II-5 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN40	キリスト教学II-5 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN41	キリスト教学II-6 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN42	キリスト教学II-6 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN43	キリスト教学II-7 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN44	キリスト教学II-7 (2)	2	-
哲学	2	選必	AN45	キリスト教学II-8 (1)	2	-
哲学	2	選必	AN46	キリスト教学II-8 (2)	2	-

▼第一外国語 (カリキュラムマップ：全学 3)

卒業要件 1年英語の科目をすべて(計4単位)修得していること
 所属学科に応じた2年英語の科目をすべて(計4単位)修得していること

▽1年英語 (すべての学部生)

英文	1	必修	AE21	1年英語 1	2	○
英文	1	必修	AE22	1年英語 2	2	○

▽2年英語 (英語文化コミュニケーション学科生)

英文	2	必修	AE25	Academic Reading 1	1	-
英文	2	必修	AE26	Academic Reading 2	1	-
英文	2	必修	AE27	Academic Writing 1	1	-
英文	2	必修	AE28	Academic Writing 2	1	-

▽2年英語 (英語文化コミュニケーション学科生以外)

英文	2	必修	AE31	2年英語 (Reading) 1	1	-
英文	2	必修	AE32	2年英語 (Reading) 2	1	-
英文	2	必修	AE33	2年英語 (Oral) 1	1	-
英文	2	必修	AE34	2年英語 (Oral) 2	1	-

▼第二外国語 (カリキュラムマップ：全学 4 a)

卒業要件 外国人留学生以外の学生
 ①-⑤の科目群のいずれかを選択し、その科目群の科目をすべて(計8単位)修得すること
 外国人留学生
 ⑥の科目群の科目をすべて(計8単位)修得すること

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程
①フランス語科目群						
国際	1	選必	AF21	1年フランス語文法(1)	2	○
国際	1	選必	AF22	1年フランス語文法(2)	2	○
国際	1	選必	AF23	1年フランス語オラル(1)	1	○
国際	1	選必	AF24	1年フランス語オラル(2)	1	○
国際	2	選必	AF30	2年フランス語(1)	1	-
国際	2	選必	AF31	2年フランス語(2)	1	-
②ドイツ語科目群						
国際	1	選必	AG21	1年ドイツ語文法(1)	2	○
国際	1	選必	AG22	1年ドイツ語文法(2)	2	○
国際	1	選必	AG23	1年ドイツ語オラル(1)	1	○
国際	1	選必	AG24	1年ドイツ語オラル(2)	1	○
国際	2	選必	AG30	2年ドイツ語(1)	1	-
国際	2	選必	AG31	2年ドイツ語(2)	1	-
③スペイン語科目群						
国際	1	選必	AH21	1年スペイン語文法(1)	2	○
国際	1	選必	AH22	1年スペイン語文法(2)	2	○
国際	1	選必	AH23	1年スペイン語オラル(1)	1	○
国際	1	選必	AH24	1年スペイン語オラル(2)	1	○
国際	2	選必	AH25	2年スペイン語(1)	1	-
国際	2	選必	AH26	2年スペイン語(2)	1	-
④中国語科目群						
国際	1	選必	AJ21	1年中国語文法(1)	2	○
国際	1	選必	AJ22	1年中国語文法(2)	2	○
国際	1	選必	AJ23	1年中国語オラル(1)	1	○
国際	1	選必	AJ24	1年中国語オラル(2)	1	○
国際	2	選必	AJ29	2年中国語(1)	1	-
国際	2	選必	AJ30	2年中国語(2)	1	-
⑤コリア語科目群						
国際	1	選必	AK21	1年コリア語文法(1)	2	○
国際	1	選必	AK22	1年コリア語文法(2)	2	○
国際	1	選必	AK23	1年コリア語オラル(1)	1	○
国際	1	選必	AK24	1年コリア語オラル(2)	1	○
国際	2	選必	AK25	2年コリア語(1)	1	-
国際	2	選必	AK26	2年コリア語(2)	1	-
⑥日本語科目群(外国人留学生対象)						
国際	1	選必	AL22	1年日本語1	3	○
国際	1	選必	AL23	1年日本語2	3	○
国際	2	選必	AL24	2年日本語(1)	1	-
国際	2	選必	AL25	2年日本語(2)	1	-
▼ウェルネス・身体活動(カリキュラムマップ:全学5)						
卒業要件	□下記の科目をすべて(計2単位)を修得していること					
教育	1	必修	AA01	ウェルネス・身体活動(講義)	1	○
教育	1	必修	AA02	ウェルネス・身体活動(実技)	1	○
▼AI・データサイエンス(カリキュラムマップ:全学6)						
卒業要件	□下記の科目をすべて(計2単位)を修得していること					
教務	1	必修	BA01	AI・データサイエンス基礎	2	○

A-3. 年次指定科目

指定年次	年次指定科目(指定年次に履修すること)
1年次	1年英語の各科目、第二外国語の1年次対象科目、ウェルネス・身体活動の各科目、AI・データサイエンス基礎
2年次	2年英語の各科目、第二外国語の2年次対象科目

A-4. 履修上の注意

(1) キリスト教学

- ①「キリスト教学Ⅰ」は1年次に、また「キリスト教学Ⅱ」は3年次に履修することを推奨します。
- ②各科目の(1)(2)はペアで履修・修得することを推奨します。
- ③卒業所要単位を超えて「キリスト教学Ⅰ」「キリスト教学Ⅱ」の科目を履修した場合、余剰分の修得単位を他の分野系列に振り替えることはできません。

(2) 第一外国語

- ①指定クラスが自動登録されています。必ず指定されたクラスを履修してください。
- ②1年英語の履修には、授業に加えてオンラインまたはメディア学習支援センターにおける、週1回、各60分間以上の学習が必修となっています。詳細は、4月中旬に行われる1年英語メディア授業のオリエンテーションで説明するので、必ず出席してください。オリエンテーションの詳しい日程は、各クラスの先生から指示があります。

(3) 第二外国語

- ①指定クラスが自動登録されています。必ず指定されたクラスを履修してください。発表されたクラスは原則として変更できません。
※UNHCR難民高等教育プログラム(RHEP)による推薦入試で入学した学生は、第二外国語研究室の指示に従ってください。
- ②外国語系列科目には、授業時間とは別にメディア学習支援センターでの学習が必要な授業科目があります。
- ③第二外国語の変更について
1年次に選択した言語が第二外国語となります。第二外国語の言語変更を希望する場合は、第二外国語研究室(1号館3階)へ申し出てください。言語変更をした場合、1年次対象科目から履修することになります。変更前の言語について修得した単位は、分野系列「第二外国語」から「関連分野」の単位に振り替えます。
- ④第二外国語の余剰分について
卒業所要単位を超えて、第二外国語とは異なる言語について履修した場合、修得単位は分野系列「関連分野」の単位に算入されます。

(4) ウェルネス・身体活動

- ①各クラスには定員があるのでオリエンテーション期間に調整を行いません。調整の結果指定されたクラスを履修登録するようにしてください。

(5) AI・データサイエンス

- ①この科目はオンライン形式(オンデマンド型)で行われる授業です。
- ②前期に修得できなかった学生は、後期に再度履修し、修得を目指すことになります。これにより後期履修登録時点で、当該年度の年間履修登録単位数の上限を超える場合は、2単位の登録科目の見直しが必要になります。
- ③当該科目を履修初年度に修得できなかった学生は、翌年度以降、履修する年度ごとに、eラーニングシステム延長利用費として5,000円(税別)の実費を納入しなければなりません。なお、納入されたeラーニングシステム延長利用費は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

A-5. 外国語外部検定試験による第二外国語の単位認定

第二外国語について、指定の外部検定試験の認定基準を満たせば「第二外国語」の1年次対象科目（文法）として単位認定を願い出すことができます。

1. 申請時期

Sophieに掲示します。

※期日を過ぎての申請は一切受け付けません。認定を考える者は、スコア到着日も含め受験日をよく確認のうえ、早めに受験すること。

2. 提出書類

①外国語外部検定試験単位認定申請書（所定用紙）

②資格取得証明書（コピー 1部）

※申請のスコアは、前年4月以降受験のものに限る

3. 認定基準と認定対象科目

言語の種類	試験の種類	認定基準	本学における認定対象科目 (各2単位)
フランス語	実用フランス語技能検定	3級以上	1年フランス語文法(1) 1年フランス語文法(2)
ドイツ語	ドイツ語技能検定 Goethe Zertifikat	4級以上 A1以上	1年ドイツ語文法(1) 1年ドイツ語文法(2)
スペイン語	スペイン語技能検定試験	4級以上	1年スペイン語文法(1) 1年スペイン語文法(2)
中国語	中国語検定試験	3級以上	1年中国語文法(1) 1年中国語文法(2)
コリア語	ハングル能力検定試験 韓国語能力試験	3級以上 3級以上	1年コリア語文法(1) 1年コリア語文法(2)

※単位認定が認められた場合、第1回締切までに手続きした者は認定対象科目(1)(2)の合計4単位を認定、第2回締切までに手続きした者は認定対象科目のうち(2)の2単位を認定する。

4. 注意事項

- ①認定された科目の成績評価は「Tr. (認定)」とします。
- ②認定された科目はGPA算出の対象外科目となります。
- ③認定単位数は、年次および学期で定められた登録単位数の上限に含みます。
- ④単位認定を申請できるのは、第二外国語として選択した言語に限ります。ただし、認定後に第二外国語を変更する場合、認定された科目の分野系列は「関連分野」になります。
- ⑤すでに認定対象科目について単位修得している場合は、認定を申請することはできません。
- ⑥第二外国語による単位認定の上限は、検定科目に関わらず4単位を上限とします。
- ⑦長期留学、短期留学などと合わせて、在学中に認定を受けられる単位数の上限は60単位までです。

B. 関連分野

B-1. 履修の目的

(1) 基礎課程科目

基礎課程科目は、入学時には全員が基礎課程に所属する本学独自のカリキュラムにより設けられた科目です。基礎課程科目として、少人数の演習（ゼミ）形式の「基礎課程演習」と1年次生のみが履修できる1年次限定科目が開講されています。

▼基礎課程演習

- ①大学での学修・研究活動に求められる主体的な姿勢・意欲や積極性を身につけ、またこのような資質・能力を1年次から養うことにより、社会への主体的参加の準備とする。
- ②大学で効果的に学修を進めるための基盤として、「文章等による表現力」「発表の力」「情報収集の力」を重点的に強くする。
- ③専任教員の専門性を通じて、学問に対する知的・興味関心を深め、視野を広げていく。
- ④授業内で行われる図書館ガイダンスにより、図書館の利用方法、蔵書の検索、データベースの活用方法について学ぶ。

▼1年次生限定科目

・各学科での学びの全体像や学科教員全員の研究分野を知り、専門分野に対する理解を深めながら、自らの適性と意欲を見極め、所属学科専攻の決定につなげる。

(2) 総合現代教養科目

地球規模で人々が考え、行動し、交流することが求められる現代において、世界の多様な社会と文化を理解し、時代を見通し、その中で自身の生き方を考えていくことのできる、幅広い知識と教養を獲得する。

(3) 全学必修科目（その他の外国語）

第二外国語を修得後、別の言語を履修することを通じて、異なる文化を学び、国際的視野をさらに広げる。

(4) 専攻課程科目（聖心リベラル・アーツ群、副専攻、博物館関連、教職に関する科目 他）

各自の関心に応じて自由に修得することで、幅広い視野や複眼的な思考力を身につける。

B-2. 履修の方法

関連分野の科目は、シラバス等で履修条件を確認した上で履修可能な科目の中から各自が自由に選択して履修することができますが、下記を科目の選択の際の参考にもすることができます

(1) 聖心リベラル・アーツ群

総合現代教養科目と他学科生が受講できる専攻課程科目を、「聖心リベラル・アーツ群」として下記に挙げた7領域に整理しています。関連分野の数多くの科目から自分の興味や目的に応じた科目を選択する際、「聖心リベラル・アーツ群」の下表の各領域のキーワードを参考に選ぶことができます。

これらの科目を自由に履修することによって、学科で学ぶ専門的内容とは異なるより多くの分野に触れる、学科を横断する学際的な内容に触れる、学科の専門的内容とリンクさせながら地球的規模で考え行動するなど、自由で創造的な学びを実現することが

できます。

各領域の科目については、関連分野の科目リストを参照してください。

<各領域のキーワード>

領域	キーワード
第I群	言語と思考 言語、言語学、ディスカッションベース、史料講読、交渉・対話
第II群	文学と芸術 美学・芸能、文学、身体表現、文化史、サブカルチャー、ポップカルチャー、映画
第III群	社会システム 政治(史)、経済(史)、金融、法律・法学
第IV群	コミュニティと環境 社会学、環境、持続可能性、文化人類学、比較文化、カルチュラルスタディーズ、ジャーナリズム、メディア
第V群	心と科学 自然科学、科学史、健康科学、宗教、民俗学・民衆史・心性史、社会心理、組織心理、倫理、自然観・人間観、比較行動、進化心理、認知心理
第VI群	キャリアと生涯発達 キャリア、女性・ジェンダー、教育工学、職業社会、ライフコース、親子関係、発達心理、生活や暮らしに密着した科目
第VII群	聖心スピリット 難民、ボランティア、共生、地域連携

(2) 副専攻制度（⇒p.106）

関連分野の履修を体系的に行うことで、主専攻に加えて「もう一つの専攻」を学ぶ制度が用意されています。自分の所属学科専攻で学ぶのとは異なる学問分野や主題のもとで、各副専攻が指定した科目の中から体系的に選択履修し、所定の要件を満たした学生には副専攻修了の認定がなされます。

(3) グローバルリーダーシップ・プログラム（⇒pp.107-109）

グローバルリーダーシップ・プログラムは、学術的かつ実践的な学びにより、リーダーシップに関する知識、スキル、実践能力をホリスティックに高め、社会貢献ができるグローバルでアクティブなリーダーシップを考え身につけるプログラムです。このプログラムの履修目的に沿って、総合現代教養科目を中心に関連分野の科目を選択していく学び方もあります。

B-3. 必履修科目

指定年次	必履修科目（指定年次に履修すること）
1年次	基礎課程演習
2年次	日本語作文(1) ※外国人留学生のみ

B-4. 関連分野：履修上の注意

(1) 基礎課程科目

- ①「基礎課程演習」は、1年次生の必履修科目です。入学年度に限り、1度だけ履修することができます。単位修得が卒業要件ではありませんが、必ず履修するようにしてください。
- ②「基礎課程演習」は、各クラスに定員があるのでオリエンテーション期間に調整を行いません。調整の結果指定されたクラスを履修してください。なお、履修できるのは1クラスのみです。
- ③1年次生限定科目（各学科の入門科目）は、1年次生のみが履修できます。修得した単位のうち8単位までは、卒業所要単位として分野系列「関連分野」に算入されます。卒業所要

単位を超えて修得した場合、超過した単位は卒業要件外となり、「関連分野」の単位には算入されません。

(2) その他の外国語 (第二外国語以外の外国語科目)

①原則として、第二外国語について卒業所要単位を修得した場合のみ、選択した第二外国語以外の言語 (その他の外国語) を「関連分野」の科目として履修することができます。

(3) 外国人留学生対象科目

日本語作文(1)(2)は、外交人留学生対象科目です。

B-5. 卒業要件と科目リスト

1. 関連分野の卒業要件

(1) 教育学科初等教育学専攻生以外

- 関連分野の科目の中から、最低22単位を修得すること
- 専攻分野と関連分野を合わせて、最低90単位を修得すること

(2) 教育学科初等教育学専攻生

- 関連分野の科目の中から、憲法2単位を含み、最低8単位を修得すること

2. 関連分野の科目リスト

以下に、関連分野の科目リストを掲載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

なお、科目リストに掲載されている専攻課程科目のうち「関連分野」の単位となるのは、原則として所属学科以外の開講する科目です (1年次生は、2年次からの所属学科専攻が決定後、分野系列が決まります)。

また、履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読んでください。

<科目リストの見方>

- ・担当研究室：担当研究室
- ・レベル：授業内容のレベル ⇒「ナンバリングコード」p.16参照
- ・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修履修科目、「-」卒業要件外科目
- ・基礎課程：「○」1年次生履修可、「-」1年次生履修不可
- ・L.A.区分：I～VII (聖心リベラル・アーツ群の領域番号)
「-」聖心リベラル・アーツ群の対象外
⇒表「各領域のキーワード」p.39参照

※開講状況、履修条件は当該年度のシラバス、開講科目一覧等を確認してください。

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
▼基礎課程科目 (カリキュラムマップ：全学7)							
○基礎課程演習 (1年次必修履修科目)							
教務	1	◎選	BD30	基礎課程演習	2	○	-
○1年次生限定科目							
総現	1	選	AB10	英語文化コミュニケーション入門	2	○	-
総現	1	選	AB11	日本語日文学入門	2	○	-
総現	1	選	AB12	史学入門	2	○	-
総現	1	選	AB01	人間関係入門	2	○	-
総現	1	選	AB02	国際交流入門	2	○	-
総現	1	選	AB13	哲学入門	2	○	-
総現	1	選	AB14	教育学入門	2	○	-
総現	1	選	AB03	心理学入門	2	○	-
▼総合現代教養科目 (カリキュラムマップ：全学8)							
※1：初等教育学専攻生：「選必」(いずれか1科目修得) 初等教育学専攻生以外：「選」							

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
※2：外国人留学生：「◎選」							
※3：外国人留学生：「選」							
総現	1	選	AS14	ベートルズの詩と音楽	2	○	II
総現	1	選	AS82	世界の身体表現文化	2	○	II
総現	2	選	AS87	音楽と人間	2	○	II
総現	1	※1	AR21	憲法1	2	○	III
総現	1	※1	AS95	憲法2	2	○	III
総現	1	選	AS35	暮らしのファイナンス	2	○	III
総現	2	選	AS10	社会福祉論	2	○	III
総現	2	選	AU01	グローバル時代の国際協力概論	2	○	III
総現	2	選	AU10	グローバル・シチズンシップ育成論	2	○	III
総現	3	選	AU08	平和構築と非暴力の諸課題	2	○	III
総現	1	選	AL19	日本事情1	2	-	IV
総現	2	選	AL21	日本事情2	2	-	IV
総現	2	選	AS88	経済同友会連携インターンシップ	2	-	IV
総現	2	選	AU05	持続的開発目標 (SDGs) を捉え直す	2	○	IV
総現	3	選	AU03	人新時代の環境問題	2	○	IV
総現	3	選	AU09	多文化共生社会論	2	○	IV
総現	1	選	AS05	現代の脳科学	2	○	V
総現	1	選	AS25	健康な生活と健康科学	2	○	V
総現	2	選	AS07	科学史1	2	○	V
総現	2	選	AS08	科学史2	2	○	V
総現	3	選	AS37	進化論の世界	2	○	V
総現	3	選	AS79	生命科学の最前線	2	○	V
総現	3	選	AU12	グローバル・ヘルス	2	○	V
総現	3	選	AS96	研究の方法論	2	-	V
総現	1	選	AS59	生活と法律	2	○	VI
総現	1	選	AS92	ジェンダー学入門	2	○	VI
総現	1	選	AS93	キャリアデザイン入門1	2	○	VI
総現	1	選	AS94	キャリアデザイン入門2	2	○	VI
総現	2	選	AS11	児童福祉論	2	○	VI
総現	2	選	AS80	総合現代教養演習	2	○	VI
総現	2	選	AU07	現代社会における食料問題とオルタナティブ	2	○	VI
総現	2	選	AS97	Introduction to Leadership	2	-	VI
総現	1	選	AS24	聖心スピリットと共生	2	○	VII
総現	2	選	AS69	グローバル共生基礎 I	2	○	VII
総現	2	選	AS70	グローバル共生基礎 II	2	○	VII
総現	2	選	AS81	学生提案型授業	2	○	VII
総現	2	選	AS84	地域づくり演習1	2	○	VII
総現	2	選	AS85	地域づくり演習2	2	○	VII
総現	2	選	AT50	ボランティア研究概論	2	○	VII
総現	2	選	AU04	災害と人間	2	○	VII
総現	2	選	AU06	地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト	2	○	VII
総現	3	選	AU02	赤十字によるグローバルな人道支援の状況	2	○	VII
総現	3	選	AU11	地球規模課題を探究する	2	○	VII
総現	4	選	AS86	グローバル共生総合演習	2	-	VII
総現	3	※2	AL26	日本語作文 (1)	1	-	-
総現	3	※3	AL27	日本語作文 (2)	1	-	-
▼その他の外国語 (カリキュラムマップ：全学4b)							
※卒業に必要な第二外国語の修得とは別に、「全学必修分野-第二外国語」の科目から他の言語を選択して履修した場合、「その他の外国語」として修得単位を「関連分野」に算入する							

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
▼専攻課程科目（カリキュラムマップ：専攻b）							
○英文学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
英文	2	選	MA16	英語学概論1	2	○	I
英文	2	選	MA17	英語学概論2	2	○	I
英文	2	選	MB26	オラルコミュニケーション1	2	○	I
英文	2	選	MB27	オラルコミュニケーション2	2	○	I
英文	2	選	ML22	英文法	2	-	I
英文	2	選	MM54	異文化理解	2	○	I
英文	2	選	MP01	英語基礎研究1-1	2	○	I
英文	2	選	MP05	英語基礎研究3-1	2	○	I
英文	2	選	MP06	英語基礎研究3-2	2	○	I
英文	2	選	MP15	英語基礎研究8-1	2	○	I
英文	2	選	MP17	英語基礎研究9-1	2	○	I
英文	2	選	MP18	英語基礎研究9-2	2	○	I
英文	3	選	MB15	英語史1	2	-	I
英文	3	選	MB16	英語史2	2	-	I
英文	3	選	MB19	英会話1	2	-	I
英文	3	選	MB20	英会話2	2	-	I
英文	3	選	MF25	英語学特講3-1	2	-	I
英文	3	選	MF26	英語学特講3-2	2	-	I
英文	3	選	ML43	Impromptu Communication Skills	2	-	I
英文	1	選	MB17	英語文学への招待1	2	○	II
英文	1	選	MB18	英語文学への招待2	2	○	II
英文	2	選	MA34	英文学史概説1	2	○	II
英文	2	選	MA35	英文学史概説2	2	○	II
英文	2	選	MB13	米文学史概説1	2	○	II
英文	2	選	MB14	米文学史概説2	2	○	II
英文	2	選	MM63	英語文化論1-1	2	○	II
英文	2	選	MM64	英語文化論1-2	2	○	II
英文	2	選	MP02	英語基礎研究1-2	2	○	II
英文	2	選	MP03	英語基礎研究2-1	2	○	II
英文	2	選	MP04	英語基礎研究2-2	2	○	II
英文	2	選	MP07	英語基礎研究4-1	2	○	II
英文	2	選	MP08	英語基礎研究4-2	2	○	II
英文	2	選	MP09	英語基礎研究5-1	2	○	II
英文	2	選	MP10	英語基礎研究5-2	2	○	II
英文	2	選	MP11	英語基礎研究6-1	2	○	II
英文	2	選	MP12	英語基礎研究6-2	2	○	II
英文	2	選	MP13	英語基礎研究7-1	2	○	II
英文	2	選	MP14	英語基礎研究7-2	2	○	II
英文	3	選	MM71	英語文化論5-1	2	-	II
英文	3	選	MM72	英語文化論5-2	2	-	II
英文	2	選	MB23	メディア・コミュニケーション入門1	2	○	III
英文	2	選	MB25	メディア・コミュニケーション入門2	2	○	III
英文	2	選	MM73	英語文化論6-1	2	-	III
英文	2	選	MP16	英語基礎研究8-2	2	○	III
英文	2	選	MP19	英語基礎研究10-1	2	○	III
英文	2	選	MP20	英語基礎研究10-2	2	○	III
英文	3	選	MJ19	メディア・コミュニケーション特講1	2	-	III
英文	3	選	MJ30	メディア・コミュニケーション特講8-2	2	-	III
英文	3	選	MF31	英語学特講6-1	2	-	-
英文	3	選	MF32	英語学特講6-2	2	-	-
○日文学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
日文	1	選	CD17	日本語の世界	2	○	I
日文	1	選	CD18	日本語教育の世界	2	○	I

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
日文	2	選	CF12	日本語教授法I(1)	2	○	I
日文	2	選	CF13	日本語教授法I(2)	2	○	I
日文	2	選	CD19	日本語学概説1	2	-	I
日文	2	選	CD20	日本語学概説2	2	-	I
日文	2	選	CD27	日本語史概説1	2	-	I
日文	2	選	CD28	日本語史概説2	2	-	I
日文	2	選	CG29	日本語日本文学特殊研究	2	-	I
日文	2	選	CG12	言語学概論1	2	-	I
日文	2	選	CG13	言語学概論2	2	-	I
日文	2	選	CG27	中国文学概論1	2	-	I
日文	2	選	CG28	中国文学概論2	2	-	I
日文	3	選	CD58	日本語学研究1	2	-	I
日文	3	選	CD59	日本語学研究2	2	○	I
日文	1	選	CA13	古典文学の世界	2	○	II
日文	1	選	CA14	近代文学の世界	2	○	II
日文	2	選	CA71	日本文学史1	2	-	II
日文	2	選	CA72	日本文学史2	2	-	II
日文	2	選	CA73	日本文学史3	2	-	II
日文	2	選	CA74	日本文学史4	2	-	II
日文	2	選	CA75	日本文学史5	2	-	II
日文	2	選	CA76	日本文学史6	2	-	II
日文	2	選	CG14	文芸創作入門(1)	2	-	II
日文	2	選	CG15	文芸創作入門(2)	2	-	II
日文	3	選	CB17	古典文学研究1	2	-	II
日文	3	選	CB18	古典文学研究2	2	-	II
日文	3	選	CB19	古典文学研究3	2	○	II
日文	3	選	CB20	古典文学研究4	2	-	II
日文	3	選	CB42	近代文学研究1	2	-	II
日文	3	選	CB43	近代文学研究2	2	-	II
日文	3	選	CB44	近代文学研究3	2	○	II
日文	3	選	CB45	近代文学研究4	2	-	II
○史学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
史学	2	選	DB80	日本史史料論1	2	○	I
史学	2	選	DB81	日本史史料論2	2	○	I
史学	3	選	DB82	日本史史料論3	2	-	I
史学	3	選	DB83	日本史史料論4	2	-	I
史学	3	選	DB84	史料講読1	2	-	I
史学	3	選	DB85	史料講読2	2	-	I
史学	3	選	DB86	史料講読3	2	-	I
史学	3	選	DB87	史料講読4	2	-	I
史学	3	選	DH25	世界史文献講読II-1(1)	2	-	I
史学	3	選	DH26	世界史文献講読II-1(2)	2	-	I
史学	3	選	DH27	世界史文献講読II-2(1)	2	-	I
史学	3	選	DH28	世界史文献講読II-2(2)	2	-	I
史学	3	選	DH29	世界史文献講読II-3(1)	2	-	I
史学	3	選	DH30	世界史文献講読II-3(2)	2	-	I
史学	3	選	DH31	世界史文献講読II-4(1)	2	-	I
史学	3	選	DH32	世界史文献講読II-4(2)	2	-	I
史学	3	選	DH33	世界史文献講読II-5(1)	2	-	I
史学	3	選	DH34	世界史文献講読II-5(2)	2	-	I
史学	2	選	DB23	日本文化史1	2	○	II
史学	2	選	DB24	日本文化史2	2	○	II
史学	2	選	DA35	教養としての歴史1	2	○	III
史学	2	選	DA36	教養としての歴史2	2	○	III
史学	2	選	DA37	教養としての歴史3	2	○	III
史学	2	選	DA38	教養としての歴史4	2	○	III

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
史学	2	選	DA39	教養としての歴史5	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA40	教養としての歴史6	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA41	教養としての歴史7	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA42	教養としての歴史8	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA43	教養としての歴史9	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA44	教養としての歴史10	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA45	教養としての歴史11	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA46	教養としての歴史12	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA47	教養としての歴史13	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA48	教養としての歴史14	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA54	日本史概説	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA64	外国史概説	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DA73	地誌学	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB35	日本古代史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB36	日本古代史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB37	日本古代史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB38	日本古代史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB44	日本中世史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB45	日本中世史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB46	日本中世史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB47	日本中世史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB67	日本近世史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB68	日本近世史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB69	日本近世史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB70	日本近世史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB74	日本近現代史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB75	日本近現代史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB76	日本近現代史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DB77	日本近現代史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD24	中国史	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD25	朝鮮史	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD26	東南アジア史	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD27	西アジア史(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD28	西アジア史(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD29	南アジア史	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DD30	古代地中海世界	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF24	ヨーロッパ中世史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF25	ヨーロッパ中世史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF26	ヨーロッパ中世史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF27	ヨーロッパ中世史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF28	ヨーロッパ近代史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF29	ヨーロッパ近代史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF30	ヨーロッパ近代史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF32	ヨーロッパ近代史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF34	ヨーロッパ現代史1(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF35	ヨーロッパ現代史1(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF36	ヨーロッパ現代史2(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF37	ヨーロッパ現代史2(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF38	ロシア史	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF39	アメリカ史(1)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF40	アメリカ史(2)	2	○	Ⅲ
史学	2	選	DF45	ラテンアメリカ史	2	○	Ⅲ
史学	4	選	DH69	世界史演習Ⅱ-2(1)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH70	世界史演習Ⅱ-2(2)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH77	世界史演習Ⅱ-3(1)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH78	世界史演習Ⅱ-3(2)	2	-	Ⅲ

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
史学	4	選	DH79	世界史演習Ⅱ-4(1)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH80	世界史演習Ⅱ-4(2)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH81	世界史演習Ⅱ-5(1)	2	-	Ⅲ
史学	4	選	DH82	世界史演習Ⅱ-5(2)	2	-	Ⅲ
史学	2	選	DB19	日本考古学	2	○	Ⅳ
史学	2	選	DB20	日本民俗学	2	○	Ⅳ
史学	2	選	DB78	日本史フィールドワーク1	2	○	Ⅳ
史学	2	選	DB79	日本史フィールドワーク2	2	○	Ⅳ
○人間関係学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
人関	3	選	EG13	文化人類学特講3	2	○	Ⅱ
人関	2	選	EE17	社会学	2	○	Ⅳ
人関	2	選	EE77	ファッションの社会学	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EE92	社会学特講2	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EE93	社会学特講3	2	○	Ⅳ
人関	2	選	EE94	社会学特講4	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EF03	文化人類学	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EF12	文化人類学特講1	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EF13	文化人類学特講4	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EG12	文化人類学特講2	2	○	Ⅳ
人関	2	選	EG15	文化人類学特講5	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EG16	文化人類学特講6	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EG17	文化人類学特講7	2	○	Ⅳ
人関	2	選	EN03	人間関係概論3	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EP19	観光と文化	2	○	Ⅳ
人関	2	選	EP20	開発と文化	2	-	Ⅳ
人関	3	選	EG22	文化人類学特講11	2	-	Ⅳ
人関	3	選	EL14	自然地理学	2	-	Ⅳ
人関	3	選	EL23	人文地理学	2	-	Ⅳ
人関	3	選	EP21	環境と人間	2	-	Ⅳ
人関	2	選	EA10	社会心理学	2	-	Ⅴ
人関	2	選	EB13	社会心理学特講3	2	○	Ⅴ
人関	2	選	EB15	社会心理学特講5	2	-	Ⅴ
人関	2	選	EB16	社会心理学特講6	2	○	Ⅴ
人関	2	選	EB20	社会心理学特講10	2	-	Ⅴ
人関	2	選	EB21	社会心理学特講11	2	-	Ⅴ
人関	2	選	EB22	社会心理学特講12	2	○	Ⅴ
人関	2	選	EN01	人間関係概論1	2	-	Ⅴ
人関	3	選	EA08	メディアと社会心理	2	○	Ⅴ
人関	3	選	EB01	社会心理学特講1	2	○	Ⅴ
人関	3	選	EB14	社会心理学特講4	2	-	Ⅴ
人関	3	選	EB17	社会心理学特講7	2	○	Ⅴ
人関	3	選	EB18	社会心理学特講8	2	-	Ⅴ
人関	3	選	EB19	社会心理学特講9	2	-	Ⅴ
人関	2	選	EE23	家族社会学	2	-	Ⅵ
人関	2	選	EE34	職業社会学	2	-	Ⅵ
人関	2	選	EE91	社会学特講1	2	○	Ⅵ
人関	2	選	EE95	人間関係特講1	2	○	Ⅵ
人関	2	選	EE96	人間関係特講2	2	○	Ⅵ
人関	2	選	EN02	人間関係概論2	2	-	Ⅵ
人関	3	選	EE97	社会学特講5	2	-	Ⅵ
人関	3	選	EE98	社会学特講6	2	-	Ⅵ
人関	3	選	EB02	社会心理学特講2	2	-	-
○国際交流学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
国際	2	選	GL15	Japan in the Global Context	2	-	Ⅰ
国際	2	選	GL21	情報処理入門Ⅰ	2	-	Ⅰ
国際	2	選	GN67	English for Global Communicators	2	-	Ⅰ

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
国際	2	選	GP37	交渉と対話	2	-	I
国際	2	選	GP38	言語とアイデンティティ	2	-	I
国際	2	選	GP53	リーダーシップ論	2	-	I
国際	3	選	GL12	Talking about Global Issues	2	-	I
国際	3	選	GL22	情報処理入門II	2	-	I
国際	3	選	GP39	グローバル社会と言語	2	-	I
国際	3	選	GP40	異文化理解とコミュニケーション	2	-	I
国際	2	選	GM48	国際文化政策論1	2	-	II
国際	2	選	GP34	異文化メディア論1	2	-	II
国際	2	選	GP35	異文化メディア論2	2	○	II
国際	2	選	GP54	フランスの社会と文化1	2	○	II
国際	2	選	GP55	フランスの社会と文化2	2	○	II
国際	1	選	GM15	政治学1	2	○	III
国際	1	選	GM37	国際法	2	○	III
国際	2	選	GB13	法律学I	2	○	III
国際	2	選	GB14	法律学II	2	○	III
国際	2	選	GD22	国際経済学1	2	-	III
国際	2	選	GD32	ICT社会論	2	-	III
国際	2	選	GM11	国際政治学1	2	○	III
国際	2	選	GM16	政治学2	2	○	III
国際	2	選	GM17	マクロ経済学	2	○	III
国際	2	選	GM18	ミクロ経済学	2	○	III
国際	2	選	GM19	経済政策論	2	○	III
国際	2	選	GM59	国際問題ワークショップ1	2	○	III
国際	2	選	GM60	国際問題ワークショップ2	2	○	III
国際	2	選	GM67	国際機構論	2	○	III
国際	2	選	GM78	現代人権論1	2	○	III
国際	2	選	GM79	現代人権論2	2	○	III
国際	3	選	GD23	国際経済学2	2	-	III
国際	3	選	GM12	国際政治学2	2	○	III
国際	3	選	GM20	開発経済論	2	-	III
国際	3	選	GM55	難民・移民論	2	-	III
国際	3	選	GM56	EU論	2	-	III
国際	3	選	GP60	現代家族法1	2	-	III
国際	3	選	GP61	現代家族法2	2	-	III
国際	4	選	GP26	メディアと社会3	2	-	III
国際	1	選	GM50	国際協力基礎ワークショップ	2	○	IV
国際	1	選	GM63	NGO基礎ワークショップ	2	○	IV
国際	1	選	GP24	メディアと社会1	2	○	IV
国際	1	選	GP25	メディアと社会2	2	○	IV
国際	1	選	GP28	国際メディア論1	2	○	IV
国際	2	選	GM47	国際文化協力論	2	○	IV
国際	2	選	GM68	東アジア地域論	2	○	IV
国際	2	選	GM69	東南アジア地域論	2	○	IV
国際	2	選	GM70	中東地域論	2	○	IV
国際	2	選	GM76	ラテンアメリカ地域論	2	○	IV
国際	2	選	GM77	アフリカ地域論	2	○	IV
国際	2	選	GM81	国際環境論1	2	○	IV
国際	2	選	GP27	メディアと社会4	2	○	IV
国際	2	選	GP29	国際メディア論2	2	○	IV
国際	2	選	GP36	比較文化論	2	-	IV
国際	2	選	GP56	フランス事情1	2	○	IV
国際	2	選	GP57	フランス事情2	2	○	IV
国際	2	選	GP58	東アジアの社会と文化1	2	○	IV
国際	2	選	GP59	東アジアの社会と文化2	2	○	IV
国際	3	選	GM25	ソーシャルビジネス論	2	-	IV

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
国際	3	選	GM49	国際文化政策論2	2	-	IV
国際	3	選	GM64	環境学1	2	-	IV
国際	3	選	GM65	環境学2	2	-	IV
国際	3	選	GM82	国際環境論2	2	-	IV
国際	3	選	GP30	国際ニュースワークショップ1	2	-	IV
国際	3	選	GP31	国際ニュースワークショップ2	2	-	IV
国際	3	選	GP33	メディアワークショップ2	2	-	IV
国際	4	選	GL20	国際協力プロジェクト実習	2	-	IV
国際	4	選	GP32	メディアワークショップ1	2	-	IV
○哲学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
哲学	1	選	HA15	哲学概論1	2	○	I
哲学	1	選	HA16	哲学概論2	2	○	I
哲学	2	選	HE28	ギリシア語I (1)	2	○	I
哲学	2	選	HE29	ギリシア語I (2)	2	○	I
哲学	2	選	HE30	ラテン語I (1)	2	○	I
哲学	2	選	HE31	ラテン語I (2)	2	○	I
哲学	3	選	HB29	哲学・倫理学特講3	2	-	I
哲学	3	選	HB33	哲学・倫理学特講7	2	-	I
哲学	3	選	HB34	哲学・倫理学特講8	2	-	I
哲学	3	選	HB35	哲学・倫理学特講9	2	-	I
哲学	3	選	HB45	哲学・倫理学演習1 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB46	哲学・倫理学演習1 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB47	哲学・倫理学演習2 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB48	哲学・倫理学演習2 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB49	哲学・倫理学演習3 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB50	哲学・倫理学演習3 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB53	哲学・倫理学演習5 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB54	哲学・倫理学演習5 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB55	哲学・倫理学演習6 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB56	哲学・倫理学演習6 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB57	哲学・倫理学演習7 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB58	哲学・倫理学演習7 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HB59	哲学・倫理学演習8 (1)	2	-	I
哲学	3	選	HB60	哲学・倫理学演習8 (2)	2	-	I
哲学	3	選	HE32	ギリシア語II (1)	2	-	I
哲学	3	選	HE33	ギリシア語II (2)	2	-	I
哲学	3	選	HE34	ラテン語II (1)	2	-	I
哲学	3	選	HE35	ラテン語II (2)	2	-	I
哲学	1	選	HC15	美学・芸術学概論1	2	○	II
哲学	1	選	HC16	美学・芸術学概論2	2	○	II
哲学	2	選	HC17	日本美術史1	2	-	II
哲学	2	選	HC18	日本美術史2	2	-	II
哲学	2	選	HC19	東洋美術史1	2	-	II
哲学	2	選	HC20	東洋美術史2	2	-	II
哲学	2	選	HC23	西洋美術史1	2	-	II
哲学	2	選	HC24	西洋美術史2	2	-	II
哲学	3	選	HB36	哲学・倫理学特講10	2	-	II
哲学	3	選	HB73	日本思想史学演習2 (1)	2	-	II
哲学	3	選	HB74	日本思想史学演習2 (2)	2	-	II
哲学	3	選	HC35	美学・芸術学特講1	2	-	II
哲学	3	選	HC36	美学・芸術学特講2	2	-	II
哲学	3	選	HC37	美学・芸術学特講3	2	-	II
哲学	3	選	HC38	美学・芸術学特講4	2	-	II
哲学	3	選	HC39	美学・芸術学特講5	2	-	II
哲学	3	選	HC40	美学・芸術学特講6	2	-	II
哲学	3	選	HC53	美学・芸術学演習1 (1)	2	-	II

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
哲学	3	選	HC54	美学・芸術学演習1(2)	2	-	II
哲学	3	選	HC55	美学・芸術学演習2(1)	2	-	II
哲学	3	選	HC56	美学・芸術学演習2(2)	2	-	II
哲学	3	選	HC57	美学・芸術学演習3(1)	2	-	II
哲学	3	選	HC58	美学・芸術学演習3(2)	2	-	II
哲学	3	選	HD89	キリスト教美術(1)	2	-	II
哲学	3	選	HD90	キリスト教美術(2)	2	-	II
哲学	3	選	HD91	キリスト教音楽(1)	2	-	II
哲学	3	選	HD92	キリスト教音楽(2)	2	-	II
哲学	3	選	HD93	キリスト教文学(1)	2	-	II
哲学	3	選	HD94	キリスト教文学(2)	2	-	II
哲学	1	選	HA17	倫理学概論1	2	○	III
哲学	1	選	HA18	倫理学概論2	2	○	III
哲学	2	選	HA98	社会思想史1	2	○	III
哲学	2	選	HA99	社会思想史2	2	○	III
哲学	3	選	HB61	哲学・倫理学演習9(1)	2	-	III
哲学	3	選	HB62	哲学・倫理学演習9(2)	2	-	III
哲学	1	選	HD43	宗教学概論1	2	○	IV
哲学	2	選	HA94	西洋古代・中世哲学史1	2	-	IV
哲学	2	選	HA95	西洋古代・中世哲学史2	2	-	IV
哲学	2	選	HA96	西洋近現代哲学史1	2	-	IV
哲学	2	選	HA97	西洋近現代哲学史2	2	-	IV
哲学	3	選	HB30	哲学・倫理学特講4	2	-	IV
哲学	3	選	HB71	日本思想史学演習1(1)	2	-	IV
哲学	3	選	HB72	日本思想史学演習1(2)	2	-	IV
哲学	3	選	HD77	キリスト教学特講2(1)	2	-	IV
哲学	3	選	HD78	キリスト教学特講2(2)	2	-	IV
哲学	1	選	HD41	キリスト教学概論1	2	○	V
哲学	1	選	HD42	キリスト教学概論2	2	○	V
哲学	1	選	HD44	宗教学概論2	2	○	V
哲学	2	選	HD55	キリスト教思想史1	2	○	V
哲学	2	選	HD56	キリスト教思想史2	2	○	V
哲学	2	選	HD57	宗教思想史1	2	○	V
哲学	2	選	HD58	宗教思想史2	2	○	V
哲学	3	選	HB27	哲学・倫理学特講1	2	○	V
哲学	3	選	HB28	哲学・倫理学特講2	2	○	V
哲学	3	選	HB37	哲学・倫理学特講11	2	-	V
哲学	3	選	HB38	哲学・倫理学特講12	2	-	V
哲学	3	選	HD75	キリスト教学特講1(1)	2	-	V
哲学	3	選	HD76	キリスト教学特講1(2)	2	-	V
哲学	3	選	HD79	キリスト教学特講3(1)	2	-	V
哲学	3	選	HD80	キリスト教学特講3(2)	2	-	V
哲学	3	選	HD81	聖書学特講1	2	-	V
哲学	3	選	HD82	聖書学特講2	2	-	V
哲学	3	選	HD83	宗教学特講1	2	-	V
哲学	3	選	HD84	宗教学特講2	2	-	V
哲学	3	選	HD85	宗教学特講3	2	-	V
哲学	3	選	HD86	宗教学特講4	2	-	V
哲学	3	選	HE01	キリスト教学演習1(1)	2	-	V
哲学	3	選	HE02	キリスト教学演習1(2)	2	-	V
哲学	3	選	HE03	キリスト教学演習2(1)	2	-	V
哲学	3	選	HE04	キリスト教学演習2(2)	2	-	V
哲学	3	選	HE05	キリスト教学演習3(1)	2	-	V
哲学	3	選	HE06	キリスト教学演習3(2)	2	-	V
哲学	3	選	HE07	キリスト教学演習4(1)	2	-	V
哲学	3	選	HE08	キリスト教学演習4(2)	2	-	V

担当研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎課程	L.A.区分
哲学	1	選	HA19	日本思想史学概論1	2	○	VI
哲学	1	選	HA20	日本思想史学概論2	2	○	VI
哲学	3	選	HB31	哲学・倫理学特講5	2	-	VI
哲学	3	選	HB32	哲学・倫理学特講6	2	-	VI
哲学	3	選	HB51	哲学・倫理学演習4(1)	2	-	VI
哲学	3	選	HB52	哲学・倫理学演習4(2)	2	-	VI
○教育学科生以外(※1は教育学専攻生以外)にとって「関連分野」となる科目(聖心リベラル・アーツ群の科目)							
教育	2	選	JC23	教育哲学	2	-	I
教育	4	選	JD48	人間学習3	2	-	II
教育	4	選	JD49	人間学習4	2	-	II
教育	4	選	JD50	人間学習5	2	-	II
教育	4	選	JD52	人間学習7	2	-	II
教育	4	選	JD51	人間学習6	2	-	III
教育	2	選	JC55	比較教育学1 ※1	2	○	IV
教育	3	選	JC93	発展途上国における教育問題(1)	2	○	IV
教育	3	選	JC94	発展途上国における教育問題(2)	2	○	IV
教育	4	選	JD47	人間学習2	2	○	IV
教育	4	選	JD53	人間学習8	2	-	IV
教育	4	選	JD46	人間学習1	2	-	V
教育	2	選	JC47	生涯学習概論	2	-	VI
教育	3	選	JC56	比較教育学2 ※1	2	-	VI
教育	4	選	JD54	人間学習9	2	-	VI
○心理学科生以外にとって「関連分野」となる科目(ただし、※2は初等教育学専攻生、※3は教育学専攻生にとって「専攻分野」となる)							
心理	1	選	LN17	発達・認知心理学特講7	2	○	I
心理	2	選	LM26	学習・言語心理学	2	-	I
心理	1	選	LP12	臨床心理学特講2	2	○	V
心理	2	選	LM13	感情・人格心理学	2	-	V
心理	2	選	LM29	福祉心理学	2	-	V
心理	2	選	LN15	発達・認知心理学特講5	2	-	V
心理	2	選	LP15	臨床心理学特講5	2	-	V
心理	3	選	LM21	精神疾患とその治療	2	-	V
心理	1	選	LN11	発達・認知心理学特講1	2	○	VI
心理	1	選	LP11	臨床心理学特講1	2	○	VI
心理	2	選	LN16	発達・認知心理学特講6	2	-	VI
心理	2	選	LN18	発達・認知心理学特講8	2	-	VI
心理	3	選	LN12	発達・認知心理学特講2	2	-	VI
心理	2	選	LH11	発達心理学1 ※2	2	-	-
心理	2	選	LH12	発達心理学2 ※3	2	-	-
心理	2	選	LM14	社会・集団・家族心理学	2	-	-
心理	2	選	LN19	発達・認知心理学特講9	2	-	-
○副専攻・GLP科目							
※開講学科が所属学科以外の科目が「関連分野」の単位となる。 対象となる科目については、各副専攻およびグローバルリーダーシップ・プログラム(GLP)で確認すること。							
○博物館関連科目							
※博物館学芸員課程の科目のうち、以下の科目は、史学科生を含む履修者全員にとって「関連分野」の単位となる。詳細は博物館学芸員課程の履修要項で確認すること。							
史学	2		DJ21	博物館概論	2	○	-
史学	2		DJ28	博物館経営論	2	○	-
史学	2		DJ29	博物館展示論	2	○	-
史学	2		DJ30	博物館資料論	2	○	-
史学	2		DJ32	博物館資料保存論	2	○	-
史学	3		DJ26	博物館情報・メディア論	2	-	-
史学	3		DJ27	博物館教育論	2	-	-

担当 研究室	レベル	区分	コード	授業科目名	単位	基礎 課程	L.A. 区分
○聖心リベラル・アーツ群以外の教育学科開講科目（主に教職に関する科目）							
①履修者全員にとって「関連分野」となる科目							
教育	3		RB13	国語科教育法2	2	-	-
教育	3		RB14	国語科教育法3	2	-	-
教育	3		RB15	国語科教育法1（1）	2	-	-
教育	3		RB16	国語科教育法1（2）	2	-	-
教育	3		RB36	社会科教育法1	2	-	-
教育	3		RB37	社会科教育法2	2	-	-
教育	3		RB38	社会・地理歴史科教育法1	2	-	-
教育	3		RB39	社会・地理歴史科教育法2	2	-	-
教育	3		RB40	社会・公民科教育法1	2	-	-
教育	3		RB41	社会・公民科教育法2	2	-	-
教育	3		RB73	英語科教育法2	2	-	-
教育	3		RB74	英語科教育法3	2	-	-
教育	3		RB75	英語科教育法1（1）	2	-	-
教育	3		RB76	英語科教育法1（2）	2	-	-
教育	3		RB82	宗教科教育法2	2	-	-
教育	3		RB83	宗教科教育法3	2	-	-
教育	3		RB86	宗教科教育法1（1）	2	-	-
教育	3		RB87	宗教科教育法1（2）	2	-	-
教育	4		RC16	教育実習指導1	1	-	-
教育	4		RC17	教育実習指導4	1	-	-
教育	4		RC31	教育実習1	2	-	-
教育	4		RC32	教育実習2	2	-	-
②教育学科生以外にとって「関連分野」となる科目							
教育	2		JA13	教育原理1	2	-	-
教育	2		JC13	西洋社会思想	2	-	-
教育	2		JC30	教育方法 [含ICT活用]	2	○	-
教育	2		JC48	社会学概論1	2	-	-
教育	2		JC49	社会学概論2	2	-	-
教育	2		JH83	教育心理学	2	-	-
教育	2		KH15	カリキュラム論	2	-	-
教育	2		KH16	外国教育史	2	○	-
教育	2		KH17	日本教育史	2	○	-
教育	3		JH81	道德教育の理論と実践	2	-	-
教育	3		JH82	教育相談	2	-	-
教育	3		JH84	特別活動	2	○	-
教育	3		JH85	生徒指導 [含進路指導]	2	○	-
教育	3		KH18	教育経営と学校制度	2	-	-
③教育学専攻生以外の履修者にとって「関連分野」となる科目							
教育	2		RA22	教育原理2	2	○	-
教育	3		JC34	教育メディア論	2	○	-
教育	3		JE13	メディア教材開発	2	-	-
教育	3		JE14	教育情報と学習デザイン	2	-	-
④教育学専攻生・初等教育学専攻初等教育コース生以外の履修者にとって「関連分野」となる科目							
教育	2		JH86	特別支援教育概論	2	-	-
教育	3		JH87	総合的な学習の時間の指導法	2	-	-
⑤初等教育学専攻初等教育コース生以外の履修者にとって「関連分野」となる科目							
教育	3		KH19	教職入門	2	○	-
教育	4		KG44	教職実践演習	2	-	-
○大学院開講科目							
※学部生が履修可能な大学院開講科目のうち、所属学科専攻コースのカリキュラムで「専攻分野」となる科目以外の科目は「関連分野」の単位となる。							

3-3. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

区分・分野系列	カリキュラムマップ	必要単位	卒業要件	
● 卒業要件単位 : 最低126単位		126		
1 全学必修分野 : 28単位		28	⇒「全学必修分野」pp.36-38参照	
2 専攻課程分野 : 最低90単位	※余剰①と余剰②の合計が最低12単位必要	90		
a 専攻分野 : 最低56単位+余剰①		56		
必修	a1 必修科目	英文-1、2	12	
	a2 英語基礎研究	英文-1	4	
	a3 3年演習	英文-2	4	
	a4 4年演習	英文-2	4	
	a5 特講類	英文-3	8	
	a6 自由選択科目	英文-4、5	-	
選択必修			「3-4. 専攻分野の卒業要件」を参照	
選択				
b 関連分野 : 最低22単位+余剰②		22		⇒「関連分野」pp.39-45参照
3 卒業論文 : 8単位		8		⇒「卒業論文」p.46参照

3-4. 専攻分野の卒業要件

以下、専攻分野の履修要件を記載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

※履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読むこと。

※下記科目の開講状況、履修条件等は当該年度のシラバス等で確認すること。

<科目リストの見方>

・レベル：授業内容のレベル

⇒「ナンバリングコード」p.16参照

・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修履修科目

⇒「履修方法による分類」p.16参照

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
専攻分野の卒業要件 <input type="checkbox"/> 下記の卒業要件①～⑤を満たすように修得していること <input type="checkbox"/> a1～a6の科目から最低56単位修得していること <input type="checkbox"/> 関連分野と合わせて最低90単位修得していること					
▼a1：必修科目（2・3年次指定科目）					
卒業要件① <input type="checkbox"/> 下記（a1）の科目をすべて（計12単位）修得していること					
2	必修	MA16	英語学概論1	2	2年次指定科目
2	必修	MA17	英語学概論2	2	2年次指定科目
2	必修	MA34	英文学史概説1	2	2年次指定科目
2	必修	MA35	英文学史概説2	2	2年次指定科目
3	必修	ML32	英作文1	2	3年次指定科目
3	必修	ML33	英作文2	2	3年次指定科目
▼a2：英語基礎研究（2年次指定科目）					
卒業要件② <input type="checkbox"/> 下記（a2）の科目から最低4単位修得していること					
2	選必	MP01	英語基礎研究1-1	2	
2	選必	MP02	英語基礎研究1-2	2	
2	選必	MP03	英語基礎研究2-1	2	
2	選必	MP04	英語基礎研究2-2	2	
2	選必	MP05	英語基礎研究3-1	2	
2	選必	MP06	英語基礎研究3-2	2	
2	選必	MP07	英語基礎研究4-1	2	
2	選必	MP08	英語基礎研究4-2	2	
2	選必	MP09	英語基礎研究5-1	2	
2	選必	MP10	英語基礎研究5-2	2	
2	選必	MP11	英語基礎研究6-1	2	
2	選必	MP12	英語基礎研究6-2	2	
2	選必	MP13	英語基礎研究7-1	2	
2	選必	MP14	英語基礎研究7-2	2	
2	選必	MP15	英語基礎研究8-1	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
2	選必	MP16	英語基礎研究8-2	2	
2	選必	MP17	英語基礎研究9-1	2	
2	選必	MP18	英語基礎研究9-2	2	
2	選必	MP19	英語基礎研究10-1	2	
2	選必	MP20	英語基礎研究10-2	2	
▼a3：3年演習（3年次指定科目）					
卒業要件③ <input type="checkbox"/> 下記（a3）の科目から最低4単位修得していること					
3	選必	MD01	3年英語学演習1-1	2	
3	選必	MD02	3年英語学演習1-2	2	
3	選必	MD03	3年英語学演習2-1	2	
3	選必	MD04	3年英語学演習2-2	2	
3	選必	MD05	3年英語学演習3-1	2	
3	選必	MD06	3年英語学演習3-2	2	
3	選必	MD07	3年英米文学演習1-1	2	
3	選必	MD08	3年英米文学演習1-2	2	
3	選必	MD09	3年英米文学演習2-1	2	
3	選必	MD10	3年英米文学演習2-2	2	
3	選必	MD11	3年英米文学演習3-1	2	
3	選必	MD12	3年英米文学演習3-2	2	
3	選必	MD13	3年英米文学演習4-1	2	
3	選必	MD14	3年英米文学演習4-2	2	
3	選必	MD15	3年英米文学演習5-1	2	
3	選必	MD16	3年英米文学演習5-2	2	
3	選必	MD23	3年メディア・コミュニケーション演習1-1	2	
3	選必	MD24	3年メディア・コミュニケーション演習1-2	2	
3	選必	MD25	3年メディア・コミュニケーション演習2-1	2	
3	選必	MD26	3年メディア・コミュニケーション演習2-2	2	
3	選必	MD27	3年メディア・コミュニケーション演習3-1	2	
3	選必	MD28	3年メディア・コミュニケーション演習3-2	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
▼a4：4年演習（4年次指定科目）					
卒業要件④ □下記（a4）の科目から最低4単位修得していること					
4	選必	MD51	4年英語学演習1-1	2	
4	選必	MD52	4年英語学演習1-2	2	
4	選必	MD53	4年英語学演習2-1	2	
4	選必	MD54	4年英語学演習2-2	2	
4	選必	MD55	4年英語学演習3-1	2	
4	選必	MD56	4年英語学演習3-2	2	
4	選必	MD57	4年英米文学演習1-1	2	
4	選必	MD58	4年英米文学演習1-2	2	
4	選必	MD59	4年英米文学演習2-1	2	
4	選必	MD60	4年英米文学演習2-2	2	
4	選必	MD61	4年英米文学演習3-1	2	
4	選必	MD62	4年英米文学演習3-2	2	
4	選必	MD63	4年英米文学演習4-1	2	
4	選必	MD64	4年英米文学演習4-2	2	
4	選必	MD65	4年英米文学演習5-1	2	
4	選必	MD66	4年英米文学演習5-2	2	
4	選必	MD73	4年メディア・コミュニケーション演習1-1	2	
4	選必	MD74	4年メディア・コミュニケーション演習1-2	2	
4	選必	MD75	4年メディア・コミュニケーション演習2-1	2	
4	選必	MD76	4年メディア・コミュニケーション演習2-2	2	
4	選必	MD77	4年メディア・コミュニケーション演習3-1	2	
4	選必	MD78	4年メディア・コミュニケーション演習3-2	2	
▼a5：特講類					
卒業要件⑤ □下記（a5）の科目から最低8単位修得していること					
3	選必	MF21	英語学特講1-1	2	
3	選必	MF22	英語学特講1-2	2	
3	選必	MF23	英語学特講2-1	2	
3	選必	MF24	英語学特講2-2	2	
3	選必	MF25	英語学特講3-1	2	
3	選必	MF26	英語学特講3-2	2	
3	選必	MF27	英語学特講4-1	2	
3	選必	MF28	英語学特講4-2	2	
3	選必	MF29	英語学特講5-1	2	
3	選必	MF30	英語学特講5-2	2	
3	選必	MF31	英語学特講6-1	2	
3	選必	MF32	英語学特講6-2	2	
3	選必	MG12	英米文学特講2-1	2	
3	選必	MG13	英米文学特講2-2	2	
3	選必	MG14	英米文学特講3-1	2	
3	選必	MG15	英米文学特講3-2	2	
3	選必	MG16	英米文学特講4-1	2	
3	選必	MG17	英米文学特講4-2	2	
3	選必	MG18	英米文学特講5-1	2	
3	選必	MG19	英米文学特講5-2	2	
3	選必	MG21	英米文学特講6-1	2	
3	選必	MG22	英米文学特講6-2	2	
3	選必	MG23	英米文学特講7-1	2	
3	選必	MG24	英米文学特講7-2	2	
3	選必	MG27	英米文学特講8-1	2	
3	選必	MG28	英米文学特講8-2	2	
3	選必	MJ19	メディア・コミュニケーション特講1	2	
3	選必	MJ31	メディア・コミュニケーション特講4-1	2	
3	選必	MJ32	メディア・コミュニケーション特講4-2	2	
3	選必	MJ33	メディア・コミュニケーション特講5-1	2	
3	選必	MJ34	メディア・コミュニケーション特講5-2	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
3	選必	MJ35	メディア・コミュニケーション特講6-1	2	
3	選必	MJ36	メディア・コミュニケーション特講6-2	2	
3	選必	MJ27	メディア・コミュニケーション特講7-1	2	
3	選必	MJ28	メディア・コミュニケーション特講7-2	2	
3	選必	MJ30	メディア・コミュニケーション特講8-2	2	
5-6	選必	WL** WM**	大学院英語英文学専攻修士課程開講科目		
▼a6：自由選択科目					
1	選	MB17	英語文学への招待1	2	
1	選	MB18	英語文学への招待2	2	
2	選	MB13	米文学史概説1	2	
2	選	MB14	米文学史概説2	2	
2	選	MB23	メディア・コミュニケーション入門1	2	
2	選	MB25	メディア・コミュニケーション入門2	2	
2	選	MB26	オラルコミュニケーション1	2	
2	選	MB27	オラルコミュニケーション2	2	
2	選	ML22	英文法	2	
2	選	ML44	資格英語1	2	
2	選	ML45	資格英語2	2	
2	選	ML46	Build Your English Skills	2	
2	選	MM54	異文化理解	2	
2	選	MM63	英語文化論1-1	2	
2	選	MM64	英語文化論1-2	2	
2	選	MM73	英語文化論6-1	2	
3	選	MB15	英語史1	2	
3	選	MB16	英語史2	2	
3	選	MB19	英会話1	2	
3	選	MB20	英会話2	2	
3	選	ML21	メディア・リテラシー	2	
3	選	ML34	英語発音法	2	
3	選	ML43	Impromptu Communication Skills	2	
3	選	MM65	英語文化論2-1	2	
3	選	MM66	英語文化論2-2	2	
3	選	MM67	英語文化論3-1	2	
3	選	MM68	英語文化論3-2	2	
3	選	MM69	英語文化論4-1	2	
3	選	MM70	英語文化論4-2	2	
3	選	MM71	英語文化論5-1	2	
3	選	MM72	英語文化論5-2	2	
3	選	MM74	翻訳を通じた企業協力	2	

3-5. 年次指定科目

指定年次	年次指定科目
2年次	英文学史概説1, 英文学史概説2, 英語学概論1, 英語学概論2, 「英語基礎研究」の各科目
3年次	英作文1, 英作文2, 「3年演習」の各科目
4年次	「4年演習」の各科目

3-6. 履修上の注意

- 「3年演習」、「4年演習」について必要単位を超えて履修した場合は、担当者の許可が必要です。
なお、必要単位を超えて修得した単位は、学科の承認を得られれば、分野系列「特講類」の単位に振り替えることができます。
希望者は学科に申し出てください。
- 大学院開講科目で学部生が履修可能な科目は、開講年度ごとに指定されます。なお、大学院生の履修者数によっては、開講取止めとなる場合があります。

4-3. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

区分・分野系列	カリキュラムマップ	必要単位	卒業要件
● 卒業要件単位 : 最低126単位		126	
1 全学必修分野 : 28単位		28	⇒「全学必修分野」pp.36-38参照
2 専攻課程分野 : 最低90単位	※余剰①と余剰②の合計が最低12単位必要	90	
a 専攻分野 : 最低56単位+余剰①		56	
選択必修	a1 研究法実習	日文-6	2
	a2 概説類	日文-1	12
	a3 演習類 演習類A・演習類B・演習類C	日文-3	12
	a4 特講類	日文-2	16
	選択 a5 自由選択科目	日文-4, 5	-
b 関連分野 : 最低22単位+余剰②		22	⇒「関連分野」pp.39-45参照
3 卒業論文 : 8単位		8	⇒「卒業論文」p.46参照

4-4. 専攻分野の卒業要件

以下、専攻分野の履修要件を記載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

※履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読むこと。

※下記科目の開講状況、履修条件等は当該年度のシラバス等で確認すること。

<科目リストの見方>

・レベル：授業内容のレベル

⇒「ナンバリングコード」p.16参照

・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修履修科目

⇒「履修方法による分類」p.16参照

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
専攻分野の卒業要件			□下記の卒業要件①～④を満たすように修得していること		
			□a1～a5の科目から最低56単位修得していること		
			□関連分野と合わせて最低90単位修得していること		
▼a1：研究法実習（4年次指定科目）					
卒業要件① □下記（a1）の科目から2単位を修得していること					
4	選必	CC76	研究法実習1（1）	1	
4	選必	CC77	研究法実習1（2）	1	
4	選必	CC78	研究法実習2（1）	1	
4	選必	CC79	研究法実習2（2）	1	
4	選必	CC80	研究法実習3（1）	1	
4	選必	CC81	研究法実習3（2）	1	
4	選必	CC82	研究法実習4（1）	1	
4	選必	CC83	研究法実習4（2）	1	
4	選必	CE33	研究法実習5（1）	1	
4	選必	CE34	研究法実習5（2）	1	
4	選必	CE35	研究法実習6（1）	1	
4	選必	CE36	研究法実習6（2）	1	
4	選必	CE37	研究法実習7（1）	1	
4	選必	CE38	研究法実習7（2）	1	
▼a2：概説類					
卒業要件② □下記（a2）の科目から最低12単位を修得していること					
2	選必	CA71	日本文学史1	2	
2	選必	CA72	日本文学史2	2	
2	選必	CA73	日本文学史3	2	
2	選必	CA74	日本文学史4	2	
2	選必	CA75	日本文学史5	2	
2	選必	CA76	日本文学史6	2	
2	選必	CD19	日本語学概説1	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
2	選必	CD20	日本語学概説2	2	
2	選必	CD27	日本語史概説1	2	
2	選必	CD28	日本語史概説2	2	
▼a3：演習類					
卒業要件③ □下記（a3）の科目から最低12単位を修得していること					
□演習類A、演習類B、演習類Cの3分野から少なくとも異なる2分野を含むように修得していること					
<演習類A>					
3	選必	CC15	古典文学演習1（1）	2	
3	選必	CC16	古典文学演習1（2）	2	
3	選必	CC17	古典文学演習2（1）	2	
3	選必	CC18	古典文学演習2（2）	2	
3	選必	CC19	古典文学演習3（1）	2	
3	選必	CC20	古典文学演習3（2）	2	
3	選必	CC21	古典文学演習4（1）	2	
3	選必	CC22	古典文学演習4（2）	2	
<演習類B>					
3	選必	CC45	近代文学演習1（1）	2	
3	選必	CC46	近代文学演習1（2）	2	
3	選必	CC47	近代文学演習2（1）	2	
3	選必	CC48	近代文学演習2（2）	2	
3	選必	CC49	近代文学演習3（1）	2	
3	選必	CC50	近代文学演習3（2）	2	
3	選必	CC51	近代文学演習4（1）	2	
3	選必	CC52	近代文学演習4（2）	2	
<演習類C>					
3	選必	CE16	日本語学演習1（1）	2	
3	選必	CE17	日本語学演習1（2）	2	
3	選必	CE18	日本語学演習2（1）	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
3	選必	CE19	日本語学演習2(2)	2	
3	選必	CE20	日本語学演習3(1)	2	
3	選必	CE21	日本語学演習3(2)	2	
3	選必	CE22	日本語学演習4(1)	2	
3	選必	CE23	日本語学演習4(2)	2	
▼a4：特講類					
卒業要件④ □下記(a4)の科目から最低16単位を修得していること					
2	選必	CG29	日本語日文学特殊研究	2	
3	選必	CB17	古典文学研究1	2	
3	選必	CB18	古典文学研究2	2	
3	選必	CB19	古典文学研究3	2	
3	選必	CB20	古典文学研究4	2	
3	選必	CB39	児童文学研究	2	
3	選必	CB42	近代文学研究1	2	
3	選必	CB43	近代文学研究2	2	
3	選必	CB44	近代文学研究3	2	
3	選必	CB45	近代文学研究4	2	
3	選必	CD29	日本語の文法	2	
3	選必	CD30	日本語の音声	2	
3	選必	CD58	日本語学研究1	2	
3	選必	CD59	日本語学研究2	2	
▼a5：自由選択科目					
1	選	CA13	古典文学の世界	2	
1	選	CA14	近代文学の世界	2	
1	選	CD17	日本語の世界	2	
1	選	CD18	日本語教育の世界	2	
2	選	CF12	日本語教授法Ⅰ(1)	2	
2	選	CF13	日本語教授法Ⅰ(2)	2	
2	選	CG12	言語学概論1	2	
2	選	CG13	言語学概論2	2	
2	選	CG14	文芸創作入門(1)	2	
2	選	CG15	文芸創作入門(2)	2	
2	選	CG16	日本文化研究1	2	
2	選	CG17	日本文化研究2	2	
2	選	CG18	文章表現法(1)	2	
2	選	CG20	書道	2	
2	選	CG27	中国文学概論1	2	
2	選	CG28	中国文学概論2	2	
3	選	CF22	日本語教授法Ⅱ(1)	2	
3	選	CF23	日本語教授法Ⅱ(2)	2	
4	選	CF32	日本語教育実習(1)	1	
4	選	CF33	日本語教育実習(2)	1	
5	選	TA**	大学院日本語日文学専攻修士課程開講科目		

4-5. 年次指定科目

指定年次	年次指定科目
2年次	-
3年次	-
4年次	「研究法実習」の各科目

4-6. 履修上の注意

- ①「研究法実習」は卒業論文のテーマに合わせて選択してください。
- ②次の科目は、日本語日文学科生は2年次生のみが履修できます。
「古典文学の世界」「近代文学の世界」
「日本語の世界」
- ③自由選択科目のうち、次の科目は、日本語教員課程登録者のみが履修できます。
「日本語教育の世界」
「日本語教授法Ⅰ(1)」「日本語教授法Ⅰ(2)」
「日本語教授法Ⅱ(1)」「日本語教授法Ⅱ(2)」
「日本語教育実習(1)」「日本語教育実習(2)」
- ④国語科教員免許状取得希望者は、3年次の終わりまでに「文章表現法(1)」を修得しておかなければなりません。
- ⑤大学院開講科目で学部生が履修可能な科目は、開講年度ごとに指定されます。また、大学院日本語日文学専攻修士課程開講科目の学部生の履修者数は5名以内とします。なお、大学院生の履修者数によっては、開講中止となる場合があります。

4-7. 履修者の人数調整

以下の科目の履修希望者はあらかじめ日文研究室所定の手続き(年度初めのガイダンスで説明)を済ませてください。

- (1) 演習科目
 - ・規定の人数を超えた場合は、次の優先順位によって履修者の調整を行います。
 - ①4年次生
 - ②日本語日文学科生(3年次生)
 - ③日本語日文学科生(2年次生)
 - ④日本語教員課程登録者
 - ⑤日本語日文学副専攻生(3年次生。ただし、3年次に新規登録した学生は、4年次で履修可能。)
- (2) 「文芸創作入門(1)」「文芸創作入門(2)」
 - ・規定の人数を超えた場合は、次の優先順位によって履修者の調整を行います。
 - ①日本語日文学科生(4年次生、3年次生、2年次生の順)
 - ②日本語日文学副専攻生(4年次生、3年次生、2年次生の順)
 - ③他学科生(4年次生、3年次生、2年次生の順)
- (3) 「文章表現法(1)」
 - ・規定の人数を超えた場合は、次の優先順位によって履修者の調整を行います。
 - ①国語科教員免許状取得希望者
 - ②日本語日文学科生(4年次生、3年次生、2年次生の順)
- (4) 「書道」
 - ・規定の人数を超えた場合は、次の優先順位によって履修者の調整を行います。
 - ①国語科教員免許状取得希望者
 - ②日本語日文学科生(4年次生、3年次生、2年次生の順)
 - ③国語科教員免許状取得希望の科目等履修生
 - ④小学校教員免許状取得希望者および小学校教員免許状取得希望の科目等履修生

7-3. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

区分・分野系列	カリキュラムマップ	必要単位	卒業要件
● 卒業要件単位：最低126単位		126	
1 全学必修分野：28単位		28	⇒「全学必修分野」pp.36-38参照
2 専攻課程分野：最低90単位	※余剰①と余剰②の合計が最低12単位必要	90	
a 専攻分野：最低56単位+余剰①		56	
必修 a1 基礎科目	人関-1、3	8	「7-4. 専攻分野の卒業要件」を参照
選択必修 a3 演習Ⅰ	人関-6	4	
a4 演習Ⅱ	人関-7	4	
選択必修 a2 2年次演習	人関-8	(2)	
選択 a5 自由選択科目	人関-2～5	-	
b 関連分野：最低22単位+余剰②		22	⇒「関連分野」pp.39-45参照
3 卒業論文：8単位		8	⇒「卒業論文」p.46参照

7-4. 専攻分野の卒業要件

以下、専攻分野の履修要項を記載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

※履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読むこと。

※下記科目の開講状況、履修条件等は当該年度のシラバス等で確認すること。

<科目リストの見方>

・レベル：授業内容のレベル

⇒「ナンバリングコード」p.16参照

・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修科目

⇒「履修方法による分類」p.16参照

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
専攻分野の卒業要件					
□下記の卒業要件①～③を満たすように修得していること					
□a1～a5の科目から最低56単位修得していること					
□関連分野と合わせて最低90単位修得していること					
▼a1：基礎科目（2年次指定科目）					
卒業要件① □下記（a1）の科目をすべて（計8単位）修得していること					
2	必修	EN01	人間関係概論1	2	
2	必修	EN02	人間関係概論2	2	
2	必修	EN03	人間関係概論3	2	
2	必修	EH21	社会調査入門	2	
▼a2：2年次演習（必修科目：2年次）					
2	◎選	EN11	人間関係共通演習	2	
▼a3：演習Ⅰ（3年次指定科目）					
卒業要件② □下記（a3）の科目から、(1)(2)ペアで最低4単位を修得していること					
3	選必	ER33	社会心理学演習Ⅰ-1(1)	2	
3	選必	ER34	社会心理学演習Ⅰ-1(2)	2	
3	選必	ER35	社会心理学演習Ⅰ-2(1)	2	
3	選必	ER36	社会心理学演習Ⅰ-2(2)	2	
3	選必	ER37	社会心理学演習Ⅰ-3(1)	2	
3	選必	ER38	社会心理学演習Ⅰ-3(2)	2	
3	選必	ER45	社会学演習Ⅰ-1(1)	2	
3	選必	ER46	社会学演習Ⅰ-1(2)	2	
3	選必	ER47	社会学演習Ⅰ-2(1)	2	
3	選必	ER48	社会学演習Ⅰ-2(2)	2	
3	選必	ER49	社会学演習Ⅰ-3(1)	2	
3	選必	ER50	社会学演習Ⅰ-3(2)	2	
3	選必	ER57	文化人類学演習Ⅰ-1(1)	2	
3	選必	ER58	文化人類学演習Ⅰ-1(2)	2	
3	選必	ER59	文化人類学演習Ⅰ-2(1)	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
3	選必	ER60	文化人類学演習Ⅰ-2(2)	2	
▼a4：演習Ⅱ（4年次指定科目）					
卒業要件③ □下記（a4）の科目から、(1)(2)ペアで最低4単位を修得していること					
4	選必	ER39	社会心理学演習Ⅱ-1(1)	2	
4	選必	ER40	社会心理学演習Ⅱ-1(2)	2	
4	選必	ER41	社会心理学演習Ⅱ-2(1)	2	
4	選必	ER42	社会心理学演習Ⅱ-2(2)	2	
4	選必	ER43	社会心理学演習Ⅱ-3(1)	2	
4	選必	ER44	社会心理学演習Ⅱ-3(2)	2	
4	選必	ER51	社会学演習Ⅱ-1(1)	2	
4	選必	ER52	社会学演習Ⅱ-1(2)	2	
4	選必	ER53	社会学演習Ⅱ-2(1)	2	
4	選必	ER54	社会学演習Ⅱ-2(2)	2	
4	選必	ER55	社会学演習Ⅱ-3(1)	2	
4	選必	ER56	社会学演習Ⅱ-3(2)	2	
4	選必	ER61	文化人類学演習Ⅱ-1(1)	2	
4	選必	ER62	文化人類学演習Ⅱ-1(2)	2	
4	選必	ER63	文化人類学演習Ⅱ-2(1)	2	
4	選必	ER64	文化人類学演習Ⅱ-2(2)	2	
▼a5：自由選択科目					
3	選	EA08	メディアと社会心理	2	
2	選	EA10	社会心理学	2	
3	選	EB01	社会心理学特講1	2	
3	選	EB02	社会心理学特講2	2	
2	選	EB13	社会心理学特講3	2	
3	選	EB14	社会心理学特講4	2	
2	選	EB15	社会心理学特講5	2	
2	選	EB16	社会心理学特講6	2	
3	選	EB17	社会心理学特講7	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
3	選	EB18	社会心理学特講 8	2	
3	選	EB19	社会心理学特講 9	2	
2	選	EB20	社会心理学特講10	2	
2	選	EB21	社会心理学特講11	2	
2	選	EB22	社会心理学特講12	2	
4	選	EH10	社会心理学論文演習 (1)	2	
4	選	EH12	社会心理学論文演習 (2)	2	
3	選	EB93	情報活用の社会的実践	2	
2	選	EE17	社会学	2	
2	選	EE23	家族社会学	2	
2	選	EE34	職業社会学	2	
2	選	EE77	ファッションの社会学	2	
2	選	EE91	社会学特講 1	2	
2	選	EE92	社会学特講 2	2	
2	選	EE93	社会学特講 3	2	
2	選	EE94	社会学特講 4	2	
2	選	EE95	人間関係特講 1	2	
2	選	EE96	人間関係特講 2	2	
3	選	EE97	社会学特講 5	2	
3	選	EE98	社会学特講 6	2	
2	選	EF03	文化人類学	2	
2	選	EF12	文化人類学特講 1	2	
2	選	EG12	文化人類学特講 2	2	
3	選	EG13	文化人類学特講 3	2	
2	選	EF13	文化人類学特講 4	2	
2	選	EG15	文化人類学特講 5	2	
2	選	EG16	文化人類学特講 6	2	
2	選	EG17	文化人類学特講 7	2	
3	選	EG22	文化人類学特講11	2	
4	選	EH04	社会調査実習 1 (1)	2	
4	選	EH05	社会調査実習 1 (2)	2	
4	選	EH06	社会調査実習 2 (1)	2	
4	選	EH07	社会調査実習 2 (2)	2	
4	選	EH08	社会調査実習 3 (1)	2	
4	選	EH09	社会調査実習 3 (2)	2	
2	選	EH24	社会調査の技法	2	
2	選	EH30	社会統計学	2	
3	選	EH31	データ分析の基礎	2	
3	選	EH32	多変量解析法	2	
3	選	EH33	質的調査法 1	2	
3	選	EH34	質的調査法 2	2	
3	選	EH35	質的調査法 3	2	
3	選	EL14	自然地理学	2	
3	選	EL23	人文地理学	2	
2	選	EP19	観光と文化	2	
2	選	EP20	開発と文化	2	
3	選	EP21	環境と人間	2	
5	選	TK** TL**	大学院社会文化学専攻博士前期課程開講科目		

7-5. 年次指定科目・必履修科目

指定年次	年次指定科目	必履修科目
2年次	人間関係概論 1～3 社会調査入門	人間関係共通演習
3年次	「演習Ⅰ」の各科目	-
4年次	「演習Ⅱ」の各科目	-

7-6. 履修上の注意

- ①必履修科目「人間関係共通演習」は、卒業要件ではありませんが、2年次で必ず履修してください（3年次以降は履修できません）。
- ②大学院開講科目で学部生が履修可能な科目は、開講年度ごとに指定されます。なお、大学院生の履修者数によっては、開講取止めとなる場合があります。
- ③本学科の学生は2年次の4月の所定期間に**社会調査実習費として3,000円**を納入しなければなりません。この費用は学科のPC室の環境整備等に充てられます。なお、一度納入された社会調査実習費は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

7-7. 社会調査士の資格

人間関係学科では社会調査士の資格を取得するために必要なカリキュラムが整っています。卒業時までA～Gに対応する6つの指定科目の単位を修得し（EとFはどちらかを選択）、社会調査協会に証明書類を送付し、同協会の書類審査に合格することで資格を取得することができます（詳細は一般社団法人社会調査協会を参照のこと）。なお、社会調査士資格は、人間関係学科生のみが取得可能です。

卒業要件ではありませんが、卒業論文では全員が社会調査を実施することから、人間関係学科では社会調査士科目の履修を推奨します。

社会調査士カリキュラム

- 【A】社会調査の基本的事項に関する科目
- 【B】調査設計と実施方法に関する科目
- 【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目
- 【D】社会調査に必要な統計学に関する科目
- 【E】多変量解析の方法に関する科目
- 【F】質的な調査と分析の方法に関する科目社会調査を実際に経験し学習する科目
- 【G】社会調査を実際に経験し学習する科目

※社会調査士取得においては、【E】【F】はどちらか一方で可（学科の学びとしては、【F】はすべての学生に履修を推奨）。

履修モデル（領域別）

	対象となる科目		対象学年	心理領域	社会領域	文化領域	備考
	コード	授業科目名					
【A】	EH21	社会調査入門	2~4	○	○	○	※1
【B】	EH24	社会調査の技法	2~4	○	○	○	
【C】	EH31	データ分析の基礎A データ分析の基礎B	3・4	○	○	○	※2
【D】	EH30	社会統計学	2~4	○	○	○	
【E】	EH32	多変量解析法	3・4	○			※2
【F】	EH33	質的調査法 1	2~4	○	○	○	※3
	EH34	質的調査法 2	2~4	○	○	○	
	EH35	質的調査法 3	2~4	○	○	○	
【G】	EH04	社会調査実習 1 (1)	3・4	○			セットで修得
	EH05	社会調査実習 1 (2)					
	EH06	社会調査実習 2 (1)	3・4		○		セットで修得
	EH07	社会調査実習 2 (2)					
	EH08	社会調査実習 3 (1)	3・4			○	セットで修得
EH09	社会調査実習 3 (2)						

- ※1：卒業要件の必修科目
- ※2：「データ分析の基礎」(Aクラス)と「多変量解析法」はセットで受講することを強く推奨。
- ※3：【F】はいずれか1科目の履修で可。

10-3. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

区分・分野系列		カリキュラムマップ	必要単位	卒業要件
● 卒業要件単位 : 最低126単位			126	
1 全学必修分野 : 28単位			28	⇒「全学必修分野」pp.36-38参照
2 専攻課程分野 : 最低90単位		※余剰①と余剰②の合計が最低12単位必要	90	
a 専攻分野 : 最低56単位+余剰①			56	
必修	a1 必修科目	哲学-1	2	「10-4. 専攻分野の卒業要件」を参照
選択必修	a2 演習類	哲学-4	12	
選択	a3 自由選択科目	哲学-2、3、5	-	
b 関連分野 : 最低22単位+余剰②			22	⇒「関連分野」pp.39-45参照
3 卒業論文 : 8単位			8	⇒「卒業論文」p.46参照

10-4. 専攻分野の卒業要件

以下、専攻分野の履修要件を記載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

※履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読むこと。

※下記科目の開講状況、履修条件等は当該年度のシラバス等で確認すること。

<科目リストの見方>

・レベル：授業内容のレベル

⇒「ナンバリングコード」p.16参照

・区分：「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修修科目

⇒「履修方法による分類」p.16参照

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
専攻分野の卒業要件 <input type="checkbox"/> 下記の卒業要件①～②を満たすように修得していること <input type="checkbox"/> a1～a3の科目から最低56単位修得していること <input type="checkbox"/> 関連分野と合わせて最低90単位修得していること					
▼a1：必修科目（2年次指定科目）					
卒業要件① <input type="checkbox"/> 下記（a1）の科目をすべて（計2単位）修得していること					
1	必修	HA14	哲学基礎演習	2	
▼a2：演習類					
卒業要件② <input type="checkbox"/> 下記（a2）の科目から、最低12単位を修得していること					
3	選必	HB45	哲学・倫理学演習1（1）	2	
3	選必	HB46	哲学・倫理学演習1（2）	2	
3	選必	HB47	哲学・倫理学演習2（1）	2	
3	選必	HB48	哲学・倫理学演習2（2）	2	
3	選必	HB49	哲学・倫理学演習3（1）	2	
3	選必	HB50	哲学・倫理学演習3（2）	2	
3	選必	HB51	哲学・倫理学演習4（1）	2	
3	選必	HB52	哲学・倫理学演習4（2）	2	
3	選必	HB53	哲学・倫理学演習5（1）	2	
3	選必	HB54	哲学・倫理学演習5（2）	2	
3	選必	HB55	哲学・倫理学演習6（1）	2	
3	選必	HB56	哲学・倫理学演習6（2）	2	
3	選必	HB57	哲学・倫理学演習7（1）	2	
3	選必	HB58	哲学・倫理学演習7（2）	2	
3	選必	HB59	哲学・倫理学演習8（1）	2	
3	選必	HB60	哲学・倫理学演習8（2）	2	
3	選必	HB61	哲学・倫理学演習9（1）	2	
3	選必	HB62	哲学・倫理学演習9（2）	2	
3	選必	HB71	日本思想史演習1（1）	2	
3	選必	HB72	日本思想史演習1（2）	2	
3	選必	HB73	日本思想史演習2（1）	2	
3	選必	HB74	日本思想史演習2（2）	2	
3	選必	HC53	美学・芸術学演習1（1）	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
3	選必	HC54	美学・芸術学演習1（2）	2	
3	選必	HC55	美学・芸術学演習2（1）	2	
3	選必	HC56	美学・芸術学演習2（2）	2	
3	選必	HC57	美学・芸術学演習3（1）	2	
3	選必	HC58	美学・芸術学演習3（2）	2	
3	選必	HC59	美学・芸術学演習4（1）	2	
3	選必	HC60	美学・芸術学演習4（2）	2	
3	選必	HE01	キリスト教学演習1（1）	2	
3	選必	HE02	キリスト教学演習1（2）	2	
3	選必	HE03	キリスト教学演習2（1）	2	
3	選必	HE04	キリスト教学演習2（2）	2	
3	選必	HE05	キリスト教学演習3（1）	2	
3	選必	HE06	キリスト教学演習3（2）	2	
3	選必	HE07	キリスト教学演習4（1）	2	
3	選必	HE08	キリスト教学演習4（2）	2	
▼a3：自由選択科目					
1	選	HA15	哲学概論1	2	偶数年度開講
1	選	HA16	哲学概論2	2	奇数年度開講
1	選	HA17	倫理学概論1	2	奇数年度開講
1	選	HA18	倫理学概論2	2	偶数年度開講
1	選	HC15	美学・芸術学概論1	2	奇数年度開講
1	選	HC16	美学・芸術学概論2	2	偶数年度開講
1	選	HA19	日本思想史概論1	2	奇数年度開講
1	選	HA20	日本思想史概論2	2	偶数年度開講
1	選	HD41	キリスト教学概論1	2	奇数年度開講
1	選	HD42	キリスト教学概論2	2	偶数年度開講
1	選	HD43	宗教学概論1	2	偶数年度開講
1	選	HD44	宗教学概論2	2	奇数年度開講
2	選	HA94	西洋古代・中世哲学史1	2	偶数年度開講
2	選	HA95	西洋古代・中世哲学史2	2	奇数年度開講
2	選	HA96	西洋近現代哲学史1	2	偶数年度開講

14-3. 卒業に必要な単位

分野系列ごとの卒業に必要な単位は、下記のとおりです。

区分・分野系列	カリキュラムマップ	必要単位	卒業要件
● 卒業要件単位 : 最低126単位		126	
1 全学必修分野 : 28単位		28	⇒「全学必修分野」pp.36-38参照
2 専攻課程分野 : 最低90単位	※余剰①と余剰②の合計が最低12単位必要	90	
a 専攻分野 : 最低56単位+余剰①		56	
必修 a1 必修科目	心理-1、3	20	「14-4. 専攻分野の卒業要件」を参照
選択 a2 自由選択科目	心理-2	-	
b 関連分野 : 最低22単位+余剰②		22	⇒「関連分野」pp.39-45参照
3 卒業論文 : 8単位		8	⇒「卒業論文」p.46参照

14-4. 専攻分野の卒業要件

以下、専攻分野の履修要件を記載しています。卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

※履修にあたっては、卒業要件だけでなく、以降に記載されている「履修上の注意」等をよく読むこと。

※下記科目の開講状況、履修条件等は当該年度のシラバス等で確認すること。

<科目リストの見方>

・レベル : 授業内容のレベル

⇒「ナンバリングコード」p.16参照

・区分 : 「必修」必修科目、「選必」選択必修、「選」選択科目、「◎選」必修修科目

⇒「履修方法による分類」p.16参照

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
専攻分野の卒業要件 <input type="checkbox"/> 下記の卒業要件①を満たすように修得していること <input type="checkbox"/> a1～a2の科目から最低56単位修得していること <input type="checkbox"/> 関連分野と合わせて最低90単位修得していること					
▼a1 : 必修科目 (年次指定科目)					
卒業要件① <input type="checkbox"/> 下記 (a1) の科目をすべて (計20単位) 修得していること					
2	必修	LK11	基礎情報処理技法	2	2年次指定科目
2	必修	LK23	心理学実験	4	2年次指定科目
2	必修	LK33	心理学統計法	2	2年次指定科目
2	必修	LK44	心理学概論	2	2年次指定科目
2	必修	LK45	臨床心理学概論	2	2年次指定科目
3	必修	LK12	3年心理学演習(1)	2	3年次指定科目
3	必修	LK13	3年心理学演習(2)	2	3年次指定科目
4	必修	LK14	4年心理学演習(1)	2	4年次指定科目
4	必修	LK15	4年心理学演習(2)	2	4年次指定科目
▼a2 : 自由選択科目					
1	選	LN11	発達・認知心理学特講1	2	
1	選	LN17	発達・認知心理学特講7	2	
1	選	LP11	臨床心理学特講1	2	
1	選	LP12	臨床心理学特講2	2	
2	選	LB31	心理学史	2	
2	選	LC13	心理学演習1	2	
2	選	LC15	心理学観察・調査実習	2	
2	選	LC17	心理学データ解析実習2	2	
2	選	LH11	発達心理学1	2	
2	選	LH12	発達心理学2	2	
2	選	LM13	感情・人格心理学	2	
2	選	LM14	社会・集団・家族心理学	2	
2	選	LM15	障害者・障害児心理学	2	
2	選	LM17	健康・医療心理学	2	
2	選	LM18	教育・学校心理学	2	
2	選	LM25	知覚・認知心理学	2	
2	選	LM26	学習・言語心理学	2	

レベル	区分	コード	授業科目名	単位	備考
2	選	LM27	神経・生理心理学	2	
2	選	LM28	心理学的支援法	2	
2	選	LM29	福祉心理学	2	
2	選	LM30	産業・組織心理学	2	
2	選	LN14	発達・認知心理学特講4	2	
2	選	LN15	発達・認知心理学特講5	2	
2	選	LN16	発達・認知心理学特講6	2	
2	選	LN18	発達・認知心理学特講8	2	
2	選	LN19	発達・認知心理学特講9	2	
2	選	LN20	発達・認知心理学特講10	2	
2	選	LP13	臨床心理学特講3	2	
2	選	LP14	臨床心理学特講4	2	
2	選	LP15	臨床心理学特講5	2	
2	選	LP16	臨床心理学特講6	2	
2	選	LP17	臨床心理学特講7	2	
3	選	LC14	心理学演習2	2	
3	選	LC16	心理学データ解析実習1	2	
3	選	LM11	公認心理師の職責	2	
3	選	LM12	心理学研究法	2	
3	選	LM16	心理的アセスメント	2	
3	選	LM19	司法・犯罪心理学	2	
3	選	LM20	人体の構造と機能及び疾病	2	
3	選	LM21	精神疾患とその治療	2	
3	選	LM22	関係行政論	2	
3	選	LM23	心理演習	2	
3	選	LM31	心理実習1	1	
3	選	LM32	心理実習2	1	
3	選	LN12	発達・認知心理学特講2	2	
3	選	LN13	発達・認知心理学特講3	2	



聖心女子大学 履修要覧

2024年4月1日発行

発行 聖心女子大学

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4丁目3番1号

TEL : 03-3407-5811 (代表)

<http://www.u-sacred-heart.ac.jp>

聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程

(種類)

第1条 聖心女子大学教授会規程に定める各種委員会（以下「委員会」という。）は、次のものとする。

- 1 学科代表委員会
- 2 将来構想・評価委員会
- 3 教務委員会
- 4 学生委員会
- 5 入試委員会
- 6 その他教授会の必要と認めるもの

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

(1) 学科代表委員会

委員会は、次に掲げる事項について、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

- ① 教育及び研究に関する事項
- ② 教員の選考、昇任その他人事に関する事項
- ③ 学科の予算に関する事項
- ④ 学長の諮問する事項
- ⑤ その他委員会が必要と認める事項

(2) 将来構想・評価委員会

- ① 大学全般の将来構想及び計画の策定に関する事項
- ② 教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項
- ③ 現代教養学部各学科専攻（副専攻を含む。以下同じ。）の自己点検・評価項目に関する事項
- ④ 聖心女子大学全学評価委員会規程に基づいて学長に提出された現代教養学部各学科専攻の報告の取りまとめに関する事項
- ⑤ 現代教養学部各学科専攻の自己点検・評価活動の見直しに関する事項
- ⑥ 現代教養学部各学科専攻の自己点検・評価結果の取り扱いに関する事項
- ⑦ その他委員会が必要と認める事項

(3) 教務委員会

- ① 教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項
- ② 教育課程実施の年間計画に関する事項
- ③ 授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項
- ④ 学生の学科・専攻の所属に関する事項
- ⑤ 学生の転科に関する事項
- ⑥ 学生の成績評価及び単位認定に関する事項
- ⑦ 学生の卒業認定に関する事項
- ⑧ 科目等履修生及び研究生に関する事項

⑨ 他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項

⑩ 教員の配置に関する事項

⑪ 非常勤講師枠の配当に関する事項

⑫ その他委員会が必要と認める事項

(4) 学生委員会

① 学生の学籍に関する事項

② 学生行事、課外活動に関する事項

③ 学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項

④ 学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項

⑤ 学寮に関する事項

⑥ その他委員会が必要と認める事項

(5) 入試委員会

① 入学者の選抜方法及び入試制度に関する事項

② 入学試験結果の分析及び入学後の追跡調査等に関する事項

③ 各種入学試験要項及び実施要項に関する事項

④ 出願資格及び推薦入学推薦基準に関する事項

⑤ 入学者選抜関係事務に関する重要事項

⑥ その他委員会が必要と認める事項

2 前項の審議事項に関係ある場合、各委員会は調査等を実施することがある。

(構成)

第3条 各委員会は次の委員をもって構成する。

(1) 学科代表委員会は学長、副学長、事務局長、本学専任教員のうち各学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員8名をもって構成する。

(2) 将来構想・評価委員会は学長、副学長、事務局長、本学専任教員のうち各学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員8名をもって構成する。

(3) 教務委員会は、学長が指名した副学長、事務局長、本学専任教員のうち各学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員8名をもって構成する。

(4) 学生委員会は、学長が指名した副学長、事務局長、本学専任教員のうち各学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員8名をもって構成する。

(5) 入試委員会は、学長、副学長、事務局長、一般選抜（3教科方式）主査3名、及び本学専任教員のうち英語文化コミュニケーション・日本語日本文学・史学を除く各学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員5名をもって構成する。

2 学長は必要に応じ、委員会構成員以外の専任教職員を委員会構成員に加えることができる。

3 学長は必要に応じ、委員会構成員以外の専任教職員を委員会に出席させることができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長)

第5条 委員会の委員長は、次の者とする。

- (1) 学科代表委員会 学長
- (2) 将来構想・評価委員会 学長
- (3) 教務委員会 学長が指名した副学長
- (4) 学生委員会 学長が指名した副学長
- (5) 入試委員会 学長

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長から指名された者が代理となる。

4 委員長は必要に応じ、委員以外の関係者に会議への出席を求めることができる。

(会議)

第6条 委員会の会議は、原則として毎月1回開催するものとする。

2 委員会の会議は、委員総数の過半数の出席によって成立し、議決を要する事項については、出席委員の過半数の賛成をもってする。

3 学科専攻の推薦を受け学長が指名した委員会の委員が会議に出席できないときは、学科代表委員がその代理者を指名し、会議に出席させることとする。

4 委員会の会議は、教授会からの付託事項、学長からの諮問事項、学科代表委員会及び関係事務部署からの提案事項並びにその他委員会が必要と認める事項を審議し、その結果について、教授会への提案及び関係する委員会への提案、又は学長への答申を行うものとする。

5 委員会は、その審議過程において各学科専攻及び関係する委員会の意見を徴する必要がある場合には、各学科専攻及び関係する委員会に審議を求めるものとする。

6 委員会の委員は各学科専攻及び関係事務部署等の意見を徴し、また委員会の審議事項等について各学科専攻及び関係事務部署等に周知させるものとする。

(運営委員会)

第7条 委員会のもとに特定の事項の審議、実施のための運営委員会を設置することができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、次の部署が所管する。

- (1) 学科代表委員会 企画部企画課
- (2) 将来構想・評価委員会 企画部企画課
- (3) 教務委員会 学務部教務課
- (4) 学生委員会 学生部学生生活課
- (5) 入試委員会 アドミッションズオフィス事務部

2 委員会事務所管部署は、議事録を作成し、保管しなければならない。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 この規程の制定により、各委員会規程、規則、内規は廃止する。

附 則

この規程は、平成20年4月8日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成20年12月9日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年9月24日から施行し、平成26年8月1日から適用する。

附 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 「聖心女子大学教育組織検討委員会規程」(昭和52年9月20日実施)及び「聖心女子大学規程整備委員会規程」(昭和51年5月18日実施)については、当該機能をこの規程第1条第1項第2号が有しているため、平成27年3月31日をもって廃止する。

附 則

この規程は、平成29年5月16日から施行、適用する。

附 則

この規程は、平成30年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年6月11日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和元年7月9日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年7月1日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会規則

(設置)

第1条 この規則は、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」第7条に基づき、AI・データサイエンス基礎プログラム」(令和4年度設置)および「AI・データサイエンス応用基礎プログラム」(令和6年度設置)のカリキュラム、教育内容、教育方法、評価の整備について検討、自己点検・評価報告書を作成、プログラムの発展・充実を図るため、教務委員会のもとに「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会(以下「委員会」という。)を置き、その運営並びにその他必要な事項について定める。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 「AI・データサイエンス基礎プログラム」および「AI・データサイエンス応用基礎プログラム」の自己点検・評価報告書に関する事項
 - (2) その他委員会が必要と認める事項
- 2 委員会は前項の審議事項をまとめ、教務委員会に報告する。

(構成)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長が指名した副学長
- (2) メディア学習支援センター長
- (3) 委員長が指名した専任教員 1名
- (4) 学務部長
- (5) 学務部教務課長
- (6) 管理部情報企画推進課長

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、職制による委員を除き1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務委員会委員長をもって充てる。

2 委員長は必要に応じ、委員以外の専任教職員を委員会に出席させることができる。

(作業部会)

第6条 委員会は、必要に応じて作業部会をおくことができるものとし、作業部会の設置は委員長が決定する。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学務部教務課が所管する。

附則

- 1 この規則は、令和6年11月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、令和6年度の委員の任期は、令和7年3月31日までとする。

「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会規則

(設置)

第1条 この規則は、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」第7条に基づき、AI・データサイエンス基礎プログラム」(令和4年度設置)および「AI・データサイエンス応用基礎プログラム」(令和6年度設置)のカリキュラム、教育内容、教育方法、評価の整備について検討、自己点検・評価報告書を作成、プログラムの発展・充実を図るため、教務委員会のもとに「AI・データサイエンスプログラム」自己点検・評価小委員会(以下「委員会」という。)を置き、その運営並びにその他必要な事項について定める。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 「AI・データサイエンス基礎プログラム」および「AI・データサイエンス応用基礎プログラム」の自己点検・評価報告書に関する事項
 - (2) その他委員会が必要と認める事項
- 2 委員会は前項の審議事項をまとめ、教務委員会に報告する。

(構成)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長が指名した副学長
- (2) メディア学習支援センター長
- (3) 委員長が指名した専任教員 1名
- (4) 学務部長
- (5) 学務部教務課長
- (6) 管理部情報企画推進課長

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、職制による委員を除き1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務委員会委員長をもって充てる。

2 委員長は必要に応じ、委員以外の専任教職員を委員会に出席させることができる。

(作業部会)

第6条 委員会は、必要に応じて作業部会をおくことができるものとし、作業部会の設置は委員長が決定する。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学務部教務課が所管する。

附則

- 1 この規則は、令和6年11月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、令和6年度の委員の任期は、令和7年3月31日までとする。

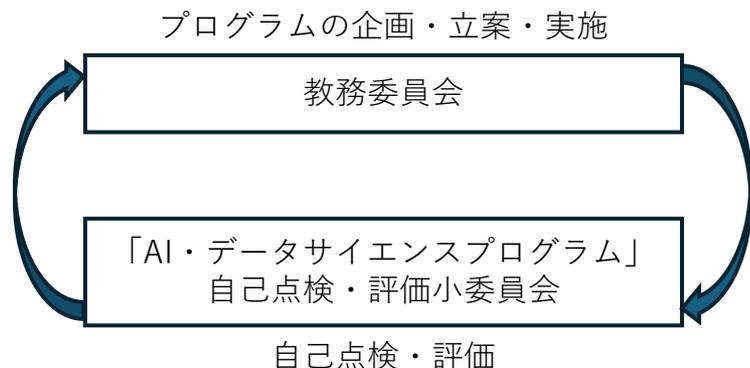
大学等名	聖心女子大学
教育プログラム名	AI・データサイエンス（応用基礎）プログラム

申請レベル	応用基礎レベル（大学等単位）
申請年度	令和 7 年度

取組概要

プログラムの目的	数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の内容を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力、AIを活用し課題解決につなげる基礎能力を修得する。そして、本学の目指すリベラルアーツ教育のもと自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得する。
身につけられる能力	数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術を体系的に理解するとともに、目的に応じて適切にデータを収集・抽出・分析し、これらを活用して課題を解決できる実践的な能力を身につける。
修了要件	プログラムは、全学必修科目の「AI・データサイエンス基礎」2単位の履修をベースに、「情報処理入門Ⅰ」2単位および「情報処理入門Ⅱ」2単位の計6単位を必修科目とし、加えて必修選択科目（その他項目）から2単位以上を修得、合計8単位以上の修得を修了要件とする。修了証としてデジタル証明（オープンバッジ）を授与する。

【実施体制】



【科目の構成】

